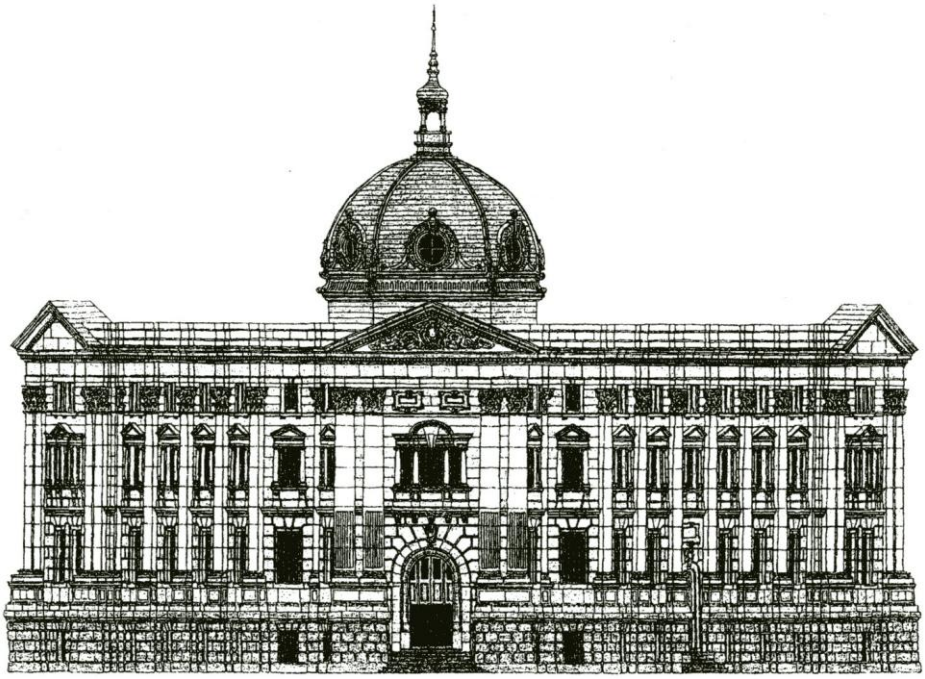
神奈川県立歴史博物館年報

平成24年度



神奈川県立歴史博物館

2013年

はじめに

平成24年度は、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録推進のための三館連携特別展の開催など創意工夫を凝らした展示事業や、開館記念日事業の実施など幅広い年齢層への学習支援活動を通じ、「開かれた博物館」「親しまれる博物館」を目ざした活動をおこなってまいりました。

展示活動では、常設展のほかに特別展４回、特別陳列とコレクション展各１回を開催しました。特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー －二つの港町の戦後文化－」では、米軍の進駐にともない市民生活に浸透したジャズなど戦後文化の諸相を、横浜と横須賀の二つの港町を比較しながら紹介しました。特別展「ペリーの顔・貌・カオ －『黒船』の使者の虚像と実像－」では、多種多様なペリーの肖像画の系譜や関係性を明らかにしました。特別展「再発見！鎌倉の中世」では、県立金沢文庫、鎌倉国宝館と連携した「武家の古都・鎌倉　世界遺産登録推進三館連携特別展」の一会場として、鎌倉から出土した遺物や古絵図などにより中世都市鎌倉の生活と文化を紹介しました。特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫 －近代鎌倉のガイドブック－」では、明治以降鎌倉が観光地として発達した様子と、仏師が高い技術を活かして再興した鎌倉彫の魅力を紹介しました。特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」もまた、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録推進の機運を盛り上げる意図のもと開催したもので、夢窓疎石ゆかりの寺院に伝わる頂相や袈裟、古文書などにより鎌倉の禅宗文化の一端を紹介しました。コレクション展「ＫＥＮ・ＰＡＫＵ（県博）発掘クロニクル －神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡－」では、当館の前身である県立博物館が県内各地で実施した発掘調査のあらましや調査遺跡の今日的な評価を紹介しました。

このほかに、「平成24年度かながわの遺跡展　勝坂縄文展」を、県埋蔵文化財センターと共催して開催し、縄文時代の造形の中でも特に様々な装飾が施されることで知られる勝坂式土器や、その名の由来となった勝坂遺跡について紹介しました。

また、学芸員の研究活動の成果を『研究報告』などにより公開するとともに、講座の開催や学校連携を中心とした学習支援活動、さらに、子ども博物館教室、夏の恒例行事である「ミュージアム・クイズラリーよこはま」、５年目を迎えた「ミュージアムコンサート」など、多彩な教育普及活動に取り組み、ホームページについても内容の充実につとめました。

なお、様々な場面で、展示解説などについてご協力いただいているボランティアの方々に例年のとおりご活躍いただきました。

県民の方々から頂戴した展示や教育普及活動などについての貴重なご意見を参考に、今後もより一層、ご利用になられる方々の期待に応えられるよう心がけてまいります。

神奈川県立歴史博物館

目次

はじめに
目次
１　沿革・理念
⑴　沿革…… 3
⑵　神奈川県立歴史博物館の理念…… 4
２　管理運営
⑴　組織…… 5
ア　組織及び分掌
イ　職員名簿
⑵　歳入・歳出…… 6
ア　歳入
イ　歳出
⑶　入館者状況…… 6
ア　入館者数
イ　有料入館者内訳
ウ　無料入館者内訳
エ　特別展の入館者状況
⑷　広報・広聴…… 8
ア　広報実績
イ　「県博フレンズ」会議の開催
⑸　施設概要…… 8
ア　概要
イ　館内施設
ウ　外部協力
エ　平面図
３　調査・研究
⑴　館独自の研究事業費によるもの…… 13
ア　総合研究
イ　個別研究
ウ　グループ研究
エ　調査研究成果報告会
⑵　日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの…… 14
⑶　個人研究活動…… 15
ア　研究報告書
イ　個人研究活動
４　資料収集・修理・保管・利用
⑴　考古資料…… 22
⑵　歴史資料…… 23
⑶　美術資料…… 28
⑷　民俗資料…… 36
⑸　写真資料…… 38
⑹　資料の燻蒸等…… 38
⑺　その他の資料…… 38
ア　図書
イ　映像
ウ　写真
エ　情報システム
５　展示・教育普及・学習支援
⑴　常設展…… 42
⑵　特別展…… 42
⑶　コレクション展…… 69
⑷　その他の展示…… 71
⑸　学習支援事業…… 82
ア　講座
イ　特別展記念講演会等行事
ウ　学芸員による展示解説
エ　ミュージアムトーク
オ　その他の行事
カ　子ども・青少年向け教育普及事業
キ　学校連携事業の状況
⑹　ミュージアムライブラリー…… 93
⑺　普及印刷物…… 93
ア　図録
イ　広報印刷物
ウ　神奈川県立歴史博物館だより
⑻　ボランティアの活動…… 94
ア　活動状況及び実績
イ　博物館入門講座
ウ　専門研修
エ　その他の研修
⑼　博物館実習生の受け入れ…… 96
ア　見学実習
イ　実務実習
⑽　海外技術研修員の受け入れ…… 98
６　資料
⑴　条例・規則…… 100
ア　神奈川県立の博物館条例
イ　神奈川県立の博物館組織規則
ウ　神奈川県立の博物館の利用等に関する規則
⑵　利用案内…… 104

1　沿革・理念

(1)　沿革

昭和 38 年 6 月	教育庁に博物館準備事務室を設置
昭和 41 年 11 月	神奈川県立博物館条例の制定により、神奈川県立博物館を設置
	神奈川県立博物館組織規則の制定により、庶務部、学芸部の 2 部を置く
昭和 42 年 3 月	神奈川県立博物館開館
4 月	附属機関の設置に関する条例の一部改正により神奈川県博物館協議会を設置(委員 20 名)
6 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部に庶務課、経理課の 2 課を置く
昭和 43 年 4 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部に学芸課、人文課、自然課の 3 課を置く
昭和 44 年 3 月	旧館である旧横浜正金銀行本店が国の重要文化財に指定される
昭和 44 年 7 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、庶務部を管理部に、庶務課を管理課に名称変更
昭和 47 年 8 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課の名称を廃し、企画調整課、学芸第一課、学芸第二課及び学芸第三課の 4 課を置く
昭和 49 年 8 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部に施設保全課を置く
昭和 52 年 5 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、学芸部の各課を廃止
昭和 53 年 9 月	文部省学術研究機関の指定を受ける
昭和 55 年 2 月	入館者数 100 万人達成
昭和 62 年 4 月	第 2 次新神奈川計画の重点政策「文化施設 21 世紀構想」の一環として、博物館再編整備事業策定
昭和 63 年 12 月	神奈川県立博物館整備構想懇談会が「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」を提出
平成 2 年 3 月	人文系博物館の整備計画・展示計画策定
平成 3 年 3 月	博物館総合情報システム整備計画、資料収集計画を策定
平成 4 年 3 月	展示基本設計
平成 5 年 3 月	改修工事基本・実施設計、展示工事実施設計
4 月	県立博物館休館(～7 年 3 月)
10 月	改修工事及び展示工事開始
平成 6 年 11 月	改修工事終了
平成 7 年 1 月	神奈川県立博物館条例改正に伴い「神奈川県立博物館」は「神奈川県立歴史博物館」と名称変更、神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、企画情報部に企画普及課及び情報資料課の 1 部 2 課を置き、管理部の施設保全課を廃止
3 月	展示工事終了、博物館情報システムの一部稼働開始
	神奈川県立歴史博物館開館(18 日)
6 月	国の史跡に指定される
平成 9 年 7 月	博物館ボランティアが活動を開始
平成 11 年 2 月	金銅装笈・椿彫木朱漆笈・清拙正澄墨跡・石室善玖墨跡・源頼朝袖判下文・源頼家袖判下文が県の重要文化財に指定される
	神奈川の職人の道具(17 職種 1,982 点)が県の有形民俗文化財に指定される
平成 11 年 4 月	重要文化財の公開承認施設として文化庁から承認される
平成 13 年 1 月	三浦市間口洞窟遺跡出土品(450 点)が県の重要文化財に指定される
平成 13 年 3 月	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県博物館協議会を廃止
平成 18 年 4 月	神奈川県立博物館組織規則の一部改正により、管理部管理課と経理課を統合し管理課に改め、企画情報部企画普及課、情報資料課及び学芸部の 2 部 3 課となる
平成 19 年 11 月	旧館である旧横浜正金銀行本店が、経済産業省により近代化産業遺産(横浜港周辺の関連建築物群)に認定される
平成 21 年 8 月	入館者数 200 万人達成

⑵　神奈川県立歴史博物館の理念

神奈川県立歴史博物館の前身は昭和 42 年開館の神奈川県立博物館である。昭和 62 年から自然系と人文系が分離分館する再編整備の検討が行なわれ、平成 7 年のリニューアル開館に至るまで、3 回にわたって博物館活動の理念やテーマが検討・提案された。

ア　昭和 63 年 12 月、神奈川県立博物館整備構想懇談会から提出された「神奈川県立博物館整備構想に関する提言－自然系博物館・人文系博物館の基本的な考え方－」（以下「提言」という）

イ　平成 2 年 3 月に策定された「神奈川県立人文系博物館（仮称）整備計画（案）」（以下「整備計画」という）

ウ　平成 7 年 3 月の再編整備時に作られた「神奈川県立歴史博物館概要説明」（以下「概要」という）

ア　「提言」における活動理念・テーマ

⑺　人文系博物館の「意義」（「提言」を要約、抜粋）

a　文化の視点からの未来の探求
b　考古、歴史、美術、民俗等を統合化した新しい文化史の創造
c　歴史的、文化的特色による神奈川のアイデンティティーの探求
d　振幅の大きな神奈川の歴史にみる人々の生き方の探求
e　神奈川の文化と内外の文化との交流や相互関係の探求
f　文化史的意義のある資料の集積と後世への継承

⑴　「基本テーマ」等の設定

a　基本テーマ：「文化の交流と変容」

上記の意義を踏まえ、また、神奈川の文化と歴史を専門的かつ学際的な観点から総合的にとらえる唯一の博物館として活動していくため、基本テーマが設定された。

b　サブテーマ：「神奈川の文化と歴史を考える」「日本・世界の神奈川を考える」

空間的、時間的な広がりのある視点や、先人から受け継がれた地域の固有性をとらえる視点に立って２つのサブテーマが設定された。

c　展開の視点

これらの基本テーマ、サブテーマを、展示をはじめとした様々な博物館活動に反映させるため、次のような展開の視点が設けられた。

［継 承］　各時代の文化と時代を超えて継承される文化を歴史の流れの中でとらえる
［交 流］　他の国や他の地域との文化交流を空間的、時間的広がりの中でとらえる
［変 容］　文化の変容をダイナミックにとらえる
［風 土］　文化の特色を地域風土を通してとらえる

イ　「整備計画」における活動理念・テーマ

上記「提言」を受け、平成 2 年に「整備計画」が策定され、再編整備の具体的な内容がまとめられたが、「提言」における博物館の意義、性格、基本テーマなどは、歴史博物館のあるべき姿を示す目標・指針として継承されることとなった。

ウ　「概要」における活動理念・テーマ

平成 7 年のリニューアル開館に際して作成された「概要」では、当館を「かながわの文化と歴史」を総合的に扱う博物館と位置づけ博物館活動の基本テーマとし、展示テーマを「文化の交流と変容」とすることが示された。

2　管理運営

(1)　組織

(平成24年4月1日現在)

ア　組織及び分掌

館　長 ― 副館長
- 管理課
  - (分掌)公印、文書、個人情報、人事、財産、予算の経理、観覧料の徴収、物品の調達・処分、寄贈品の受納、寄託品の受返納及び他部課の主管に属しないこと
- 企画情報部
  - 企画普及課
    - (分掌)博物館活動の企画調整、教育・普及、広報、講演会・講習会・研究会等の開催、他の博物館やその他教育・学術・文化に関する施設・団体との連絡・協力・情報の交換に関すること
  - 情報資料課
    - (分掌)人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管、閲覧、博物館情報システムの運用に関すること
- 学芸部
  - 考古・中世担当
    - (分掌)博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説指導、専門技術的な調査研究に関すること
  - 近世・近現代・民俗担当
    - (分掌)博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説指導、専門技術的な調査研究に関すること

イ　職員名簿

館長(技術)		薄井 和男
副館長		佐藤 宏
管理課長		橋本 千晴
管理課	副主幹	布施 こづえ
	〃	樋渡 功
	主査(事務)	海老原 成介
	主事	奥田 春菜
	専門員(事務)	瀬戸 昇
	〃	柴田 健治
	非常勤自動車運転員	大塚 清志
	非常勤事務補助員	品矢 はる美
企画情報部長		日比野 典明
企画普及課長(技術)		古宮 雅明
企画普及課	副主幹	谷口 美穂
	〃	藤牧 健
	専門員(事務)	長嶋 敏雄
	非常勤教育普及員	草間 敏保
	非常勤事務補助員	野島 愛子
	〃	鈴木 由佳
	非常勤学芸員	田辺 可奈
	〃	泉山 花江
情報資料課長		木佐貫 健二
情報資料課	副主幹	篠崎 淑子
	主査(事務)	秋山 孝之
	専門員(司書)	山中 潤
	専門員(事務)	岩田 正明
	非常勤事務補助員	柳生 真弓
	〃	斎藤 由樹
	非常勤資料整理員	鈴木 敏子
	〃	檜皮 千穂
	〃	浅井 真里子
	非常勤写真職	井上 久美子
	〃	岸山 浩之
学芸部長(技術)		寺嵜 弘康
(考古・中世担当)		
	副主幹	近野 正幸
	主任学芸員	古川 元也
	学芸員	梅沢 恵
	〃	小井川 理
	専門員(技術)	鳥居 和郎
(近世・近現代・民俗担当)		
	主任学芸員	嶋村 元宏
	〃	桑山 童奈
	〃	丹治 雄一
	学芸員	角田 拓朗
	〃	新井 裕美
	専門員(事務)	鈴木 峰夫
	〃	鈴木 尚遠

非常勤資料整理員	吉澤 智恵子	非常勤学芸員	岡田 真帆
〃	中村 茉貴	〃	武田 周一郎

(2) 歳入・歳出

ア 歳入

(単位：千円)

科　　目	金　額	内　　訳
行政財産使用料	564	ショップ等建物使用料
歴史博物館使用料	13,448	観覧料収入(常設展　5,447、特別展　8,001)
立替収入	394	ショップ等電気料・水道料
雑入	7,863	図録販売、ライブラリー複写料金等
教育受講料収入	193	県立機関活用講座受講料
合　　計	22,462	

イ 歳出(人件費含まず)

(単位：千円)

事　業　名	金　額	内　　訳
維持運営費	64,082	維持管理・事業運営
展示事業費	20,741	常設展示維持管理、特別展の開催、総合案内業務
調査研究事業費	494	総合研究・基礎研究、調査研究報告書の作成
資料整備費	10,731	博物館資料収集、資料修繕
学習支援事業費	1,317	講座・講演会の開催、ボランティア活動推進、図書等資料整備、広報用資料作成
博物館情報システム整備費	54,031	システム運用、データ入力等
県立機関活用講座開催事業費	320	講座の開催
緊急雇用創出事業臨時特例基金委託等事業費	4,227	
歴史博物館活性化事業費	23,947	館及び周辺地域紹介ガイダンス映像資料作成、歴史専門書等整備、多言語パネル及びパンフレット等製作
武家の古都・鎌倉から始めるかながわの魅力発信事業費	9,942	特別展の開催、講座の開催
合　　計	189,832	

(3) 入館者状況

ア 入館者数

(単位：人)

月	展示室入館者			フリーゾーン利用者	合　　計
	有料入館者	無料入館者	小　　計		
4	3,312	2,041	5,353	4,860	10,213
5	5,779	4,408	10,187	8,883	19,070
6	3,462	3,032	6,494	5,426	11,920
7	3,720	1,329	5,049	3,817	8,866
8	5,087	2,637	7,724	3,782	11,506

9	3,488	3,519	7,007	5,247	12,254
10	3,911	1,869	5,780	4,707	10,487
11	4,084	3,964	8,048	5,611	13,659
12	1,840	1,864	3,704	3,923	7,627
1	1,980	1,560	3,540	4,078	7,618
2	3,167	2,280	5,447	4,284	9,731
3	3,475	6,789	10,264	4,905	15,169
合　計	43,305	35,292	78,597	59,523	138,120

イ　有料入館者内訳　　（単位：人）

月	個人				団体(団体扱い含む)				合計
	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	20歳以上	20歳未満	高校生	65歳以上	
4	1,533	71	45	1,106	359	15	183	0	3,312
5	2,169	150	283	1,887	909	83	252	46	5,779
6	1,370	145	71	1,273	437	57	0	109	3,462
7	1,414	161	53	1,070	704	108	0	210	3,720
8	2,106	182	242	1,258	1,211	88	0	0	5,087
9	1,892	189	94	1,031	78	114	0	90	3,488
10	1,307	95	22	1,598	613	50	0	226	3,911
11	1,214	110	271	1,727	651	85	0	26	4,084
12	900	98	52	657	108	8	0	17	1,840
1	1,150	70	18	634	41	0	0	67	1,980
2	1,179	96	28	991	332	20	2	519	3,167
3	1,239	96	89	1,545	443	30	0	33	3,475
合計	17,473	1,463	1,268	14,777	5,886	658	437	1,343	43,305

ウ　無料入館者内訳　　（単位：人）

月	条例別表備考欄指定の無料入館者　(A)				減免による無料入館者　(B)							合　計
	未就学幼児	小学生	中学生	特別支援学校	高校生	生徒引率者	65歳以上	優待券	招待券	障がい者	その他	
4	23	655	507	0	302	47	2	11	270	119	105	2,041
5	33	333	1,508	0	1,045	63	1	16	1,081	181	147	4,408
6	38	376	1,194	4	2	55	4	24	1,107	114	114	3,032
7	29	180	347	0	34	11	8	18	446	120	136	1,329
8	60	444	576	0	3	6	0	31	1,167	145	205	2,637
9	33	1,574	529	0	24	107	0	19	983	153	97	3,519
10	44	452	352	0	113	46	9	27	461	131	234	1,869
11	14	1,008	562	0	304	45	22	23	1,696	128	162	3,964
12	31	535	467	0	0	82	0	6	629	57	57	1,864
1	37	210	377	0	44	35	0	13	694	85	65	1,560
2	33	394	551	16	98	38	2	18	902	141	87	2,280
3	38	265	158	0	7	21	11	32	5,990	161	106	6,789
合計	413	6,426	7,128	20	1,976	556	59	238	15,426	1,535	1,515	35,292

エ　特別展の入館者状況(前掲表内数)　　(単位：人)

特　別　展　名	有料入館者	無料入館者	合　計
ヨコハマ・ヨコスカストーリー　―二つの町の戦後文化―	6,200	8,029	14,229
ペリーの顔・貌・カオ　－「黒船」の使者の虚像と実像－	4,623	3,616	8,239
再発見！鎌倉の中世	5,045	6,198	11,243
観光地鎌倉と鎌倉彫	2,758	5,323	8,081
合　計	18,626	23,166	41,792

(4)　広報・広聴

ア　広報実績

平成24年度の当館に係る広報実績は下記の通り(館のＰＲ、特別展・テーマ展、催しもの等)。

媒体別	紙媒体				電波媒体		インターネット	計
	新聞	雑誌	単行書	その他	テレビ	ラジオ		
件数	310	116	1	22	16	8	142	615

イ　「県博フレンズ」会議の開催

開かれた博物館づくりをめざし、当館が実施する事業について県民の意見を組織的･継続的に聴くため、公募により委嘱した40代～80代の男女12名を構成員とする「県博フレンズ」会議を開催し、館職員との双方向の話合いを行った。なお、本事業は当館の事業を実施する際の指針である「中長期計画」に位置付けられた事業(博物館モニター会議)として開催したものである。

(ｱ)　開催状況(年６回)

会議	開　催　日	会　議　テ　ー　マ　等
第１回	４月22日(日)	○館の概要紹介　○館内見学　○事業実施計画
第２回	６月２日(土)	○県博セミナー「戦後のヨコハマ・ヨコスカ　あの頃を語る」 ○特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー」
第３回	７月21日(土)	○特別展「ペリーの顔・貌・カオ」　○子ども博物館教室「土器を作ろう！」
第４回	９月16日(日)	○これまでの振り返り
第５回	11月17日(土)	○特別展「再発見！鎌倉の中世」 ○特別展「再発見！鎌倉の中世」関連事業
第６回	２月23日(土)	○特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」　○一年間の振り返り

(ｲ)　実施結果

会議で出された意見・感想をもとに、今後当館事業への反映等について検討して行くこととした。

(5)　施設概要

ア　概要

(ｱ)　施設の規模

敷地面積　4,160.82㎡

構造　石・煉瓦造り(一部鉄筋コンクリート造り)地上３階・地下１階

延床面積　10,565.47㎡

部門別面積　展示部門＝約3,896㎡、学習支援部門＝約386㎡、収蔵部門＝約619㎡
研究部門＝約1,306㎡、サービス部門＝約438㎡、管理部門＝約1,251㎡
その他共用部分＝約2,670㎡

(ｲ)　建物の特徴

旧館部分　　旧横浜正金銀行本店本館(明治 37 年(1904)竣工、設計：妻木頼黄)
ネオ・バロック様式

新館部分　　神奈川県立博物館として新築(昭和 42 年(1967))

指定状況　　国指定重要文化財(建物旧館部分・昭和 44 年(1969)3 月 12 日指定)
国指定史跡(平成 7 年(1995)6 月 27 日指定)

(ｳ)　施設の状況

1　　階：【展示室、学習支援関係諸室】
特別展示室、コレクション展示室、
ミュージアムライブラリー、ミュージアムショップ、喫茶室、情報処理室　等

2　　階：【展示室、管理課・企画情報部関係諸室】
総合テーマ展示室(近世・近代・現代、民俗)
館長室、管理課、企画情報部、応接室、図書整理室、書庫　等

3　　階：【展示室、学芸部関係諸室】
総合テーマ展示室(古代・中世)
学芸部、資料整理室、展示準備工作室、作業室、収蔵庫　等

地下１階：【講堂、バックヤード諸設備】
講堂、収蔵庫、燻蒸室、防災センター、写場、暗室、フィルム保管室
その他機械室、倉庫　等

イ　館内施設

1 階のフリーゾーンには来館者のために次の施設がある。

(ｱ)　ミュージアムショップ

博物館の刊行物(展示解説書、特別展図録、研究報告)をはじめ、神奈川の文化や歴史に関する書籍、所蔵資料の絵はがき、博物館見学の記念になるような品々を販売する。運営は民間の企業が行っている。

(ｲ)　ともしび喫茶室

来館者に休憩してもらえるように喫茶室がある。軽食、喫茶ができ、店内には県内の福祉施設で作られた品々も販売されている。運営は「神奈川県手をつなぐ育成会」が行い、知的障がい者の就業の場ともなっている。

ウ　外部協力

神奈川県立歴史博物館には、県内の博物館の質的向上や文化財に対する普及啓発を行う次の外部団体の事務局が設置されている。

(ｱ)　神奈川県文化財協会

昭和 29 年(1954)から活動している任意団体である。現在は会員に対しての講演会、見学会など、文化財に関する知識の啓発活動を中心に活動している。協会員数 239 人(平成 25 年 3 月 31 日現在)。

事務局長	副館長	佐藤 宏
事務局次長	学芸部長	寺嵜 弘康
事務局員	主任学芸員	嶋村 元宏
〃	副主幹	近野 正幸
〃	企画普及課長	古宮 雅明
〃	副主幹	樋渡 功
〃	主事	奥田 春菜
〃	専門員(事務)	鈴木 尚遠

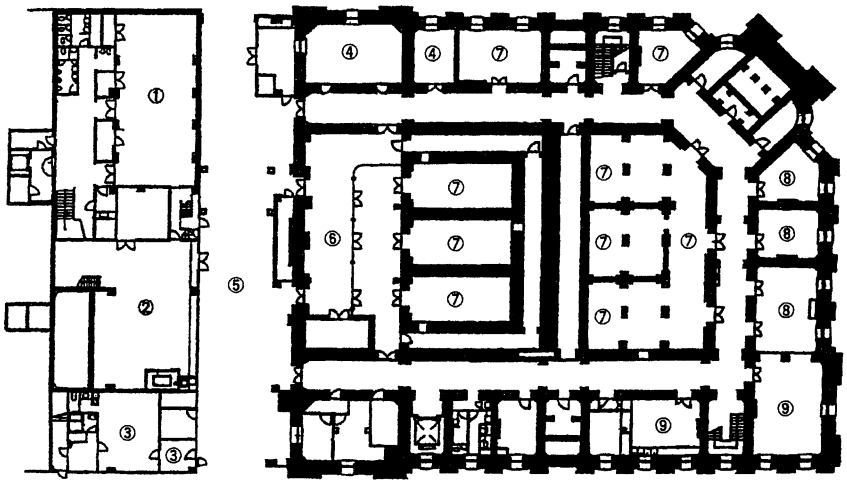
(ｲ)　神奈川県博物館協会

昭和 30 年(1955)から活動している県内博物館施設の任意団体で、博物館のＰＲ、職員の研修、会報の発行など各種活動を行っている。加盟館園数 101 館(平成 25 年 3 月 31 日現在)。

会長	館長	薄井 和男
事務局長	副館長	佐藤 宏
事務局次長	学芸部長	寺嵜 弘康
人文科学部会幹事	学芸員	梅沢 恵
事務局員	副主幹	布施 こづえ
〃	専門員(事務)	鈴木 峰夫

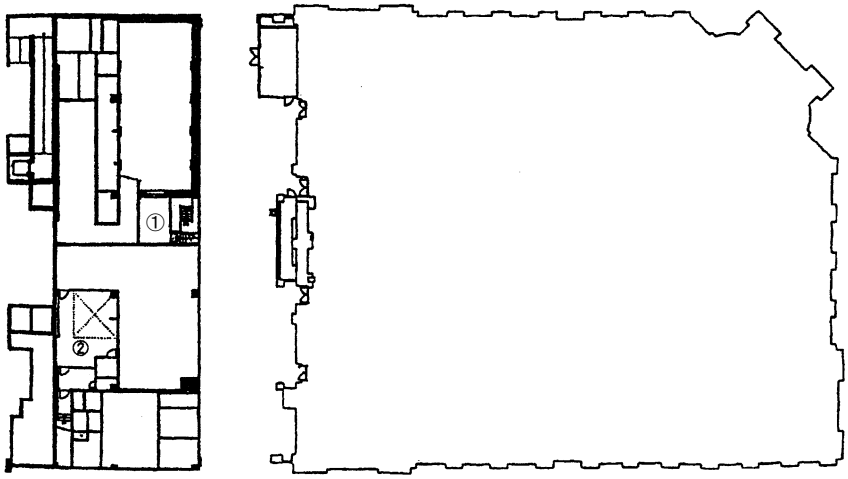
エ　平面図

地下平面図



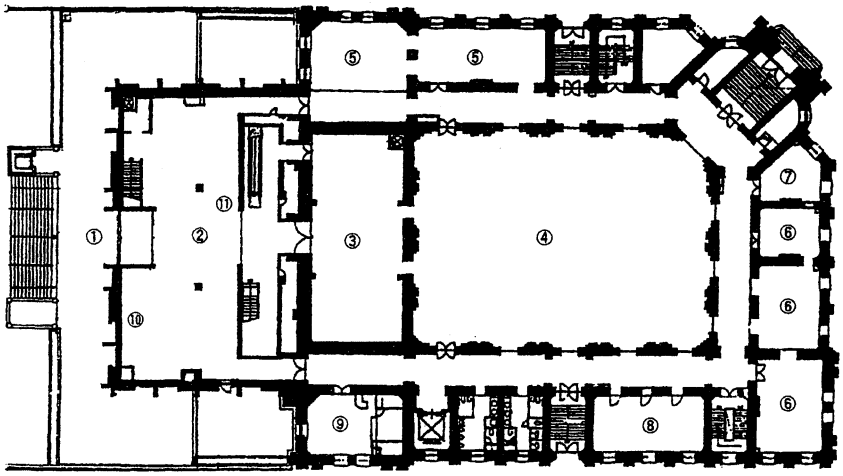
①講堂
②機械室
③防災センター・保安室
④電気室
⑤サービスヤード
⑥荷捌室
⑦収蔵庫
⑧資料整理室
⑨写真室

中１階平面図



①放送器機・映写室
②中央監視室

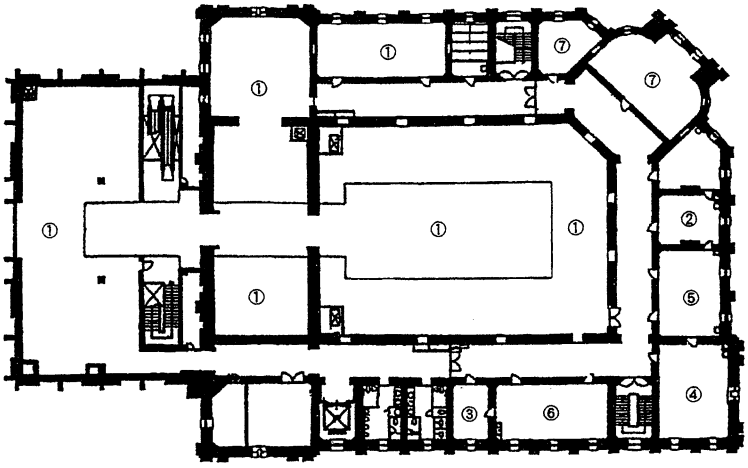
１階平面図



①玄関
②エントランスホール
③導入展示室
④特別展示室
⑤コレクション展示室
⑥ミュージアムライブラリー
⑦情報処理室
⑧会議室
⑨喫茶室
⑩ミュージアムショップ
⑪総合案内

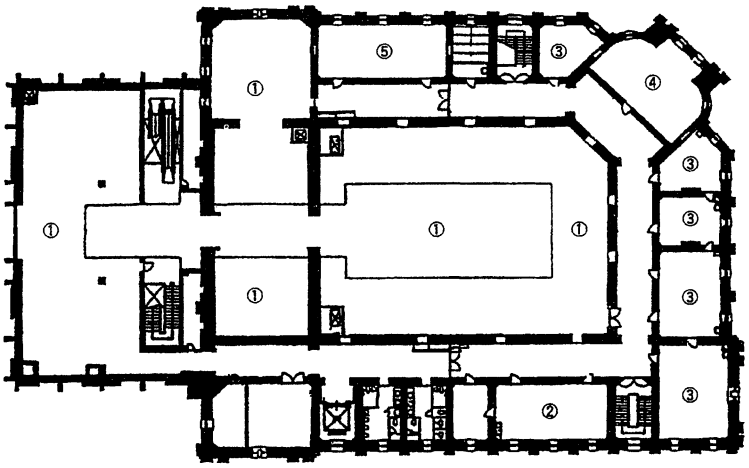
2階平面図

①展示室
②館長室
③第二応接室
④管理課
⑤応接室
⑥企画情報部
⑦図書室



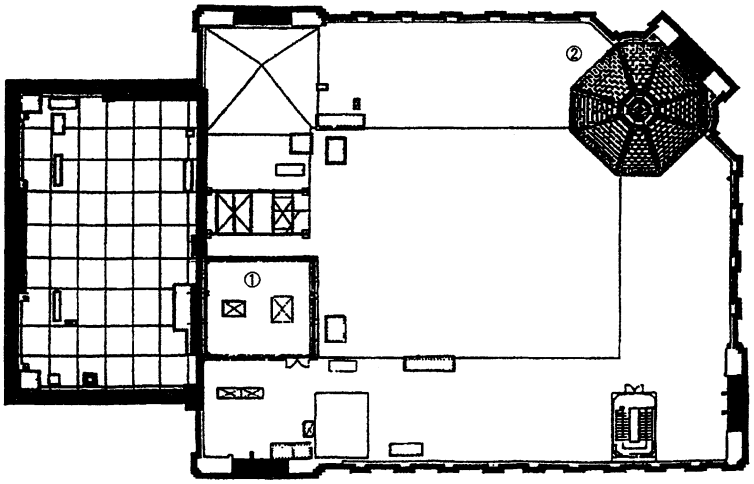
3階平面図

①展示室
②学芸部
③資料整理室
④展示機材倉庫
⑤収蔵庫



屋上平面図

①空調機械室
②ドーム



3　調査・研究

(1)　館独自の研究事業費によるもの

ア　総合研究

テ　ー　マ：近代日本の銀行建築に関する建築史的研究
担　　当：研究代表者　主任学芸員　丹治 雄一
共同研究者：中村 茂樹 氏(日本銀行文書局)、伊藤 稔 氏(日本銀行文書局)
関口 かをり 氏(日本銀行金融研究所貨幣博物館)、岡 義男 氏(Y.岡建築研究所)
期　　間：平成23～25年度
概　　要：　本研究の目的は、明治・大正・昭和戦前期に日本全国に建てられた銀行建築を調査対象として、銀行建築を特徴づける詳細なデータ項目を盛り込んだ「近代銀行建築リスト」（仮称）を作成すること（リスト作成作業）と、それらをベースに研究会参加メンバーが設定した個別の研究課題に取り組むこと（研究作業）により近代日本の銀行建築の建築史的特徴を明らかにすることである。

3年の研究期間の2年目にあたる今年度は、全国の銀行建築に関する網羅的なデータ収集作業を継続しつつ、最終年度の研究の取りまとめの方向性についても議論し、日本銀行および横浜正金銀行の本支店建築の調査研究をベースとした成果公開に最優先で取り組むこととした。

イ　個別研究

テ　ー　マ：当館発掘調査資料の基礎的研究
担　　当：学芸部(考古担当)　近野 正幸
期　　間：平成24年度
概　　要：　当館では、過去に地域研究を前提とした博物館資料の収集を目的に発掘調査を複数遺跡で実施しており、その成果については『神奈川県立博物館発掘調査報告書』第1～19号として公表されている。調査された遺跡の中には、指定史跡に指定されたものや、出土品が指定文化財となるなど、注目されるものも多い。しかしながら、現在これらの資料についての活用頻度は低く、また今日の研究レベルからすれば、資料のデータ化及び公表が十分になされているとは言い難い状況にある。

したがって、本研究では、博物館資料として今後の公開・活用に資するため、各調査遺跡の発掘資料について再整理及びデータ化を行った。なお、再整理を実施した出土品及び発掘調査の成果の一部については、平成24年度コレクション展「ＫＥＮ･ＰＡＫＵ（県博）発掘クロニクル ー神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡ー」において公開した。

ウ　グループ研究

次のテーマでグループごとに研究を進めている。

考　　古：神奈川県内遺跡・遺物調査
中　　世：宋風文化の研究
近　　代：横浜の木版印刷に関する基礎的研究
現　　代：戦後横浜における映画館活動に関する基礎的研究
民　　俗：社会における贈答慣行
教育普及：小・中学校の見学実習を支援するワークシートの開発と検証

エ　調査研究成果報告会

開催日時：平成25年3月5日(火) 13:20～17:00
内　　容：総合研究及び個別研究の成果・途中経過と、報告書の内容について報告した。

(ｱ)　総合研究

a　発表者：主任学芸員　丹治 雄一
テーマ：近代日本の銀行建築に関する建築史的研究
概　要：前期「ア　総合研究」を参照。

(ｲ)　個別研究

a　発表者：学芸部(考古担当)　近野 正幸
テーマ：当館発掘調査資料の基礎的研究
概　要：前期「イ　個別研究」を参照。

b　発表者：学芸員　小井川 理
テーマ：〈白絵〉資料について －出産・婚礼・成長儀礼－
概　要：　平安時代以降、出産に際しては産所が設けられ、室内の調度装束を白一色にしつらえることが行われた。本研究では、出産の場と「白」という色の関わりを絵画作品や文献資料から確認し、江戸時代の作例として「白絵屏風」や調度を紹介した。加えて、「白」い調度が婚礼や成長儀礼の場にも調えられる事例から、生命にかかわる儀礼と「白」の関わりについて課題を提示した。

c　発表者：学芸員　角田 拓朗
テーマ：『國華』草創期の具体像 －ポーラ美術振興財団助成調査研究の報告－
概　要：　ポーラ美術振興財団から助成をうけた調査研究「『國花』創刊に関する謎 －新出の高橋健三資料を中心として」の概要を報告した。同誌の創刊に高橋健三が強く関与していたこと、ならびにその危機的状況に対し強くリーダシップを発揮した様子、同社の活動の具体的様相などについて、新出資料に基づき報告した。

d　発表者：非常勤学芸員　武田 周一郎
テーマ：近現代鎌倉の景観変化
概　要：　近現代の鎌倉で出版された地図をもとに、描かれた鎌倉駅や武家屋敷城趾について検討した。あわせて地図に描かれなかった観光地鎌倉の実態を理解するため、明治30～40年代の日記から山林利用のあり方を明らかにし、「山の鎌倉」というべき側面を示した。

e　発表者：非常勤学芸員　岡田 真帆
テーマ：生活と幸福 －墓制の現状における心意「論」の検討
概　要：　これまで民俗学では心意の重要性が説かれてきたが、それを学術用語として分析する研究は必ずしも多くはなかった。そこで本発表は墓制の現状を踏まえて、心意を学史的に整理し直し、伝承のもつ規制力など、各時代で主張される心意の特徴を明らかにした。

(2)　日本学術振興会科学研究費助成事業によるもの

神奈川県立博物館であった昭和53年度から、文部省学術研究機関の指定を受け、科学研究費助成金が交付されるようになった。神奈川県立歴史博物館に機構変更後も継続して指定されている。平成24年度の採択は2件である。

ア　研究種目名：基盤研究(C)
課題番号：24520732
研究課題：中世鎌倉地域における寺院什物帳(文物台帳)と請来遺品(唐物)の基礎的研究
研究代表者：主任学芸員　古川 元也
研究実績概要：　本研究では鎌倉地域に関係して残された寺院什物帳(文物台帳)にみられる請来遺品の完全把握と史料論的検討、大陸から請来された伝世文物、出土遺物の実体把握、およびその比較検討を行うことを目的とする。具体的な実施方法は、1．寺院史料の調査研究、2．美術・工芸・考古分野の遺品研究、3．美術・工芸・考古分野の遺品研究(データ

集積)とし、本年度は実査、撮影、調書作成を漸次おこなった。本年度秋に開催した「世界遺産登録推進三館連携特別展　武家の古都・鎌倉」において関連研究を行い、美術・工芸・考古分野の遺品研究に関してその研究成果を援用、協業しながらデータ集積に努めた。この点では鎌倉国宝館のほか神奈川県教育委員会文化遺産課、鎌倉市教育委員会文化財課、同世界遺産登録推進担当の協力を得た。

イ　研究種目名：若手研究（B）
課題番号：80435825
研究課題：洋風画・洋画を中心とした十九世紀日本絵画史の構築に関する基礎研究
研究代表者：学芸員　角田 拓朗
研究実績概要：　近世美術と近代美術という垣根を超克し論じなければならないモノや作家が数多存在することが、本研究を行うこととした主要な動機である。研究の初年度ということで研究全体を見渡すための資料精査等を進めた。具体的には、石版画受容について考察を深めた。また当館所蔵銅版画をベースに当該期の空間表現の展開に焦点を定め、あわせてそれらの考察は当館研究報告 40 号にて掲載することを目指し執筆した。また洋画家の活動として高橋由一の生涯を概観的に考察し、平成 25 年度に口頭発表をおこなう方向性で準備をすすめた。

(3)　個人研究活動

ア　研究報告書
(ア)『神奈川県立博物館研究報告 －人文科学－ 』第 39 号　平成 25 年(2013)3 月 22 日発行
a　種　別：論文
表　題：「富士山宝永噴火を描いた絵図についての考察」
筆　者：企画普及課長　古宮 雅明
要　旨：　筆者はこれまでに富士山宝永噴火噴火絵図を十五件確認している。これをその成立経緯の違いから地元で作成された在地系絵図と幕府に提出された幕府系絵図に分類し、後者十件の史料的読み込みを試みた。各絵図の記載内容を精査し、絵図を相互にすることで幕府系絵図は少なくとも二種あったことを明らかにし、その制作者を推定した。また偽情報で作られた絵図もあることを示した。さらに、現存絵図は原絵図の姿をそのまま伝えているわけではないので、一部については原絵図記載情報の復元を試みた。
ｷｰﾜｰﾄﾞ：富士山・宝永噴火・噴火絵図

b　種　別：研究ノート
表　題：「橘忠助氏旧蔵美術資料群と明治期府県管内図」
筆　者：非常勤学芸員　武田 周一郎
要　旨：　当館所蔵の橘忠助氏旧蔵美術資料群に含まれる地図は、版画技術研究のための美術資料として収集された点に特徴がある。本稿では特に明治期「府県管内図」に注目して、その特徴を検討した。明治 10 年代前半には、内務省地理局による地図作成の動向に関連して、府県管内図が作成されている。千葉県と宮崎県の事例では、明治 11 年に同局が刊行した『測絵図譜』の地図図式が採用され、府県境が旧国界として示されている場合が多いことが確認された。
ｷｰﾜｰﾄﾞ：内務省地理局・岩橋教章・岩橋章山・結城正明・西田武雄

c　種　別：資料紹介
表　題：「横浜正金銀行本店の関東大震災復旧工事資料について －神奈川県立歴史博物館所蔵『横浜正金銀行本店等震災復旧工事関係資料』のうち『決定見積書』の紹介－」
筆　者：主任学芸員　丹治 雄一
要　旨：　本稿は、1904(明治 37)年創建の横浜正金銀行本店(現神奈川県立歴史博物館、重要文化財・史跡)で 1924(大正 13)年から翌 25 年にかけて実施された関東大震災復旧工事に関す

る資料として、神奈川県立歴史博物館が所蔵する「横浜正金銀行本店等震災復旧工事関係資料」のうち 2 冊の「決定見積書」に収録された各工事の明細を目録化し、その記載内容等の概要を紹介したものである。

2 冊の「決定見積書」に収められた 371 件の震災復旧工事の見積書は、復旧工事の設計者である櫻井小太郎（櫻井小太郎建築事務所）が承認手続きを行い、正金銀行本店に設置された「横浜正金銀行建築所」へ送付し、実際に施工された工事の見積書群であり、正金本店の震災復旧工事の詳細を知る上で最も重要な意味を持つ資料であることが確認された。

ｷｰﾜｰﾄﾞ：横浜正金銀行本店・関東大震災復旧工事資料・決定見積書・櫻井小太郎

イ　個人研究活動

〈凡例〉（刊行年などは西暦で統一）

1　著作
(1)　単著・共著・学術論文
(2)　書評・余録
(3)　資(史)料紹介
2　学術口頭報告
3　図録執筆・解説書執筆
4　新聞・雑誌等への寄稿
5　各種調査委員会等
6　講座講師等(特に館名などを記さないものは当館での実施。)
7　ここ 1 年間の課題・研究テーマ

薄井 和男(館長・美術・中世)

1(3)　「彫刻の部」（共著、『時宗文化財調査報告書 －第 4 集－』所収、pp. 8-24、時宗文化財保存専門委員会編、時宗宗務所、2013 年 1 月）
3　「鎌倉彫雑考」（特別展図録『観光地鎌倉と鎌倉彫』所収、pp. 8-9、神奈川県立歴史博物館、2013 年 2 月）
5　相模原市文化財保護審議会委員
逗子市文化財保護審議会委員
厚木市文化財保護審議会委員
川崎市文化財保護審議会委員
大磯町文化財保護審議会委員
平塚市文化財保護審議会委員
時宗文化財調査委員
7　県内所在の神社所蔵の神像調査を行った。

古川 元也(主任学芸員・歴史・中世)

1(1)　「日蓮聖人真蹟遺文の紙背文書」（『日蓮聖人と法華の至宝　第二巻　日蓮聖人の真蹟遺文』所収、同朋舎メディアプラン、pp. 194-198、2012 年 12 月）
『世界遺産登録推進三館連携特別展　武家の古都・鎌倉』
（共編著、神奈川県立歴史博物館・神奈川県立金沢文庫・鎌倉国宝館、pp. 1-304、2012 年 10 月）
(2)「武家の古都・鎌倉とはどのような場所だったのか？」(近野正幸・小井川理との共著、『神奈川県立歴史博物館だより』vol. 18、No. 2、通巻 191 号、pp. 2-5、2012 年 9 月）
2　「中世都市研究としての天文法華の乱」(興風談所研究会、2012 年 6 月 5 日、於：岡山興風談所)
「熊野信仰について」(国立歴史民俗博物館国際研究集会「東アジアの仏教をめぐる交流と変容」、2012 年 7 月 12 日～15 日、於：京都府立大学及び新宮市)
「仏日庵公物目録と記録される唐物」(貿易陶磁研究会、2012 年 9 月 29 日～30 日、於：青山学院大学)
3　特別展図録『世界遺産登録推進三館連携特別展　武家の古都・鎌倉』
（総論・第Ⅲ部「再発見！鎌倉の中世」、解説分担執筆、神奈川県立歴史博物館、2012 年 10 月）
特別陳列図録『特別陳列　夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』

（解説 10 項目分担執筆、神奈川県立歴史博物館、2012 年 9 月）
4 「「武家の古都」3 館連携展〈上〉　埋もれた鎌倉再発見」（『読売新聞』、2012 年 10 月 3 日）
「「武家の古都」3 館連携展　資料 450 件以上 鎌倉実感」（『読売新聞』、2012 年 11 月 29 日）
5 国立歴史民俗博物館共同研究員
三田史学会（慶應義塾大学）委員会委員
日本古文書学会大会運営委員・『古文書研究』（吉川弘文館）編集委員
国立歴史民俗博物館展示プロジェクト委員（～2012 年 5 月）
神奈川県立金沢文庫映像資料製作業務委託審査委員（2012 年 6 月）
6 栄区鎌倉研究会歴史講座「吾妻鏡で読む中世都市鎌倉」（2011 年 6 月 15 日、於：あーすぷらざ）
かねさわ歴史の会「世界遺産と鎌倉再発見」（2012 年 7 月 25 日、於：金沢地区センター）
かねさわ歴史の会「信長入京」（2012 年 11 月 27 日、於：金沢地区センター）
かねさわ歴史の会「宣教師たちが見た信長」（2013 年 3 月 27 日、於：金沢地区センター）
鎌倉国宝館友の会「再発見！鎌倉の中世のみどころについて」（2012 年 10 月 11 日）
栄区鎌倉研究会歴史講座「「再発見！鎌倉の中世」展展示見学」（2012 年 10 月 17 日）
国宝史蹟研究会見学会（2012 年 10 月 21 日）
県博講座Ⅱ「中世都市鎌倉をさぐる」第 2 回「中世都市鎌倉の寺院と宗教」（2012 年 11 月 4 日）
現地見学会「世界遺産候補鎌倉を歩く」（2012 年 11 月 15 日、於：鎌倉市内）
神奈川県博物館協会第 3 回研修会セミナー「「武家の古都・鎌倉」推進事業と博物館」
（2012 年 11 月 14 日、於：神奈川県立金沢文庫）
神奈川県文化財協会第 6 回見学会「特別展「再発見！鎌倉の中世」」（2012 年 11 月 20 日）
7 日本中世宗教文化史の研究。特に本年度は古都鎌倉の文化財を中心に研究を展示に発展させた。また、継続的研究として、石造供養等をはじめとする非文献資料を調査・研究し、総体的な歴史復元に資することが出来る部分の検証を試みた。

梅沢 恵（学芸員・美術・中世）
1(1) 「熊野の知られざる異像」
（『仏教美術論集 2　図像学 1（イメージの成立と伝承（密教・垂迹））』竹林舎、2012 年 5 月）
「夢窓疎石の頂相について」
（『夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』（特別陳列図録）神奈川県立歴史博物館、2012 年 8 月）
(2) 「特別陳列『夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』」
（『神奈川県立歴史博物館だより』vol. 18、№1、通巻 190 号、pp. 6-8、2012 年 6 月 26 日）
2 「妙智院所蔵夢窓疎石像について」（美術史学会東支部例会、東京大学、2013 年 3 月 23 日）
5 横浜市文化財総合調査主任調査員
6 建長寺 公開講座「鎌倉禅研究会」講師 「神奈川県立歴史博物館特別陳列『夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』ー頂相の書作例と袈裟の問題から光明寺本について考えるー」（2012 年 9 月 13 日、於建長寺）
7 館蔵の中近世絵画および、中世鎌倉文化圏の絵画を中心に調査研究を中心に行った。

小井川 理（学芸員・美術・中世）
1(1) 「絵画と調度にみる〈白絵〉のかたち」（『論集・東洋日本美術史と現場 ー見つめる・守る・伝える』、『論集・東洋日本美術史と現場』編集員会編、竹林舎、2012 年 5 月 15 日）
(2) 「武家の古都・鎌倉とはどのような場所だったのか？」（『神奈川県立歴史博物館だより』vol. 18、No. 2、通巻 191 号、pp. 2-5、古川元也・近野正幸との分担執筆、2012 年 9 月 1 日）
3 特別展図録『世界遺産登録推進三館連携特別展　武家の古都・鎌倉』
（作品解説、神奈川県立歴史博物館、2012 年 10 月）
特別展図録『観光地鎌倉と鎌倉彫 ー近代鎌倉のガイドブックー』
（作品解説、神奈川県立歴史博物館、2013 年 2 月 15 日）
4 「特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」」（『鎌倉彫会館』No. 487、鎌倉彫教授会、2013 年 2 月）
「観光と名品の歩み ～古都・鎌倉と鎌倉彫〈4〉仏像から器物へ　仏師の技に裏打ちされた美」
（『神奈川新聞』、2013 年 3 月 6 日）
5 国立歴史民俗博物館共同研究員

6 「特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫 ー近代鎌倉のガイドブックー」(神奈川県文化財協会、平成 24 年度第 7 回見学会、寺嵜弘康との分担解説、2013 年 2 月 21 日)
「特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」」
(國寶史蹟研究會 第 956 回研究例会、寺嵜弘康との分担解説、2013 年 3 月 17 日)
7 館蔵工芸資料に関する調査研究。特別展「武家の古都・鎌倉 世界遺産登録推進三館連携特別展 再発見!鎌倉の中世」及び「観光地鎌倉と鎌倉彫ー近代鎌倉のガイドブックー」にかかる調査研究。産所調度として用いられる白綾屏風及び白絵屏風、並びに関連資料についての研究。

鳥居 和郎 (専門員・歴史・中世)
5 箱根町文化財保護委員会委員
小田原市郷土文化館協議会委員
小田原市文化財保護委員会委員
小田原城耐震改修等検討委員会委員
6 キャンパス小田原学習講座「小田原城物語」(小田原市文化部)
「大森氏と小田原」(2012 年 7 月 31 日)
「北条早雲」(2012 年 8 月 7 日)
「北条氏綱」(2012 年 8 月 7 日)
「北条氏康」(2012 年 8 月 21 日)
「北条氏政・氏直」(2012 年 8 月 28 日)
「北条氏の京都外交と文化の移入」(2012 年 9 月 4 日)
「北条氏ゆかりの女性たち」(2012 年 9 月 11 日)
「戦国編 (ダイジエスト)」(2012 年 9 月 15 日)
葉山町民大学(大学提携・生涯学習講座)講師(於:関東学院大学葉山セミナーハウス)
「戦国大名北条氏と外交」(2013 年 2 月 25 日)
7 後北条氏の京都外交に関する史料の検討。

千葉 毅(学芸員・考古)
2 「三十稲場式期における「関東系」土器群の様相」(「津南シンポジウムⅧ 三十稲場式土器文化の世界 ー4・3Ka イベントに関する考古学現象 2ー」、新潟県津南町教育委員会、2012 年 10 月 14 日、於:マウンテンパーク津南)
「青森県下北郡東通村尻労 尻労安部洞窟遺跡発掘調査」(共同発表、「第 66 回日本人類学会大会」、日本人類学会、2012 年 11 月 2 日、於:慶應義塾大学日吉校舎)
「安部遺跡(尻労(しつかり)安部洞窟)」(共同発表、「平成 24 年度青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」、青森県公立発掘調査機関連絡協議会、2012 年 12 月 8 日、於:青森県総合社会教育センター)
3 『勝坂縄文展 ー平成 24 年度かながわの遺跡展・巡回展 展示リーフレットー』(神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)、2012 年 12 月 16 日)
6 「山王山遺跡と弥生時代から古墳時代の社会」(「神奈川県埋蔵文化財センター 考古学スクールセミナー」、2012 年 5 月 9 日、於:神奈川県立岸根高校)
「美しき!? 縄文土器 ー縄文土器は歴史か、アートかー」(「神奈川県埋蔵文化財センター 第 1 回考古学講座」、2012 年 5 月 19 日、於:神奈川県民センター)
「美しき、縄文土器」(「神奈川県埋蔵文化財センター 考古学スクールセミナー」、2012 年 11 月 14 日、於:北鎌倉女子学園)
「美しき、縄文土器 ー縄文土器は歴史か、アートかー」(「ばおばぶ講座」、2013 年 1 月 27 日、於:カフェギャラリー&窯 ばおばぶ)
「縄文土器を考古学と美術史から語る」(対談:鈴木希帆氏、「勝坂縄文展記念対談」、神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)、2013 年 2 月 2 日)
「勝坂遺跡と勝坂式土器」(「講座 勝坂をまなぼう」、相模原市文化財保護課、2013 年 3 月 10 日、於:史跡勝坂遺跡公園管理棟)
7 縄文時代の人々の交流や移動、あるいは情報の動きをテーマに研究している。具体的には、南関東地方を中心とした地域をフィールドとして、遺構や遺物に周辺地域からの影響や要素を見出し、それらが流入す

る背景やその仕方、あるいは時間的な変化について検討している。

寺嵜 弘康 (学芸部長・歴史・現代)

3 特別展図録『ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー ー二つの港町の戦後文化ー』
(神奈川県立歴史博物館、2012 年 4 月)
特別展図録『観光地鎌倉と鎌倉彫 ー近代鎌倉のハンドブックー』(神奈川県立歴史博物館、2013 年 2 月)

4 「二つの港町の戦後文化 ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー〈1〉 原信夫の横浜ストーリー ジャズ人生始まりの地」(『神奈川新聞』2012 年 4 月 25 日)
「二つの港町の戦後文化 ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー〈2〉 原信夫の横浜ストーリー ビッグバンドで活躍」(『神奈川新聞』2012 年 4 月 27 日)
「二つの港町の戦後文化 ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー〈3〉 スカジャン誕生 和風図柄の刺繍が人気」(『神奈川新聞』2012 年 5 月 7 日)
「二つの港町の戦後文化 ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー〈4〉 占領期の輸出品 スカーフが貿易牽引」
(『神奈川新聞』2012 年 5 月 11 日)
「二つの港町の戦後文化 ヨコハマ・ヨコスカ ストーリー〈5〉 ジャズの街誕生 第 2 の開国到来」
(『神奈川新聞』2012 年 5 月 18 日)
「観光と名品の歩み〜古都・鎌倉と鎌倉彫〈1〉 観光地の誕生 鉄道開通と文化的成熟」
(『神奈川新聞』2013 年 2 月 13 日)

5 横須賀市史専門委員
首都圏形成史研究会常任委員

6 県博講座「近代鎌倉と工芸」第 1 回「観光地鎌倉の形成」(2013 年 2 月 17 日)

7 横浜正金銀行頭取及び役員の旧蔵資料を収集し、その整理と分析を進めた。

古宮 雅明(企画普及課長・専門学芸員・歴史・近世)

1(1) 論文「富士山宝永噴火を描いた絵図についての考察」
(『神奈川県立博物館研究報告−人文科学−』第 39 号、pp. 1〜pp. 28、平成 25 年 3 月)

7 道中記を素材とした江戸時代旅文化の研究。街道絵図の研究。江戸時代の災害史の研究。

嶋村 元宏(主任学芸員・歴史・近代)

1(1)「ペリー・イメージの成立と展開 ー画像資料を素材として」(特別展図録『ペリーの顔・貌・カオ ー「黒船」の使者の虚像と実像ー』、神奈川県立歴史博物館、pp. 6-16、2012 年 7 月 5 日)
(2)「創り出されるペリーのイメージ」
(『ボランティアニュース』第 65 号、神奈川県立歴史博物館ボランティア会、p. 2、2012 年 7 月 3 日)
「ペリーの顔・貌・カオ ー「黒船」の使者の虚像と実像ー展によせて」
(『神奈川県立歴史博物館だより』vol. 18、No. 1、通巻 190 号、pp. 2-5、2012 年 6 月 26 日)

3 『明治時代史大辞典』(宮地正人他編、吉川弘文館、項目執筆 1 点、2012 年 7 月 10 日)

4 「ペリーの顔・貌・カオ〈1〉 初公開 島津家に残る肖像」(『毎日新聞』、2012 年 7 月 6 日)
「ペリーの顔・貌・カオ〈2〉 幕府よ、要求に屈するな!」(『毎日新聞』、2012 年 7 月 15 日)
「ペリーの顔・貌・カオ〈3〉 浦賀にイギリス船!? 現る」(『毎日新聞』、2012 年 7 月 21 日)
「ペリーの顔・貌・カオ〈4〉 絵師が見た!供応の現場」(『毎日新聞』、2012 年 8 月 14 日)
「ペリーの顔・貌・カオ〈5〉 ペリーにひげが生えた!」(『毎日新聞』、2012 年 8 月 19 日)

7 ここ 1 年間の課題・研究テーマ「19 世紀中葉の国際秩序の変容」をメインテーマに研究を継続した。特に上半期は、平成 18 年度から平成 20 年度におこなった科学研究費補助金基盤研究 (C) の成果の一部を、特別展として公開した。

桑山 童奈(主任学芸員・美術・近世)

5 国際浮世絵学会理事、企画委員
第 140 回版画研究会「五雲亭貞秀の鳥瞰図と地図」(2012 年 5 月 24 日、於 : 第一オカモトヤビル)
平成 24 年度神奈川県考古学会講座「浮世絵に見る文明開化と横浜」(2013 年 3 月 2 日、於 : 横浜市歴史博物館)

7　常設展示テーマ3、4の充実を目指した。

丹治 雄一（主任学芸員・歴史・近代）

1(3)　資料紹介「横浜正金銀行本店の関東大震災復旧工事資料について－神奈川県立歴史博物館所蔵『横浜正金銀行震災復旧工事関係資料』のうち『決定見積書』の紹介－」（『神奈川県立博物館研究報告－人文科学－』第39号、pp.43-64、2013年3月）

3「旧横浜正金銀行本店本館」「神奈川県庁本庁舎」
（『第47回全国史跡整備市町村協議会大会エクスカーション資料』、pp.16-19、2012年10月）

5　首都圏形成史研究会常任委員

6　世田谷美術館見学会「萬KENBUN録　ヨコハマ・レトロ・ミュージアム」講師
「旧横浜正金銀行本店本館について」（2012年5月18日）
MUFG（三菱UFJフィナンシャルグループ）エクステンションカレッジ講師
「旧横浜正金銀行本店本館について」（2012年6月9日）
第47回全国史跡整備市町村協議会大会エクスカーション講師
「旧横浜正金銀行本店本館について」（2012年10月18日）
法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座「企業家活動でたどる日本の食品産業史－日本食品産業の改革者に学ぶ　第2部」講師「食品大企業の成立②　製菓：森永太一郎（森永製菓）ビール：馬越恭平（大日本麦酒）」（2012年11月17日、於法政大学）

7　総合研究「近代日本の銀行建築に関する建築史的研究」の研究代表者として、横浜正金銀行および日本銀行の本支店を中心とした全国の戦前創建の銀行建築の基本データ収集とその分析作業を進めた。神奈川県庁本庁舎（1928年創建）の建築史的研究にも継続して取り組み、県庁本庁舎創建時に作成された実施設計図の再検証を行った。

角田 拓朗（学芸員・美術・近代）

1(1)　「特集　日本近代美術の巨匠たち」　作品・作家解説　（『美術手帖　BT』、2011年5月）
「【作品紹介】近年の五姓田派コレクションの拡充について」
（『神奈川県立歴史博物館だより』vol.18、№2、通巻190号、pp.6-7、2012年9月）
「美人画を研究することの意義とその課題 －再興院展出品作を事例としながら－」（上）・（下）
（『美術運動史研究会ニュース』131・132号』、美術史運動研究会、2011年11・12月）
ポーラ美術振興財団助成調査研究事業報告書「『國華』創刊に関する研究 －新出の高橋健三資料を中心として－」（研究代表：角田拓朗、2013年3月）

2「高橋由一は何故好まれるのか？」（上野近現代美術研究会例会、2012年5月8日、於：東京藝術大学）
「橘忠助氏旧蔵美術資料群について」
（版画史研究会第8回研究会、2012年7月7日、於：神奈川県立歴史博物館）
口頭発表用原稿翻訳：チェルシー・フォックスウェル「カリフォルニアの日本人画家・青木年雄」
（明治美術学会例会、2012年9月9日、於：東京大学）
「『國華』草創期の経営環境について～経理文書を中心に～」
（ポーラ財団助成事業中間成果報告会、2012年10月20日、於：神奈川県立歴史博物館）
「『國華』草創期の具体像 －ポーラ美術振興財団助成調査研究の報告－」
（平成24年度研究成果報告会、2013年3月5日、於：神奈川県立歴史博物館）
「高橋由一工房の存在の可能性について」（科学研究費「基盤研究（C）　新出と既知の高橋由一作《西周像》について」中間成果報告会、2013年3月12日、於：神奈川県立近代美術館）

3　特別展図録『ヨコハマ・ヨコスカストーリー －二つの港町の戦後文化－』
（神奈川県立歴史博物館、2012年4月）
特別展図録『近代洋画の開拓者　高橋由一展』（東京藝術大学大学美術館ほか、2012年4月）
特別展図録『甦る美　二つの西周像』（神奈川県立近代美術館、2013年1月）
特別展図録『観光地鎌倉と鎌倉彫 －近代鎌倉のガイドブック－』
（神奈川県立歴史博物館、2013年2月）

4「観光と名品の歩み ～古都・鎌倉と鎌倉彫〈2〉鎌倉と近代美術　奥深い芸術家の交流」
（『神奈川新聞』、2013年2月20日）

「特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫 ー近代鎌倉のガイドブックーについて」
（『新美術新聞』、新美術新聞社、2013 年 2 月）
6 「中川一政の美　松永耳庵の眼」
（連続講座「松永耳庵物語」、板橋秋の交流会実行委員会、2012 年 11 月 10 日、於：松永記念館）
博物館入門講座「近代美術資料の見方・扱い方」(2013 年 1 月 27 日)
県博講座「近代鎌倉と芸術」(2013 年 2 月 24 日)
第 32 回馬車道を描く日曜画家展　審査員(2012 年 11・12 月)
7 橘忠助氏旧蔵美術資料群に関する調査研究、特に五姓田義松関係資料群について。
日本学術振興会科学研究費助成事業「若手研究 (B) 洋風画・洋画を中心とした十九世紀日本絵画史の構築に関する基礎研究」(平成 24 年度～26 年度　課題番号：80435825　研究代表：角田拓朗)を推進した。「基盤研究 (C) 新出と既知の高橋由一作《西周像》について」(平成 23 年度～25 年度　課題番号：23520140 研究代表：長門佐季)の分担研究者として、特に高橋源吉について調査研究を行った。さらに、ポーラ美術振興財団助成調査研究事業「『國華』創刊に関する研究 ー新出の高橋健三資料を中心としてー」をおこない、成果報告書を刊行した。
また、開館記念日には橋本雅邦筆《双竜図》等を公開し、近代日本美術研究に寄与した。

新井 裕美(学芸員・民俗)
7 死者供養・他界観・道祖神に関する継続的な研究を実施している。

岡田真帆(非常勤学芸員・民俗)
7 葬送墓制の調査データを整理検討し、心意をめぐる近年の研究動向を分析した。これにより、実際のフィールドにおける、心意の研究対象を明らかにすることが課題である。

武田 周一郎(非常勤学芸員・歴史・現代)
1(1)　研究ノート「橘忠助氏旧蔵美術資料群と明治期府県管内図」
（『神奈川県立博物館研究報告 ー人文科学ー』第 39 号、pp. 29-42、2013 年 3 月 22 日）
2 「近現代鎌倉の景観変化」（神奈川県立歴史博物館研究成果報告会、2013 年 3 月 5 日）
3 特別展図録『武家の古都鎌倉』（作品解説、神奈川県立歴史博物館、2012 年月日）
特別展図録『観光地鎌倉と鎌倉彫-近代鎌倉のガイドブック-』
（作品解説、神奈川県立歴史博物館、2013 年 2 月 15 日）
7 横浜正金銀行頭取及び役員の旧蔵資料整理。同行行員の経歴に関する資料整理。

4　資料収集・修理・保管・利用

〈凡例〉
ア 購入、　イ 寄贈・寄託・借用、　ウ 修理、　エ 貸出、　オ 特別利用、　カ その他

(1)　考古資料

イ　寄贈・寄託・借用

(寄贈)

No.	寄贈主	資　　料　　名	件ー点
1	個人(東京都在住)	須恵器　フラスコ形提瓶(古墳時代)	1件1点
2	個人(東京都在住)	歴史絵はがき(上古遺物号)	1件1点

(借用)

No.	資　料　名	件ー点	当初借用年月日
1	宗元寺軒瓦 外	1件1,088点	昭和46年 1月 1日
2	壺(横須賀高校裏山遺跡) 外	1件3点	平成 7年 2月10日
3	饒益神宝(中原上宿遺跡出土)	1件1点	平成 8年 3月 1日
4	藤沢市代官山遺跡出土土器 外	1件283点	平成21年 3月 1日
5	相模原市川尻中村遺跡出土土器　外	1件16点	平成23年 8月19日
6	平塚市湘南新道関連遺跡　外	1件218点	平成23年12月27日
7	綾瀬市寺尾遺跡出土石器　外	1件209点	平成24年 3月 9日
8	藤内式土器(久野一本松遺跡12号土坑出土) 外	4件4点	平成24年 7月12日
	合　　計	11件1,822点	

ウ　修理

館蔵資料の中で遺存状態の悪いものを、緊急度に応じて順次修理し、恒久的な保存に耐える処置を施して展示に活用する。平成24年度に修理を行った考古資料は次のとおり。

・深鉢形土器（縄文時代）　5点
・壷形土器（古墳時代）　1点

エ　貸出

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	横浜市歴史博物館 「海に漕ぎ出せ！弥生人」	間口洞窟遺跡出土 骨角器・土器 (県指定重要文化財) 離頭銛模型 大浦山洞窟遺跡出土 貝輪 毘沙門B・C洞窟遺跡 出土　骨角器 向ヶ崎B洞窟遺跡出 土骨角器	5件50点	展示	平成24年3月21日 ～ 6月10日
2	相模原市立博物館 「勝坂縄文展」	横浜市栄区公田町出 土人面形把手	1件1点	展示	平成24年2月8日 ～
3	横浜市末吉地区センター １Ｆロビー 地域の文化財に対する啓発	小林幸雄氏コレクシ ョン	1件61点	展示	平成25年3月1日 ～ 3月31日

4	横浜市歴史博物館 「N.G. マンローと日本考古学」	三ツ沢貝塚・三ツ沢遺跡出土品	1件61点	展示	平成25年3月16日 ～

オ　特別利用

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	横浜市歴史博物館 企画展図録掲載	間口洞窟遺跡出土骨角器ほか	1件37点	撮影・出版掲載	平成24年 4月6日
		大浦山洞穴出土品ほか	1件11点		
2	個人 調査研究	間口洞窟遺跡出土資料ほか	1件138点	閲覧・撮影	平成24年 7月27日
3	個人 調査研究	間口洞窟遺跡出土資料ほか	1件21点	閲覧・撮影	平成24年 10月16日
4	横浜市歴史博物館 調査研究	横浜市神奈川区三ツ沢貝塚(三ツ沢遺跡)出土資料	1件148点	閲覧・撮影	平成25年 1月25日
		横浜市磯子区根岸町板の台出土資料	1件12点		
		横浜市中区根岸台出土資料	1件2点		
5	横浜市歴史博物館 企画展図録掲載	横浜市神奈川区三ツ沢貝塚(三ツ沢遺跡)出土資料	1件55点	撮影・出版掲載	平成25年 2月27日

(2)　歴史資料

ア　購入

No.	資　　料　　名	件ー点
1	桜井家文書（越前時代）	1件10点

資料の概要：　桜井家文書とは、後北条氏の家臣桜井氏に伝来した文書群である。当館は既に戦国時代の文書については収集を行ったが、昨年度より越前時代の19通について漸次購入を行い、すでに9通については収集を済ませた。本年度は残りの10通について購入を行った。

天正18年（1590）の小田原合戦の後、北条氏の家臣は帰農、あるいは他家へ仕官するなどその身の処し方は様々であった。桜井氏は結城秀康（徳川家康次男）に仕え、秀康が関ヶ原の合戦後、越前へ転封するとそれに従った。越前松平家に仕官した北条氏の遺臣は「結城秀康給帳」などから40名余を数えることが出来るが、北条時代と結城（松平）時代の文書を原本のまま伝えるのは桜井氏のみである。北条氏遺臣の近世武家社会における状況や、越前松平家の初期段階の研究のために大変興味深い文書群である。

内訳	資　料　名	年　月　日	宛　先	形式	数量	単位	法量(竪×横) cm
1	松平忠直知行充行状	元和9年2月3日	桜井佐助	竪紙	1	通	35.7 × 51.8
2	松平忠直書状	年未詳　1月12日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.3 × 52.3
3	松平忠直書状	年未詳　4月18日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.2 × 51.8
4	松平忠直書状	年未詳　4月25日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.2 × 51.8
5	松平忠直書状	年未詳　5月7日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.3 × 52
6	松平忠直書状	年未詳　5月20日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.3 × 52

7	松平忠直書状	年未詳　6月24日	桜井(武兵衛)	折紙	1	通	36.3　× 52
8	松平忠直書状	年未詳　8月	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.5 × 51.7
9	松平忠直書状	年未詳　8月11日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.4　× 51.8
10	松平忠直書状	年未詳 12月28日	桜井武兵衛	折紙	1	通	36.2　× 51.8

イ　寄贈・寄託・借用

（寄贈）

No.	寄贈主	資　　料　　名	件一点
1	個人(東京都在住)	浜本亀市関係写真アルバム	1件1点
2	個人(東京都在住)	浜本亀市関係写真アルバム	1件1点
3	個人(東京都在住)	浜本亀市関係写真アルバム	1件1点
4	個人(東京都在住)	懐中時計(内箱・外箱付属)	1件1点
5	個人(東京都在住)	BANKING CORRESPONDENCE　横浜正金銀行「通報号外」	1件1点
6	個人(東京都在住)	BANKING CORRESPONDENCE VOL.Ⅱ　横浜正金銀行「通報号外」	1件1点
7	個人(東京都在住)	BANKING CORRESPONDENCE VOL.Ⅲ　横浜正金銀行「通報号外」	1件1点
8	個人(東京都在住)	最近の各国貨幣便覧　横浜正金銀行「調査資料」第四十四号	1件1点
9	個人(東京都在住)	海外生活の思ひ出「正金人」終刊号　1947年	1件1点
10	個人(川崎市在住)	Isezakicho yokohama before air raid, Isezakicho yokohama after air raid	1件1点
11	個人(川崎市在住)	Looking down 5th ave.	1件1点
12	個人(川崎市在住)	Up 5th ave. from Cabaret OIympic	1件1点
13	個人(川崎市在住)	横浜松屋付近	1件1点
14	個人(静岡県在住)	大正六年学年度　通信箋	1件1点
15	個人(静岡県在住)	修業証書(尋常小学校第1学年)	1件1点
16	個人(静岡県在住)	賞状(教科書2冊)	1件1点
17	個人(静岡県在住)	大正七年学年度　通信箋	1件1点
18	個人(静岡県在住)	修業証書(尋常小学校第2学年)	1件1点
19	個人(静岡県在住)	賞状(教科書1冊)	1件1点
20	個人(静岡県在住)	修業証書(尋常小学校第3学年)	1件1点
21	個人(静岡県在住)	賞状(教科書2冊)	1件1点
22	個人(静岡県在住)	〔任命状〕(大正9年度第2学期第16号級副級長)	1件1点
23	個人(静岡県在住)	大正九年学年度　通信箋	1件1点
24	個人(静岡県在住)	〔任命状〕(大正10年度第3学期第18号級副級長)	1件1点
25	個人(静岡県在住)	修業証書(尋常小学校第4学年)	1件1点
26	個人(静岡県在住)	賞状(教科書2冊)	1件1点
27	個人(静岡県在住)	賞状(皆勤賞)	1件1点
28	個人(静岡県在住)	賞状(教科書2冊)	1件1点
29	個人(静岡県在住)	〔任命状〕(大正11年度第2学期第7号級副級長)	1件1点
30	個人(静岡県在住)	卒業証書(尋常小学校)	1件1点
31	個人(静岡県在住)	賞状(皆勤賞)	1件1点
32	個人(静岡県在住)	賞状(万年筆1本)	1件1点
33	個人(横浜市在住)	YOD SAFETY AWARD (安全褒章)	1件1点
34	個人(横浜市在住)	SAFE DRIVER AWARD	1件1点
35	個人(横浜市在住)	表彰状	1件1点

36	個人(横浜市在住)	Letter of Commendation	1件1点
37	個人(横浜市在住)	〔Letter of appreciation〕	1件1点
38	個人(東京都在住)	ラジオ関東開局記念チラシ	1件1点
39	個人(東京都在住)	オリンピックＮＨＫ放送時刻表	1件1点
40	個人(横浜市在住)	戦時貯蓄債権(第7回・金15円)	1件1点
41	個人(横浜市在住)	大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券(第8回・金20円)	1件1点
42	個人(横浜市在住)	大日本帝国政府大東亜戦争割引国庫債券(第10回・金10円)	1件1点
43	個人(横浜市在住)	戦時貯蓄債権(第19回・金7円50銭)	1件1点
44	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(マロー『家なき子』改造社)	1件1点
45	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(ベネット『グランド・バビロン・ホテル』改造社)	1件1点
46	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(パール・バック『愛国者』改造社)	1件1点
47	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(火野葦平『海南島記』改造社)	1件1点
48	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(『改造』1939年6月号)	1件1点
49	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(『大陸』1939年5月号)	1件1点
50	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(『大陸』1939年8月号)	1件1点
51	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(『キング』12月号)	1件1点
52	個人(小田原市在住)	紙製吊広告(「戦地も 銃後も 仁丹」)	1件1点
53	個人(小田原市在住)	〔広告送付用紙筒〕	1件1点
54	個人(小田原市在住)	〔広告送付用紙筒〕	1件1点

(寄託)

No.	資　　料　　名	件ー点	当初寄託年月日
1	帝政ロシア製32ポンド砲(旧居留地90番出土の大砲)	1件1点	平成16年2月 1 日
2	長谷川家文書	1件22点	平成23年2月17日
3	大太鼓	1件1点	平成23年2月18日
	合　　計	3件24点	

(借用)

No.	資　　料　　名	件ー点	当初借用年月日
1	烏帽子形兜	1件1点	昭和43年10月22日
2	古瀬戸瓶子	1件1点	昭和45年 9 月 1 日
3	刀片(三増合戦場出土)	1件1点	昭和47年 6 月10日
4	関山家文書	1件24点	昭和47年 9 月 8 日
5	久崎家文書	1件197点	昭和47年 9 月13日
6	瀬戸 四耳壺 外	1件3点	昭和48年 7 月 1 日
7	渥美 灰釉壺 外	1件5点	昭和48年10月 1 日
8	本多家文書	1件953点	昭和49年 3 月 1 日
9	御用取締りのぼり	1件1点	昭和49年 4 月26日
10	嘆願書	1件1点	昭和52年 3 月23日
11	生麦村新地実測図(神奈川県令中島信行宛)	1件5点	昭和52年12月 1 日
12	舊荻野山中建物之繪図 外	1件19点	昭和53年12月 1 日
13	寺井家文書	1件16点	昭和55年 2 月15日
14	散弾銃	1件1点	昭和55年 4 月 1 日
15	羽柴秀吉知行充行状　天正十一年六月五日付	1件1点	昭和58年 5 月20日
16	平本家文書	1件1,309点	昭和58年10月14日

17	黒船来航絵巻	1件1点	平成 4 年 5 月 15 日
18	日月鳳凰螺鈿鞍	1件1点	平成 4 年 11 月 1 日
19	旧小田原城天守閣模型	1件1点	平成 5 年 12 月 15 日
20	辰御年貢可納割付之事 外	1件2点	平成 6 年 7 月 20 日
21	享保十四年九月酉之内検見引棟 外	1件22点	平成 6 年 10 月 7 日
22	黒地竹矢来に小花模様小袖裂 外	1件11点	平成 8 年 2 月 1 日
23	長禄元年銘板碑　同破片	1件2点	平成 13 年 5 月 1 日
24	中国青磁 碗　線描き蓮弁文 外	1件50点	平成 18 年 6 月 1 日
25	茅ヶ崎市出土板碑関係(梵字板碑、破片)	1件4点	平成 20 年 7 月 1 日
26	旧横浜正金銀行本店本館改修工事関係資料 一括	1件1点	平成 20 年 9 月 1 日
27	旧横浜正金銀行本店本館彩色立面図 外	1件119点	平成 22 年 10 月 15 日
28	銅造　明治天皇立像　外	1件 3点	平成 23 年 12 月 15 日
29	唐船渡来ニ付御手配	1件 1点	平成 24 年　3 月 6 日
	合　　計	29件2,756点	

エ　貸出

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	品川区立品川歴史館 「温泉の魅力・再発見」	箱根権現縁起絵巻　下巻 近海見分之図 第二冊「鳳之巻」・第三冊「亀之巻」	2件3点	展示	平成 24 年 5 月 10 日～ 6 月 7 日
2	横浜市歴史博物館 企画展 「生麦事件と横浜の村々」	Illustrated London News, July to December 1861 Illustrated London News, July to December 1863 Illustrated London News, Jan. to June 1864 Illustrated London News, July to December 1864 Illustrated London News, Jan. to June 1865	5件5点	展示	平成 24 年 7 月 10 日～ 9 月 25 日
3	大磯町郷土資料館 夏季企画展 「東海道大磯宿-小島本陣資料を読み解く-」	東海道分間延絵図(平塚宿から風祭まで)(複製)	1件1点	展示	平成 24 年 7 月 13 日 ～ 9 月 12 日
4	品川区立品川歴史館 特別展 「品川鉄道事始ー蒸気船が品川を走るー」	嘉永四年　阿蘭陀別段風説書 嘉永五年　阿蘭陀別段風説書 亜墨利加渡来横浜之真図 ペリー献上蒸気機関車模型 鉄道寮　御幸臨鉄道開業縦観券 鉄道独案内　横浜 鉄道独案内　鶴見 鉄道独案内　川崎 日本鉄道会社定款	9件9点	展示	平成 24 年 9 月 28 日～ 11 月 28 日
5	神奈川県立金沢文庫 特別展	一遍上人像(複製)	2件2点	展示	平成 24 年 9 月 30 日～

	「鎌倉興隆－金沢文庫とその時代－」	北条時頼像(複製)			平成24年12月7日
6	大阪城天守閣 特別展 「秀吉の城」	豊臣秀吉書状(天正18年)5月14日付	1件1点	展示	平成24年10月2日～12月5日
7	横浜市歴史博物館 特別展 「畠山重忠－横浜・二俣川に散った武蔵武士－」	二十四間四方白星兜鉢 東鏡(慶長古活字版) 男衾三郎絵詞(模本) 伝源頼朝像(複製)	4件13点	展示	平成24年10月6日～11月29日
8	小田原市郷土文化館 「小田原北条氏五代100年の興亡」	北条家寄進物註文　永禄8年5月15日付(本光寺文書) 伊勢宗瑞制札　永正15年2月3日付(関山家文書)〈借用資料〉 伊勢(北条)家制札　大永4年4月10日付(関山家文書)〈借用資料〉 豊臣秀吉書状(天正18年)5月14日付 北条氏直朱印状(天正18年)7月17日付(桜井家文書) 北条氏政証文　天正8年8月19日付(北条家文書) 北条氏直一字書出　天正17年霜月10日付(北条家文書) 徳川家康書状(天正18年)6月7日付(北条家文書) 豊臣秀吉朱印状(天正19年)8月9日付(北条家文書) 小田原衆所領役帳 小田原陣仕寄陣取図(複製) 北条早雲像(複製) 文台硯箱(複製) 陣羽織(狭山北条家所用) 旗指物(狭山北条家所用)	15件 15点	展示	平成24年9月30日～平成24年12月7日

オ　特別利用

No.	申請者・目的	資　料　名	件－点	利用方法	利用期間
1	個人 調査研究	馬蹄鉄進上図面付	1件5点	閲覧	平成24年5月11日
2	個人 調査研究	電話番号簿	1件1点	閲覧・撮影	平成24年7月10日
3	神奈川県立公文書館	野村征子氏寄贈資料	1件17点	閲覧・撮影	平成24年7月13日
4	個人 調査研究	鉄漆塗鉄四八間筋兜鉢 太刀　備前国長船長光作 黒革包太刀拵	1件1点 1件1点 1件1点	閲覧・撮影	平成24年11月29日

(3) 美術資料

ア　購入

No.	資　　料　　名	件ー点
1	「賀来久子像」　(渡辺幽香)	1件1点

No.1

名　称:「賀来久子像」(渡辺幽香)

員　数:１点

法　量:127.5㎝×50.7㎝

説　明:　五姓田派の一人渡辺幽香の作。彼女の絹地肖像画は少なく、その中でも本作は描写力に秀でた優品といえる。像主の賀来久子は大分県宇佐の地主惟熊の夫人。画面上部には南一郎平による賛が記されている。

イ　寄贈・寄託・借用

(寄贈)

No.	寄贈主	資料名	件ー点
1	個人(逗子市在住)	萩焼茶碗　(十一代 三輪休雪 作)	1件1点

(寄託)

No.	資　　料　　名	件ー点	当初寄託年月日
1	江の島関係浮世絵コレクション	88点	昭和56年 4月 1日
2	重要文化財　木造他阿真教坐像	1点	平成17年 5月24日
3	束帯天神像 外	9点	平成21年 4月24日
4	祖栄筆　柳に鷺図 外	18点	平成21年 8月 1日
5	眞葛焼	19点	平成22年 3月 1日
6	向獅子香爐	1点	平成23年 6月29日
7	高浮彫牡丹ニ眠猫覚醒大香炉 外	5点	平成24年 3月27日
	合　　計	141点	

(借用)

No.	資　　料　　名	件ー点	当初借用年月日
1	県重要文化財　紙本墨画淡彩　十六羅漢図	1件17点	昭和44年 3 月 1 日
2	県重要文化財　絹本著色　熊野権現影向図	1件1点	昭和44年 3 月 1 日
3	県重要文化財　絹本著色　両界曼荼羅図 外	1件37点	昭和44年 7 月 1 日
4	東山天皇即位図屏風	1件1点	昭和47年 6 月17日
5	常滑印花文壺 外	1件12点	昭和48年 3 月 1 日
6	東海道図屏風	1件1点	昭和49年 7 月 1 日
7	源氏物語図屏風	1件1点	昭和50年 3 月10日
8	絹本著色　七星如意輪曼荼羅図	1件25点	昭和50年 6 月 1 日
9	横浜浮世絵	1件473点	昭和52年 1 月10日
10	張交屏風	1件1点	昭和52年 7 月15日
11	下村観山デスマスク 外	28件414点	昭和53年 4 月 1 日
12	木造薬師如来坐像	1件1点	昭和56年 2 月25日
13	大小暦コレクション(長谷部コレクション)	1件40点	昭和59年 4 月 1 日

14	双六(下村観山)	1件1点	昭和59年 7 月 1 日
15	海岸風景図(司馬江漢)	1件2点	昭和60年12月 1 日
16	鴉図 外(以天宗清)	1件2点	昭和63年 7 月 7 日
17	短刀(チャールズ・ワーグマン所用)	1件1点	平成 2 年 8 月25日
18	江島金沢八景図屏風 外	1件4点	平成 4 年12月 1 日
19	本牧風景 外	1件2点	平成 5 年 6 月15日
20	鶴岡八幡宮境内出土品の内　板草履の芯 外	1件19点	平成 7 年 3 月 1 日
21	梵鐘	1件1点	平成10年 1 月 1 日
22	仁清意鶏形香合 外	1件4点	平成12年 3 月 1 日
23	俵藤太絵巻	1件5点	平成12年 5 月 1 日
24	好色十二候 外(喜多川歌麿)	1件12点	平成12年12月20日
25	箱根権現縁起絵巻　付 納入箱	1件2点	平成13年 8 月 1 日
26	闘鶏下絵 外(下村観山)	1件3点	平成21年 3 月 1 日
27	高浮彫大鷲雀捕獲花瓶　外	1件5点	平成23年10月 8 日
28	高浮彫桜ニ群鳩大花瓶　外	1件2点	平成23年10月 8 日
	合　　計	55件1,089点	

ウ　修理

館蔵資料の中で破損の著しい絵画・工芸品などを、緊急度に応じて順次修理し、恒久的な保存に耐える処置を施して展示に活用する。平成24年度に修理を行った美術資料は次のとおり。

・「十王図（重要文化財)」(絹本著色)
・「脇差」(銘「相州住綱広」室町時代末期〈赤羽刀〉)　一振

エ　貸出

No.	申請者・目的	資　料　名	件-点	利用方法	利用期間
1	横須賀美術館 企画展 「正岡子規と美術」	正岡子規肖像(五姓田義松) 従軍記者露営図(五姓田義松) 日清戦勝図(五姓田義松) 揚峯嶺砲台激戦図(五姓田義松) 俘虜図(五姓田義松) ロシア兵士像(五姓田義松) 『従征画稿　第二集』 『従征画稿　第二集』	8件8点	展示	平成24年 1月12日 ～ 4月27日
2	古河歴史博物館 企画展 「二世五姓田芳柳の世界」	西洋老婦人像(初代 五姓田芳柳) 井田譲像(初代 五姓田芳柳) 街道(チャールズ・ワーグマン) 宿場(チャールズ・ワーグマン) 五姓田一家之図(五姓田義松) 少女像(五姓田義松) 横浜根岸相沢村(五姓田義松) 井田磐楠像(五姓田義松) 初代芳柳像(五姓田義松) 絵を描く芳柳(五姓田義松)	10件 10点	展示	平成24年 3月6日 ～ 5月15日
3	東京藝術大学　大学美術館 展覧会 「近代洋画の開拓者	西洋画譜　初編(高橋由一画) 『臥遊席珍』 風流五葉松(鳥居清峯)	6件 10点		平成24年 4月17日 ～

	高橋由一」	青楼美人合　松葉屋内粧ひ　華妻(菊川英山)		展示	7月11日
		かな頭に木の葉轢(初代 歌川広重)			
		鮑　さより(初代 歌川広重)			
4	「明治・大正時代の日本陶磁展」実行委員会 平成24年度　公立美術館巡回展支援事業 「明治・大正時代の日本陶磁ー産業と工芸美術ー」	高浮彫牡丹ニ眠猫覚醒蓋付水指 (初代 宮川香山)	1件1点	展示	平成24年 5月10日 ～ 12月12日
5	千葉市美術館 「浮世絵師　渓斎英泉」展	江戸名所八景　隅田川暮雪(渓斎英泉)	17件 17点	展示	平成24年 5月10日 ～ 7月13日
		江都隅田川雪之遠景(渓斎英泉)			
		木曾街道六拾九次之内　拾五　板鼻(渓斎英泉)			
		江戸八景　忍岡の暮雪(渓斎英泉)			
		江戸名所　根岸里(渓斎英泉)			
		今様美人拾二景　芝明神宮(渓斎英泉)			
		今様美女競　けいしゃ(渓斎英泉)			
		当世まつの葉　傾城音羽滝　新内ふしの反古そめに做(渓斎英泉)			
		当世まつの葉　夕霞浅間嶽　一仲節の反古模様(渓斎英泉)			
		今様美人合　三枚続　東都高縄図(渓斎英泉)			
		今様花鳥風月(渓斎英泉)			
		信濃国一之宮諏訪湖之御図(渓斎英泉)			
		江戸両座芝居町顔見世之図(渓斎英泉)			
		江戸名所尽　梅屋舗臥竜梅開花図(渓斎英泉)			
		木木曾街道六拾九次之内　坂本(渓斎英泉)			
		木曾街道　藪原鳥居峠硯ノ清水(渓斎英泉)			
		月下水辺の虎　花鳥(渓斎英泉)			
6	山口県立萩美術館・浦上記念館 「清親と安治」展	海運橋雪景(小林清親)	20件 20点	展示	平成24年 7月3日 ～ 10月21日
		駿賀町雪(小林清親)			
		東京新大橋雨中図(小林清親)			
		不忍池畔雨中図(小林清親)			
		不忍池畔雨中図(小林清親)			
		上野公園内之景(小林清親)			
		東京両国百本杭暁之図(小林清親)			
		東京両国百本杭暁之図(小林清親)			
		今戸有明楼之景(小林清親)			
		今戸有明楼之景(小林清親)			
		浅草田甫太郎稲荷(小林清親)			
		堀留繁花の図(小林清親)			
		明治十四年一月廿六日出火　浜町より写両国大火(小林清親)			
		明治十四年一月十六日出火　両国焼跡(小林清親)			
		新橋ステンション(小林清親)			

		丗年四月十日　川原宿ダイコン畑入口 (小林清親)			
		新吉原夜桜景(井上安治)			
		蠣殻町(井上安治)			
		浅草橋雨中之景(井上安治)			
		霊岸島高橋の景(井上安治)			
7	山形美術館 「近代洋画の開拓者　高橋由一」展	西洋画譜　初編(高橋由一画) 『臥遊席珍』	4件8点	展示	平成24年 7月11日 ～ 8月30日
		青楼五節句遊　七夕　鶴や　真砂子　すがわら (菊川英山)			
		目出鯛(初代 歌川広重)			
8	京都国立近代美術館 「近代洋画の開拓者　高橋由一」展	西洋画譜　初編(高橋由一画) 『臥遊席珍』	4件8点	展示	平成24年 8月30日 ～ 11月2日
		飛魚　いしもち(初代 歌川広重)			
		いさき　かさご(初代 歌川広重)			
9	仙台市博物館 特別展 「江戸の旅―たどる道、えがかれる風景」	冨嶽三十六景　凱風快晴(葛飾北斎)	18件 18点	展示	平成24年 9月18日 ～ 11月17日
		冨嶽三十六景　東海道吉田(葛飾北斎)			
		木曾海道六拾九次之内　軽井沢 (初代 歌川広重)			
		木曾海道六拾九次之内　本山(初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　甲斐　さるはし (初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　越後　親志らず (初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　備後　阿武門観音堂 (初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　周防　岩国錦帯橋 (初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　阿波　鳴門の風波 (初代 歌川広重)			
		六十余州名所図会　薩摩　坊ノ浦双剣石 (初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　墨田河場の渡かわら竈 (初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　日本橋通一丁目略図 (初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　大はしあたけの夕立 (初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　亀戸天神境内(初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　猿わか町よる乃景 (初代 歌川広重)			
		名所江戸百景　浅草金竜山(初代 歌川広重)			
		東海道名所蒔絵印籠			
		東海道五拾三次図蒔絵印籠			
		祭礼の練物の図(奥村政信) 信(磯田湖龍斎)			

10	町田市立国際版画美術館 特別展 「北斎と広重　きそいあう江戸の風景」	浮絵東都日本橋小田原魚市之図(北尾政美) 羽根田弁天之図(葛飾北斎) 女東下り図(葛飾北斎) 東海道五十三次(葛飾北斎) 冨嶽三十六景　深川万年橋(葛飾北斎) 近江八景　瀬田夕照(柳々居辰斎) 甲斐国猿橋ノ真写之図(昇亭北寿) 日光名所之内　素麺之瀧(渓斎英泉) 江戸高輪之景(渓斎英泉) 五月雨の景(三代 歌川豊国) 六十余州名所図会　信濃　更科　田毎月鏡台山(初代 歌川広重) 六十余州名所図会　肥後　五ケの庄(初代 歌川広重) 日本八景尽之内　武州金沢八景(五雲亭貞秀) 相州ノ風景腰越ノ方ヨリ見図(勝川春章) 冨嶽三十六景　相洲江の嶌(葛飾北斎) 江ノ嶋七里ガ浜(昇亭北寿) 江島記行　皃ヶ淵(魚屋北渓) 相洲江嶌風景由井浜地引網之図(北尾政美) 相州江之嶋金亀山(初代 歌川広重)	21件 76点	展示	平成24年 9月21日 ～ 12月6日
11	太田記念美術館 特別展 「没後120年記念　月岡芳年」	神奈川横浜之風景(月岡芳年) 新和蘭陀南和留連寿国之図(月岡芳年) 一魁随筆　西塔ノ鬼若丸(月岡芳年) 大日本史略図会　九十一代　亀山天皇(月岡芳年) 東名所墨田川梅若之古事(月岡芳年) 日連上人石和河にて鵜飼乃迷魂を済度志たまふ図(月岡芳年) 浪裡白跳張順　黒旋風李達江中戦図(月岡芳年) 藤花鯉魚(月岡芳年)	8件8点	展示	平成24年 9月26日 ～ 12月7日
12	大田区立郷土博物館 特別展 「懐かしうつくし　貝細工」	浅草奥山貝細工　鶴に桜(初代 歌川広重) 浅草奥山貝細工　猿に鶏(初代 歌川広重)	2件2点	展示	平成24年 9月28日 ～ 11月30日
13	栃木県立博物館 特別企画展 「足利尊氏　その生涯とゆかりの名宝」	木造　伝源頼朝座像 紙本著色　足利尊氏像 紙本墨画淡彩　賢江祥啓筆　春景山水図 紙本著色　賢江祥啓筆　花鳥図	4件4点	展示	平成24年 9月30日 ～ 12月4日
14	大阪市立美術館 特別展 「北斎－風景・美人・奇想－」	無題(江の島風景)(葛飾北斎)	1件1点	展示	平成24年 10月16日 ～ 12月19日
15	横浜美術館 企画展	横浜之新港ニ五箇国之異人調練之図(歌川芳虎) 神奈川権現山外国人遊覧(一川芳員)	9件9点	展示	平成24年

	「はじまりは国芳ー江戸スピリットのゆくえ」	外国人之図　アメリカ　ヲロシヤウミン国(一芸斎芳富) 英吉利(一慶斎芳信) 亜米利加国大船之図　其余五箇国大船之写生遠景(落合芳幾) 横浜岩亀楼子供手踊之図(一川芳員) 五姓田一家之図(五姓田義松) 制作風景(五姓田義松) 五姓田工房内(五姓田義松)			10月24日 ～ 平成25年 1月17日
16	神奈川県立金沢文庫 企画展 「法華経の世界」	紺紙金時字法華経 横浜市指定文化財　法華曼荼羅図(宝生寺所蔵)	2件2点	展示	平成24年 11月30日 ～ 平成25年 2月21日
17	北海道立帯広美術館 特別展 「山に魅せられた画家たち」	富嶽三十六景　山下白雨(葛飾北斎) 富嶽三十六景　山下白雨(変り摺)(葛飾北斎) 富嶽三十六景　東都浅草本願寺(葛飾北斎) 富嶽三十六景　登戸浦(葛飾北斎)	4件4点	展示	平成25年 1月11日 ～ 4月13日
18	神奈川県立近代美術館 企画展 「美は甦る　検証・二枚の西周像ー高橋由一から松本俊介まで」	高橋由一書簡亀井玆明宛	1件1点	展示	平成25年 1月22日 ～ 3月28日
19	サントリー美術館 特別展 「歌舞伎座新開場記念展　歌舞伎ー江戸の歌舞伎小屋-」	市川だん十郎のそが五郎時むね(奥村政信) 市川団重郎のかまだ又八　紅摺(鳥居清倍) 中村富十郎の石橋　紅摺(鳥居清広) 矢の根五郎(鳥居清長) 松本幸四郎の曾我五郎時宗(勝川春章) 四代目岩井半四郎の太夫(勝川春章) 四代目岩井半四郎の巻物をくわえ簔を着けた女形」(勝川春好) 五代目市川団十郎の樵夫(勝川春好) 中村のしほのおそめに四代目岩井半四良の久松」(初代 歌川豊国) 大当狂言ノ内　八百屋お七(三代 歌川豊国) 今様弁天尽し　本所一ツ目(初代 歌川広重)	11件 11点	展示	平成25年 1月22日 ～ 4月12日
20	下関市立美術館 企画展 「日本の水彩画展」	横浜西太田の村落(五姓田義松) 台所(五姓田義松) 横浜高島町戯場(五姓田義松) 芝居観客(五姓田義松)	4件4点	展示	平成25年 1月27日 ～ 3月24日
21	横浜みなと博物館 「横浜港観光名所紹介展」	山水之図花瓶(初代 宮川香山)	1件1点	展示	平成25年 2月1日 ～ 4月20日

オ　特別利用

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	個人 調査研究	音曲今容姿(渓斎英泉)	1件1点	閲覧・撮影	平成25年1月17日
		逢妓八契冨ヶ岡の時雨(渓斎英泉)	1件1点		
		東都名物鹿子美人あわせ(渓斎英泉)	1件1点		
		今様美人拾二景　芝神明宮(渓斎英泉)	1件1点		
		今様美人競　けいしゃ(渓斎英泉)	1件1点		
		当世まつの葉(渓斎英泉)	1件1点		
		当世まつの葉(渓斎英泉)	1件1点		
		遊女と三味線を持つ禿(渓斎英泉)	1件1点		
2	個人 調査研究	聖徳太子絵伝	1件1点	閲覧・撮影	平成25年2月8日
3	個人 調査研究	足利尊氏像	1件1点	閲覧・撮影	平成25年2月18日
4	個人 調査研究	芳沢いろは(流光斎)	1件1点	閲覧・撮影	平成25年2月26日
		嵐橘三郎　鈴木源市(芦幸)	1件1点		
		三代目中村歌右衛門の熊谷次郎直実(春好斎北洲)	1件1点		
		大阪北新地称り物九文龍伊勢島より(雪江亭北洲)	1件1点		
		団扇当世競　沢村国太郎の狐くずの葉(春好斎北洲)	1件1点		
		大阪俳優　中村歌右門　佐々木四郎高網(春好斎北洲)	1件1点		
		役者の花見(春好斎北洲)	1件1点		
		嵐璃寛の佐々木三郎盛綱(春江斎北英)	1件1点		
		嵐璃寛の小栗判官(春江斎北英)	1件1点		
		二代目沢村国太郎の葛の葉(国広)	1件1点		
		八代目片岡我童の花屋徳兵衛(五蝶亭貞升)	1件1点		
		浪花自慢名物尽　駿河屋煉羊羹(貞信)	1件1点		
		片岡我童の淀屋辰五郎(一流亭豊秀)	1件1点		
		新薄雪物語(芳瀧)	1件1点		
		浪華百影　長堀石浜(芳瀧)	1件1点		
		道頓堀芝居町夕すゝみ　中村松江(玉柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　山谷(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　揚香(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　姜詩(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　王(無款〈柳斎重春〉)	1件1点		
		廿四孝ノ内　朱寿昌(無款〈柳斎重春〉)	1件1点		
		廿四孝ノ内　黄香(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　大舜(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　郭巨(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　庚婁(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　王祥(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　張孝　張礼(柳斎重春)	1件1点		
		廿四孝ノ内　閔騫(柳斎重春)	1件1点		
		忠臣蔵張交(五粽亭広貞)	1件1点		

忠臣蔵張交(五粽亭広貞)	1件1点
忠臣蔵張交(五粽亭広貞)	1件1点
花鉾(春川五七)	1件1点
浪華百景　生玉絵馬堂(国員)	1件1点
浪花百景　道頓堀太左衛門橋雨中(芳雪)	1件1点
浪花百景之内　川口の真景(貞信)	1件1点
都名所之内　愛后山之図(貞信)	1件1点
都百景　洛北　西加茂(東居)	1件1点
夕立とつばめ(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　2号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　4号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　5号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　8号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　9号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　12号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　15号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　16号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　19号(二代貞信)	1件1点
大阪新聞錦画　20号(二代貞信)	1件1点
男舞(半山奥信)	1件1点
祇園神輿洗　ねりもの姿(長秀)	1件1点
堺の住よし(長秀)	1件1点
町風俗今の粧(無款)	1件1点
都名所祇園(無款)	1件1点
祭礼図(無款)	1件1点
女舞図(無款)	1件1点
成駒や芝翫楽屋姿(国春)	1件1点
嵐橘三郎の小割伝内(芦幸)	1件1点
中村歌右衛門(三代)の千島冠者(山口重春)	1件1点
廿四孝ノ内　孟宗(山口重春)	1件1点
源義経ときやうの君(歌川広貞)	1件1点
楠正行　狐又五郎　弁ノ内侍(歌川広貞)	1件1点
中村芝翫の宮本無三四(春梅斎)	1件1点
初春雪の曙(春梅斎北英)	1件1点
六十余州名所図会　上野榛名山雪中(長谷川貞信)	1件1点
東海道五十三次　藤川(蘭秀)	1件1点
浪華百景之内　松が鼻(長谷川貞信)	1件1点
浪花百景の中　広田社雪景(長谷川貞信)	1件1点
都名所之内　金閣寺雪景(長谷川貞信)	1件1点
近江八景(絵封筒)(長谷川貞信)	1件1点
近江八景(絵封筒)(長谷川貞信)	1件1点
安治川橋雪景(二代 長谷川貞信)	1件1点
高津西阪雪景(後摺)(二代 長谷川貞信)	1件1点
網島より城見雪(二代 長谷川貞信)	1件1点
網島より城見雪(二代 長谷川貞信)	1件1点
京坂名所図絵　大坂城ばんば之図(芳国)	1件1点
京坂名所図絵　京都落西金閣寺之図(芳国)	1件1点

		京坂名所図絵　大坂天神橋大湖水之図(芳国)	1件1点		
		京坂名所図絵　大坂大津木津川口さずの尾之図(芳国)	1件1点		
		京坂名所図絵　大坂大津木津川口さずの尾之図(後摺)(芳国)	1件1点		
		京坂名所図絵　京都大佛豊国神社之図(芳国)	1件1点		
		浪花のにきはひ(松川半山)	1件1点		
		神武天皇御即位大度寛仁大日本和合万世不朽之大業を創し給ひ文武誠忠之諸将に褒賞	1件1点		
		を給ふ図　万国之公使入貢(長谷川貞信)			
		東海道五十三次　五十　神名川　川崎へ二リ半(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五十三次　四十八　藤沢　戸塚へ一里三十丁(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五十三次　四十八　藤沢　戸塚へ壱リ卅丁(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五十三次　四十七　平塚　藤沢へ三リ半(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五拾三次之内　平塚(雪江)	1件1点		
		東海道五十三次　四十六　大磯　平塚へ廿七丁(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五十三次　四十六　小田原　大磯へ四リ(長谷川貞信)	1件1点		
		東海道五十三次　四十四　箱根　小田原へ四リ九丁(長谷川貞信)	1件1点		
		隅田川八景美人競　駒形帰帆(歌川貞房)	1件1点		
		忠臣蔵之内　五段目　六段目(歌川貞房)	1件1点		
		忠臣蔵之内　九段目　十段目(歌川貞房)	1件1点		
		国尽　五・六(長谷川貞信)	1件1点		
		国尽　九・十(長谷川貞信)	1件1点		
		東都名所　真乳山の雪(歌川国員)	1件1点		

(4)　民俗資料

イ　寄贈・寄託・借用

(寄贈)

No.	寄贈主	資料名	件ー点
1	個人（横浜市在住）	芋振り籠	1件1点
2	個人（横浜市在住）	野菜籠	1件1点
3	個人（横浜市在住）	椀籠	1件1点
4	個人（横浜市在住）	饂飩掬い	1件1点
5	個人（横浜市在住）	小箒	1件1点
6	個人（横浜市在住）	弦鋸	1件1点
7	個人（横浜市在住）	竹挽き	1件1点

8	個人（横浜市在住）	剥ぎ包丁	1件1点
9	個人（横浜市在住）	削り包丁	1件1点
10	個人（横浜市在住）	クリガマ	1件1点
11	個人（横浜市在住）	御用籠	1件1点
12	個人（鎌倉市在住）	武具雛形	1件1点
13	個人（相模原市在住）	浄瑠璃人形	1件35点
14	個人（相模原市在住）	浄瑠璃本	1件29点
15	個人（伊勢原市在住）	ダイカイ	1件1点
16	個人（相模原市在住）	帳場格子	1件1点
17	個人（相模原市在住）	帳場机	1件1点

（借用）

No.	資　料　名	件ー点	当初借用年月日
1	階段 外	1件4点	昭和43年 4 月 1 日
2	神楽面 外	1件151点	昭和44年12月11日
3	お食初め膳 外	1件3点	昭和46年10月23日
4	燭台	1件1点	昭和47年 3 月 6 日
5	長持 外	1件2点	昭和47年 3 月 6 日
6	お歯黒さし 外	1件2点	昭和47年 3 月 8 日
7	お歯黒の道具	1件1点	昭和47年 3 月11日
8	ミノ	1件2点	昭和47年 7 月11日
9	天狗の面 外	1件3点	昭和48年 2 月27日
10	帳場格子 外	1件15点	昭和48年 3 月 2 日
11	結納樽	1件1点	昭和48年 4 月 1 日
12	スエヒロ	1件3点	昭和48年 8 月20日
13	鏡台と鏡 外	1件4点	昭和49年 4 月26日
14	張子面木型	1件7点	昭和51年 6 月19日
15	獅子皿 外	1件9点	昭和54年 3 月 1 日
16	婚礼用具	1件1点	昭和54年 3 月 1 日
17	足踏み脱穀機	1件2点	平成 6 年 4 月15日
	合　計	17件211点	

エ　貸出

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	埼玉県立歴史と民俗の博物館	大山木地師の道具 小田原物差職人の道具 傘職人の道具 石工道具	4件78点	展示	平成24年 9月25日 ～ 平成24年 11月30日
2	相模原市立博物館 常設展示	鍬	1件4点	展示	平成24年 11月1日 ～
3	横浜市歴史博物館	千歯扱き	6件6点	展示	平成25年 1月11日 ～

オ　特別利用

No.	申請者・目的	資　料　名	件ー点	利用方法	利用期間
1	清川村教育委員会	百万遍の道具	1件1点	閲覧	平成25年3月15日

(5)　写真資料

ア　平成24年度写真撮影資料

(ｱ)　特別展図録用

・『ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー ー二つの港町の戦後文化ー』

・『ペリーの顔・貌・カオ　ー「黒船」の使者の虚像と実像ー』

・『武家の古都・鎌倉　世界遺産登録推進三館連携特別展　神奈川県立歴史博物館会場　再発見！鎌倉の中世』

・『江戸時代　かながわの旅 ー「道中記」の世界ー』

(ｲ)　コレクション展示用

・『ＫＥＮ・ＰＡＫＵ（県博）発掘クロニクル ー神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡ー』

(ｳ)　特別陳列用

・『夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化』

(6)　資料の燻蒸等

原則として、IPM(総合的病害虫管理 Integrated Pest Management)に基づき、日ごろから虫・カビが発生しない環境となるよう努め、薬剤による定期的な燻蒸は行わなかった。だたし、今年度は、カビ被害が確認された民俗資料についてクリーニングを行うとともに、外部燻蒸庫での薬剤燻蒸を実施した。

また、年間を通して定期的に館内の虫菌相・保存環境調査を実施し、必要に応じて脱酸素剤による処理を行なっている。

(7)　その他の資料

ア　図書

平成24年度図書資料の状況は次のとおりである。大学等の関係機関からの寄贈も多く、当館の貴重な資料として活用されている。

受入種別	購入	寄贈	計	総数	ライブラリー公開数
図　　書(冊)	279	301	580	18,274	3,830
逐次刊行物(タイトル)	21	18	39	3,714	77

※逐次刊行物はタイトル数で、寄贈は新規のみの数値。

イ　映像

ライブラリーのおよそ300本のビデオテープやDVDが利用できる。分類は次のとおり。

A 古代、B 中世、C 近世、D 近代、E 現代、F 民俗、G 当館・博物館、H 日本の歴史、I その他

ウ　写真

展示・調査研究資料として、収蔵資料を中心に撮影したフィルム98,887枚を保存し、データベース化するとともに、写真の特別利用として貸出しを行っている。

特別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件　数	29	34	20	25	20	25	19	28	18	16	25	28	287
点　数	52	98	44	78	80	80	57	57	34	21	133	77	811

エ　情報システム

(ｱ)　システム整備の目的と背景

・学習の支援

高度な知的欲求ニーズへの対応

・博物館活動の活性化、効率化

・研究活動の高度化

各種アプリケーションの利用

博物館が所有する情報の活用

・情報公開

博物館の再編整備の方向（「県立博物館整備構想に関する提言」昭和63年度）
(1) 高度情報化社会における自然・文化の情報センター
(2) 映像資料等、新しい形態の資料の収集・保存と活用の拠点
(3) 内外の博物館、学習文化施設等とのネットワークの拠点

(ｲ)　システム開発と運用

システム基本設計・詳細設計	平成5年度
システム運用開始	平成7年度
システム更新	平成13年度、平成17～18年度、平成23年度

(ｳ)　稼動しているシステム（「デジタル・ミュージアム」）の内容

a　展示情報システムの内容

ミュージアムライブラリーに設置された3台の来館者用パソコンで提供。一部の資料については、高精細の拡大画像も提供。

従来、館内利用に限定されていた展示情報システムは、当館のホームページに掲載され、利用者が自宅や学校で閲覧可能(タイトルのうち、№2絵馬、№5水墨画、№11収蔵コレクションは除く)。

№.	タイトル	内容
1	浮世絵	博物館所蔵の約7,000点ある浮世絵の中から、浮世絵の歴史、神奈川を描いた浮世絵、横浜浮世絵、著名な浮世絵師たち、一枚の絵から見る江戸時代の風俗など、テーマごとに選択した230点の浮世絵を紹介。
2	絵馬	神奈川県でよく見ることが出来る絵馬や珍しい絵馬など125点を紹介。
3	関東大震災	震災時の惨状等を伝える写真資料70点を紹介。
4	古地図・絵地図	当館収蔵の古地図の中から50点を紹介。館内端末では拡大画像により、細部まで見ることが可能。
5	水墨画	平成 10 年度に開催した水墨画の特別展に出品された作品の中から代表的な作品85点を紹介。
6	横浜正金銀行	かつて世界三大為替銀行の一つに数えられた横浜正金銀行の写真資料221点を紹介。
7	眞葛焼	かつて世界に名を知られた横浜の焼き物の中から46点を紹介。
8	後北条氏関係文書	戦国大名北条氏の多様な文書の世界を人物などとともに118点を紹介。
9	東海道分間絵図	東海道の情景を描いた道中案内記(1件5冊)を紹介。拡大画像により、細部まで見ることが可能。

10	県有形民俗文化財 職人の道具コレクション	神奈川県指定有形民俗文化財「神奈川の職人の道具コレクション」(17職種 1,982 点)のうち、大山木地師、小田原物差職人、下駄職人、傘職人の道具など、338 点を紹介。
11	収蔵コレクション	収蔵データベースの一部について、概要を一覧形式で提供する。 考古：206 点、彫刻：14 点、浮世絵：117 点

※この他に、神奈川県立生命の星・地球博物館が作成・提供している「神奈川の自然」「恐竜」「酒井コレクション細密画」「図書・雑誌検索」も閲覧が可能

b　業務システムの内容

・収蔵資料管理システム

収蔵品管理機能、画像登録機能、受入管理機能、特別利用管理運用機能、各種帳票ラベル出力機能

・図書文献管理システム

(ｴ)　システム構成

a　概要

・サーバＯＳ：Red Hat Enterprise Linux ES v3、Windows Server 2008

・クライアントＯＳ：Windows7

b　設置機器

(a)　情報処理室・電源室

収蔵システムサーバ　1 台、Web サーバ　1 台、展示情報用サーバ　1 台

アップデートサーバ　1 台、図書サーバ　1 台、作業用パソコン　7 台

(b)　ミュージアムライブラリー

来館者用パソコン　3 台

レファレンス用パソコン　2 台

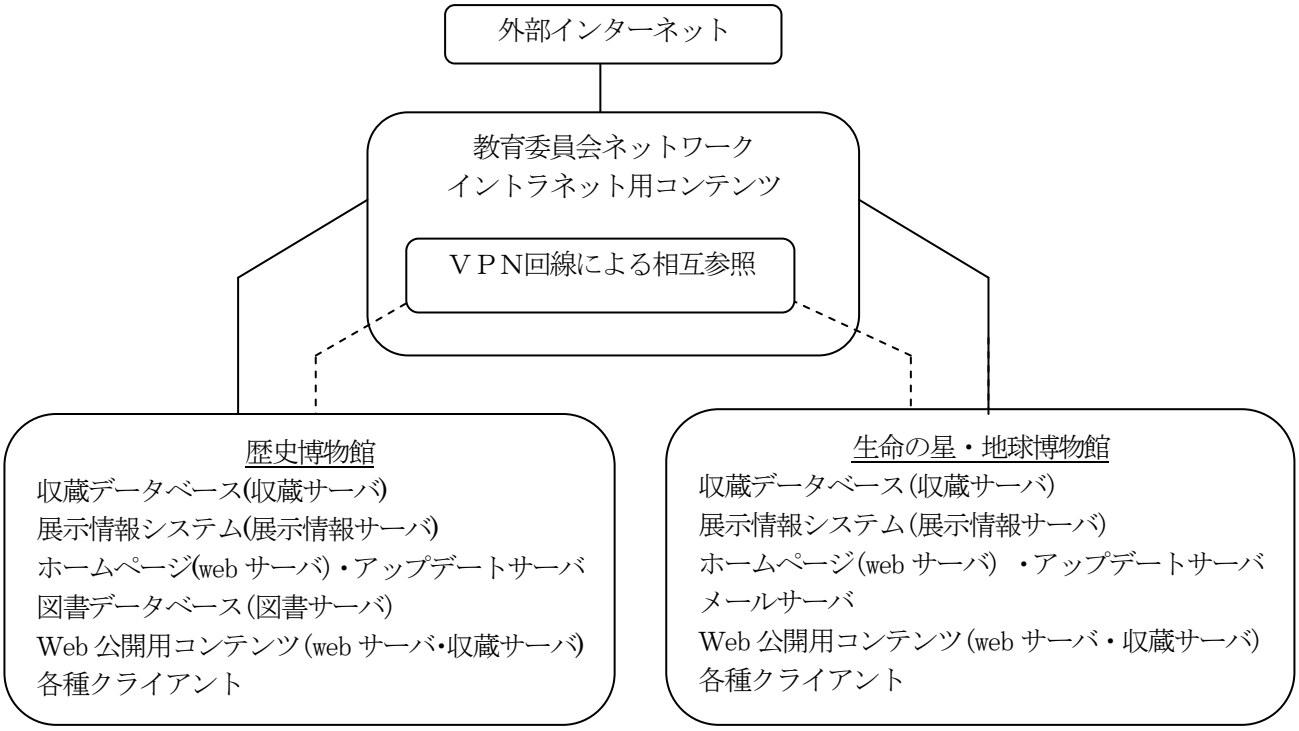
(c)　展示機材倉庫・印刷室

画像入力用パソコン　2 台

(d)　学芸部室・学芸部各資料整理室・管理課室・企画情報部室・図書資料整理室・写真室・暗室

各室作業用パソコン　計 41 台

(ｵ)　歴史博物館システム機器構成図



(ｶ)　歴史博物館ホームページ　アクセス件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
ＨＰ	39, 354	42, 140	35, 922	40, 496	46, 092	39, 814	63, 124	61, 530	50, 641	63, 872	59, 987	60, 825	603, 797
携帯	3, 464	3, 451	2, 531	2, 527	3, 371	2, 570	2, 955	2, 483	2, 063	2, 584	2, 671	2, 038	32, 708
合計	42, 818	45, 591	38, 453	43, 023	49, 463	42, 384	66, 079	64, 013	52, 704	66, 456	62, 658	62, 863	636, 505

参考(内数)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
デジタル ミュージアム	3, 371	3, 486	3, 228	3, 156	3, 474	3, 258	3, 481	3, 243	2, 636	3, 198	2, 978	2, 774	38, 283
子ども向け ページ	596	712	724	829	889	769	1, 083	1, 094	941	1, 186	1, 317	1, 340	11, 480

５　展示・教育普及・学習支援

(1)　常設展

当館の常設展示は「文化の交流と変容」という基本テーマに基づき、「かながわの文化と歴史」について、五つの時代に分け、それぞれのテーマのもとに、人々の生活や信仰、政治や経済の変化、外来文化の影響などを、さまざまな角度からとらえ、歴史的視点で展開している。

1　さがみの古代に生きた人びと
- ・大地に生きる狩人
- ・海への進出
- ・米づくり、はじまる
- ・古墳を築く
- ・都とさがみの国

2　都市鎌倉と中世びと
- ・源頼朝と東国武士団
- ・戦国大名後北条氏
- ・掘り起こされた鎌倉
- ・唐物とその影響
- ・民衆と仏教

3　近世の街道と庶民文化
- ・宿場と関所
- ・庶民信仰と名所めぐり
- ・村の支配と生活
- ・相武の産物と江戸

4　横浜開港と近代化
- ・蒸気船が導いた新たな時代
- ・世界へ開かれたみなとＹＯＫＯＨＡＭＡ
- ・文明開化の音
- ・近代化と神奈川
- ・横浜浮世絵に見る神奈川
- ・横浜正金銀行

5　現代の神奈川と伝統文化
- ・関東大震災を越えて
- ・昭和恐慌と社会変化
- ・戦時体制と敗戦
- ・占領から講和へ
- ・高度経済成長と環境の変化
- ・メディアコミュニケーション
- ・変貌する町と村
- ・イエと暮らし
- ・くらしの中の祈り
- ・なりわいと儀礼
- ・伝承される技術と芸能

(2)　特別展

ア　「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー　ー二つの港町の戦後文化ー」

会　期：平成 24 年 4 月 21 日(土)～6 月 17 日(日)
主　催：神奈川県立歴史博物館
後　援：毎日新聞社横浜支局、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、tvk(テレビ神奈川)
展示資料件数：90 件
入場者数：14,229 名(有料 6,200 名、無料 8,029 名)
担　当：学芸部長　寺嵜弘康
概　要：　太平洋戦争の末期、横浜、川崎、横須賀、平塚、小田原などの県内主要都市はアメリカ軍により大規模な空襲がおこなわれ、その結果、住宅や商店・工場など多くが焼失し、多数の犠牲者を生じた。そして 8 月 15 日の戦争終結。アメリカ軍を中心とした連合国軍が 8 月末から相次いで県内各地に進駐を開始すると、横浜や横須賀は外国の町と見間違えるかのようにアメリカ人兵士の姿であふれていった。

戦争に敗れ、食べ物や住むところもない人々にとって進駐軍兵士はどのように映っただろうか。片言の英語でチョコやガムをねだる子供たち。横浜中心部の焼け跡を整地する大型ブルドーザーを見て愕然とする大人たち。国力の違いを人々は実感した。と同時に、兵士たちの姿をとおして音楽、映画、洋服、食物などの外国文化に人々は興味をいだき、受け入れていった。

この特別展では、アメリカ軍に接収された港町である横浜・横須賀という二つの都市を舞台に展開した昭和20年代の様相を、音楽や映画、ファッションや食べ物などを通して紹介した。

○特別展関連行事

①記念講演会Ⅰ(無料、ただし特別展観覧券が必要)

日　時：5月13日(日) 14:00～16:00
演　題：「横濱JAZZ物語」
講　師：横濱ジャズ･プロムナード ディレクター　柴田 浩一 氏
応募者：131名
受講者：67名

②県博セミナー(生涯学習課主管の県立機関活用講座、5回連続、有料〈5,000円・1回のみ受講の場合は1,000円〉、14:00～16:00)

・全体テーマ：「戦後のヨコハマ・ヨコスカ　あの頃を語る」(応募者269名〈単回を含む事前申込者〉)
・第1回　4月28日(土)　(受講者47名)
「ハマッ子の見た戦後」　元町自治運営会 顧問　杉島 和三郎 氏
・第2回　5月5日(土)　(受講者43名)
「昭和20年代の横須賀」　赤星直忠博士文化財資料館 研究員　斉藤 彦司 氏
・第3回　5月12日(土)　(受講者37名)
「対談『日本ジャズ成熟期』」　ジャズメン　五十嵐 明要 氏、横濱ジャズ･プロムナード ディレクター　柴田 浩一 氏
・第4回　5月19日(土)　(受講者31名)
「対談『横須賀JAZZ物語』」　ジャズメン　渡辺正 典 氏、アメリカ大使館 職員　バーリット・セービン 氏
・第5回　6月2日(土)　(受講者35名)
「映画全盛期のヨコハマ・ヨコスカ」　横浜開港資料館 主任研究員　平野 正裕 氏

③記念音楽会「ジャズライブ」

日　時：5月26日(土) 14:00～15:00
出演者：中村誠一カルテット
会　場：当館正面玄関前
参加者　450人

④「手廻し蓄音機によるレコード鑑賞」

・第1回
日　時：5月3日(木･祝) 14:00～15:00
講　師：トラディショナル・ジャズ研究家　柳澤 安信 氏
会　場：コレクション展示室
参加者：82名
・第2回
日　時：6月1日(金) 14:00～15:00
講　師：SPレコード収集家　寺田 繁 氏
会　場：コレクション展示室
参加者：79名

⑤学芸員による展示解説

・第１回
日　時：4 月 22 日（日）13:30～
講　師：学芸部長　寺嵜弘康
参加者：48 名

・第２回
日　時：4 月 29 日（日）13:30～
講　師：学芸部長　寺嵜弘康
参加者：45 名

・第３回
日　時：5 月 27 日（日）13:30～
講　師：学芸部長　寺嵜弘康
参加者：31 名

・第４回
日　時：6 月 10 日（日）13:30～
講　師：学芸部長　寺嵜弘康
参加者：36 名

○出品目録

（凡例）　No.(P は写真パネル、R は参考資料)、資料名、作者名、制作年代、技法・材質、所蔵等

［序章　焼け跡の中から］

0-1 軍用ジープ・ウィリス MB　昭和 23 年 8 月 4 日　個人
0-2 神奈川県回覧板　其の一　昭和 20 年 8 月　当館
0-3 神奈川県回覧板　其の二　昭和 20 年 8 月　当館
0-4 神奈川県警察部回覧板　昭和 20 年 8 月　当館
P0-1 山手から見た横浜市街(フェリス女学院あたりから)　昭和 20 年 8 月頃　スミソニアン航空宇宙博物館
P0-2 山手から見た横浜市街(汐汲坂あたりから)　昭和 20 年 8 月頃　スミソニアン航空宇宙博物館
P0-3 野毛山から見た横浜市内　昭和 20 年 8 月頃　米国国立公文書館
P0-4 第 1 騎兵師団の横浜進駐　昭和 20 年 9 月 2 日　米国国立公文書館
P0-5 海兵隊の横須賀進駐　昭和 20 年 8 月 30 日　米国国立公文書館
P0-6 横須賀基地の引渡し　昭和 20 年 8 月 30 日　米国国立公文書館
P0-7 横須賀鎮守府通信塔からの市街パノラマ　昭和 20 年 8 月 31 日　米国国立公文書館
R-1 進駐軍が撮影した横浜の映像「Bonb Damege Yokohama」　昭和 20 年 9 月　当館

［第 1 章　ヨコハマ・ストーリー］

1-1 國領經郎《河港》　昭和 31 年　神奈川県議会局
1-2 連合国軍接収位置図　昭和 20～27 年　個人
1-3 横浜港隣接地帯接収現況図　昭和 29 年　横浜市中央図書館
1-4 ラジオテキスト英語会話　No.2　昭和 21 年 2 月　当館
1-5 ラジオテキスト英語会話　No.14　昭和 22 年 4 月　当館
1-6 タバコ巻器　昭和 20 年代　横浜市史資料室
1-7 パン焼き器　昭和 20 年代　横浜市史資料室
1-8 ハーシーチョコレート(複製)　現品：昭和 20 年代　当館
1-9「野毛歳末福引売出」『神奈川新聞』広告　昭和 26 年 12 月 2 日　横浜市中央図書館
1-10 センターグリルロゴ額　昭和 21 年頃　センターグリル
1-11 センターグリルの食器　昭和 20 年代～現在　センターグリル
1-12「伊勢佐木町商業協同組合」『神奈川新聞』広告　昭和 27 年 1 月 3 日　横浜市中央図書館
1-13 輸出用おもちゃフレッドアステア人形(アルプス製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-14 輸出用おもちゃ黒人人形(アルプス製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-15 輸出用おもちゃジープ(小菅製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-16 輸出用おもちゃバイク(野村トーイ製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-17 輸出用おもちゃ犬にかみつかれた赤ちゃん(アルプス製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-18 輸出用おもちゃトローリーバス(ヨネザワ製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-19 輸出用おもちゃシボレー(新生製器製)　昭和 22～27 年　北原照久
1-20 輸出用おもちゃ孔雀（アルプス製)　昭和 22～27 年　北 原照久
1-21 輸出用おもちゃジープ(小菅製)　昭和 20 年頃　個人

1-22 輸出用シルクスカーフ(カ原照久ラー格子)　昭和24年　シルク博物館
1-23 輸出用シルクスカーフ(格子)　昭和24年　シルク博物館
1-24 輸出用シルクスカーフ(トロピカルフラワー)　昭和24～25年　シルク博物館
1-25 スーベニア用シルクスカーフ(五重塔に富士山)　昭和25～26年　シルク博物館
1-26 スーベニア用シルクスカーフ(富士山に城)　昭和25～26年 シルク博物館
1-27 輸出用掛時計　昭和22～27年　横浜都市発展記念館
1-28 日本貿易博覧会前売券ポスター　昭和23年　当館
1-29 日本貿易博覧会ポスター　昭和23年　横浜都市発展記念館
1-30 日本貿易博覧会記念電車普通乗車券　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-31 日本貿易博覧会パンフレット　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-32 日本貿易博覧会案内図　昭和24年3月　当館
1-33 日本貿易博覧会案内図　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-34 パンフレット「横浜」(吉田初三郎作画「横浜市観光鳥瞰図」)　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-35 日本貿易博覧会ポケット案内　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-36 日本貿易博覧会英字プログラム　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-37 日本貿易博覧会記念絵葉書　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-38 日本貿易博覧会外国人向け記念絵葉書　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-39 日本貿易博覧会記念マッチラベル　昭和24年3月　横浜市史資料室
1-40 日本貿易博覧会記念写真帖　昭和24年　個人
1-41 横浜市交通安全協会「よい子の交通双六」　昭和27年12月　当館
P1-1 第8軍司令部となった横浜税関ビル　昭和20年　米国国立公文書館
P1-2 焼け残った横浜税関・神奈川県県庁　昭和20年10月16日　米国国立公文書館
P1-3 大型ブルドーザーによる整地作業をみる市民　昭和20年9月5日　米国国立公文書館
P1-4 関内の米軍兵舎　昭和22年　横浜市史資料室
P1-5 弁天橋近くの米軍兵舎　昭和21年頃　個人
P1-6 銀座松屋前　昭和20年9月21日　個人
P1-7 伊勢佐木町通り　昭和21年頃　個人
P1-8 米軍兵士が歩く馬車道　昭和20年9月20日　横浜市史資料室
P1-9 横浜本町通若尾ビル前　昭和20年9月5日　米国国立公文書館
P1-10 横浜駅前の雑誌売店　昭和23年頃　横浜市史資料室
P1-11 接収地域への立入禁止の掲示　昭和20年頃　横浜都市発展記念館
P1-12 米軍兵士相手の土産物路上販売 昭和20年9月21日　米国国立公文書館
P1-13 米軍兵士からガムをもらってはにかむ少女　昭和20年9月　米国国立公文書館
P1-14 センターグリル外観　昭和21年　センターグリル
P1-15 紙風船を配る内山岩太郎知事とミス・ボウエキ　昭和24年　横浜市史資料室
P1-16 日本貿易博覧会神奈川会場正門　昭和24年　横浜市史資料室
P1-17 記念塔　昭和24年　横浜市史資料室
P1-18 記念塔とミス・ボウエキ　昭和24年　横浜市史資料室
P1-19 第2外国館の展示　昭和24年　横浜市史資料室
P1-20 昭和天皇皇后とシェファード准将夫妻　昭和24年　個人
P1-21 野毛山会場全景　昭和24年　横浜市史資料室
P1-22 野毛山会場に向かう人々　昭和24年　個人
P1-23 松竹大船ロケの張り紙　昭和24年　横浜市史資料室
P1-24 本町通と馬車道交差点の交通標識　昭和20年代　神奈川新聞社
R1-1「米第8軍と横浜」パネル　平成7年作成　横浜市史資料室
R1-2 JAPANESE PHRASE BOOK for the Occupation Forces　昭和26年7月1日　個人
R1-3 横浜市中区　空撮写真　昭和29年4月28日撮影　神奈川県庁
R1-4 占領期の横浜　伊勢佐木町と車橋　昭和21年頃　個人
R1-5 野毛カストリ横丁　昭和22年頃　個人
R1-6 日本貿易博覧会記念写真帳　昭和25年6月15日　当館
R1-7 日本貿易博覧会絵葉書　昭和24年　当館
R1-8 日本貿易博覧会絵はがき　昭和24年　当館
R1-9 シルクスカーフ　巻き見本　現代　個人
R1-10 神奈川県観光大鳥瞰図　昭和27年　個人
R1-11 よい子の交通双六(大阪市)　昭和　個人

[第2章 ヨコスカストーリー]
2-1 朝井閑右衛門《街頭》　昭和26年　横須賀美術館
2-2 米海軍横須賀基地図　昭和20年代　個人
2-3 横須賀電話番号簿　昭和23年　当館
2-4 アメリカ軍工兵隊写真記録集　昭和20年10月　横須賀市自然・人文博物館
2-5 スカジャン松鷹　現品：昭和30年代　プリンス商会
2-6 スカジャン縞虎　現品：昭和30年代　プリンス商会
2-7 スカジャン双龍　現品：昭和30年代　プリンス商会
2-8 スカジャン型紙鷹　昭和30年代　プリンス商会
2-9 スカジャン型紙富士に虎　昭和30年代　プリンス商会
2-10 スカジャン型紙龍　昭和30年代　プリンス商会
2-11 スーベニア写真　昭和20年代　個人

2-12 米軍兵士向お土産絵葉書(YOKOSUKA FAMOUS VIEW)　昭和20年代　個人
2-13 米軍兵士向お土産絵葉書タトウ(YOKOSUKA)　昭和20年代　個人
2-14 米軍兵士向お土産絵葉書(横須賀の展望)　昭和20年代　個人
2-15 米軍兵士向お土産絵葉書(横須賀)　昭和20年代　個人
2-16 中村慈郎《横須賀市観光鳥瞰図》　昭和26年　横須賀市自然・人文博物館
2-17 中村慈郎《横須賀市観光鳥瞰図　下図》　昭和26年　個人
2-18 パンフレット「観光の横須賀市」　昭和26年　個人
2-19 日本大学ボーイスカウト指導者公認講習会ポスター　昭和26年頃　当館
2-20 日本自動車協会・日本旅行協会N.A.A. ROAD MAP　昭和22年4月5日　個人
2-21 三浦半島観光地図　昭和24年3月30日　個人
2-22 EMクラブ劇場公演プログラム 東宝グランドコンサート　昭和23年12月28日　横須賀市自然・人文博物館
2-23 EMクラブ劇場公演プログラム「白鳥の湖」　昭和26年6月27日　横須賀市自然・人文博物館
2-24 EMクラブ劇場公演プログラム マクマネス司令官夫妻送別演奏会　昭和26年7月27日　横須賀市自然・人文博物館
P2-1 MPと子どもたち　昭和20年9月9日　米国国立公文書館
P2-2 海兵隊のジープに集まる子どもたち(浦賀)　昭和20年9月2日　米国国立公文書館
P2-3 横須賀駅前　昭和21年頃　個人
P2-4 占領期の横須賀駅と港内　昭和20年代　個人
P2-5 占領期の米海軍横須賀基地　昭和20年代　個人
P2-6 占領期の横須賀　昭和20年代　個人
P2-7 再建されるペリー上陸記念碑　昭和20年11月頃　横須賀市
P2-8 ガントリークレーンとオリエンタルアーケード　昭和30年頃　個人
P2-9 スカジャンを見る米軍兵士　昭和26年7月16日　米国国立公文書館
P2-10「横須賀中央商店連盟」『神奈川新聞』広告　昭和26年12月21日　横浜市中央図書館
P2-11 どぶ板通のバー　昭和30年代　横須賀市自然・人文博物館
P2-12 どぶ板通本町二丁目あたりを歩く米軍兵士　昭和30年代　横須賀市自然・人文博物館
P2-13 土産品店前と米軍兵士　昭和42年　横須賀市
P2-14 横須賀駅前の「横須賀鳥瞰図」看板写真　昭和20年代　個人
P2-15 昭和25年頃の横須賀中心部　昭和25年頃　個人
P2-16 昭和30年頃の横須賀中心部　昭和30年頃　横須賀市自然・人文博物館
P2-17 街並み　昭和20年　横須賀市
P2-18 EMクラブ外観　昭和20年代　個人
P2-19 EMクラブ外観U.S. Navy E.M.Club (Yokosuka)　昭和20年代　個人
P2-20 EMクラブ遠景　昭和20年代　個人
P2-21 EMクラブ中庭　昭和20年頃　横須賀市
P2-22 海軍慰安クラブ・横須賀　昭和20年代　個人
P2-23 EMクラブ劇場内部　平成2年6月撮影　横須賀市自然・人文博物館
P2-24 撤去直前のEMクラブ　平成2年6月撮影　横須賀市自然・人文博物館
P2-25 EMクラブ撤去工事　平成2年10月撮影　横須賀市自然・人文博物館
P2-26 EMクラブ跡地に建てられた高層ホテルと横須賀芸術劇場　平成24年3月撮影　当館
R2-1 横須賀海軍水兵夏服　昭和18～20年　当館
R2-2 海軍階級章一等水兵・上等水兵　昭和10年代　当館
R2-3 横須賀海軍食器　昭和18～20年　当館
R2-4 海軍志願兵志願受験案内　昭和17年2月　当館
R2-5 絵葉書横須賀大滝町さいか屋　昭和30年頃　個人
R2-6 スカジャン真葛焼意匠　平成19年　個人
R2-7 講和記念神奈川県観光商工写真帖　昭和27年　個人
R2-8 キャバレー・オリンピック写真　昭和20年代　個人

［第3章 ジャズの流れる港町］
3-1 旬刊野球ニュース創刊号　昭和23年3月20日　当館
3-2 ホームラン創刊号　昭和21年12月1日　当館
3-3 レアルトウィークリーNo2　昭和21年9月　個人
3-4「裸の街」パンフレット(オデオン座)　昭和24年　個人
3-5 オデオン座ニュース「花嫁の父」　昭和26年　個人
3-6「悲しき口笛」ポスター　昭和24年　日高コレクション
3-7 第3回国際まつりパンフレット　昭和24年5月　日高コレクション
3-8 ジャングルブックパンフレット(国際劇場)　昭和24年　個人
3-9 マッカーサー劇場パンフレット　昭和24年9月　個人
3-10「風とともに去りぬ」パンフレット　昭和27年9月　横浜都市発展記念館
3-11 横浜宝塚劇場第1回ロードショウ「海の征服者」パンフレット　昭和25年6月　横浜都市発展記念館
3-12 横須賀第一劇場プログラム　昭和30年頃　個人
3-13 名画座プログラム　昭和31年3月　個人
3-14 ピカデリー劇場チラシ　昭和31年8月　個人
3-15 松竹劇場・セントラル劇場・大映劇場チラシ　昭和26年　個人
3-16 ダンスチケット　昭和22年　当館
3-17 レジスター(金銭登録機)　昭和20年代　当館
3-18 蓄音機(ビクトローラ・クレデンツァ)　昭和2年　当館
P3-1 貿易再開の祝賀アーチ　昭和22年　横浜市史資料室
P3-2 仮装文化祭のパレードに参加するミス横浜・ミスター横浜　昭和22年8月30日　横浜市史資料室

P3-3 吉田橋のたもとで談笑する洋装女性　昭和25年頃　横浜市史資料室
P3-4 吉田橋を行き交う日本人と米軍兵士　昭和25年　神奈川新聞社
P3-5 女子野球大会入場式　昭和22年8月29日　横浜市史資料室
P3-6 オクタゴン劇場　昭和20年10月16日　米国国立公文書館
P3-7 マッカーサー劇場開場3周年記念写真　昭和24年3月3日　横浜市史資料室
P3-8 横浜宝塚劇場　昭和20年　神奈川新聞社
P3-9「横浜各映画館」『神奈川新聞』広告　昭和26年11月20日　横浜市中央図書館
P3-10「横浜各映画館」『神奈川新聞』広告　昭和26年12月27日　横浜市中央図書館
P3-11「グランドシマ」『神奈川新聞』広告　昭和26年12月22日　横浜市中央図書館蔵
P3-12 キャバレーサクラポート　昭和27年　個人
P3-13 キャバレーイーグル　昭和27年　個人
P3-14 キャバレーグランドパレス　昭和27年　個人
P3-15 キャバレーブラックローズ　昭和27年　個人
P3-16 ハーレム　昭和28年　横浜JAZZ博物館準備委員会
P3-17 モカンボ　昭和28年　横浜JAZZ博物館準備委員会
P3-18 ワルツ　昭和28年頃　横浜JAZZ博物館準備委員会

［ちぐさ］
3-19 看板　昭和30年頃　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
3-20 テーブル　昭和49年　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
3-21 イス　昭和49年　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-1 探偵雑誌黒猫　昭和22～23年　当館
R3-2 紙芝居「うさぎのお家」　昭和20年代　当館
R3-3『横浜ジャズ物語』　昭和60年8月31日　個人
R3-4 『横浜ジャズ物語』出版記念パーティー写真アルバム　昭和60年9月29日　横浜JAZZ博物館準備委員会
R3-5 Vディスク　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-6 スタン・ケントン「Artisty in Rhythm」　昭和27年　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-7 ちぐさ店内で掲示していた写真パネルちぐさでのジャズ演奏　昭和61年12月11日　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-8 ちぐさ店内で掲示していた写真パネル日野皓正と吉田衛　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-9 ちぐさ店内で掲示していた写真パネルカウント・ベーシーと吉田衛　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-10 ちぐさ店内で掲示していた写真パネル渡辺貞夫と吉田衛　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-11 ちぐさ店内で掲示していた写真パネル穐吉敏子と吉田衛　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-12 穐吉敏子と吉田衛の往復書簡　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-13 吉田衛宛の植木等書簡　野毛地区街づくり会・ちぐさ会
R3-14 日野皓正と吉田衛写真　横浜JAZZ博物館準備委員会
R3-15 ディックミネと吉田衛写真　横浜JAZZ博物館準備委員会
R3-16 ちぐさでのジャズ演奏写真　昭和61年12月11日　原信夫音楽事務所
R3-17 ちぐさでの原信夫写真　平成14年4月23日　原信夫音楽事務所
R3-18 横浜ジャズ協会ニューズレター　横浜JAZZ博物館準備委員会
R3-18 横浜ジャズプロムナード出演の原信夫写真　原信夫音楽事務所
R3-19 原信夫 愛用のテナーサックス　キング・スーパー20他　原信夫音楽事務所
R3-20 ステージ衣装　原信夫音楽事務所
R3-21 アルト・サックス　原信夫音楽事務所
R3-22 軍楽隊時代の写真　原信夫音楽事務所
R3-23 原信夫とシャープス＆フラッツ関係写真　原信夫音楽事務所
R3-24 SONG FOLIO（米軍用ソング・ブック）　昭和29年8月　原信夫音楽事務所
R3-25 原信夫手書きパート譜　昭和40年代　原信夫音楽事務所
R3-26 守安祥太郎手書きスコア　MAMBO DEL CROW　昭和30年頃　原信夫音楽事務所
R3-27 原信夫作曲レコード　昭和39～41年　原信夫音楽事務所
R3-28 ‘67 Newport Jazz Festival　写真とスクラップ　昭和42年8月　原信夫音楽事務所
R3-29 皇居桃華堂での演奏写真パネル　平成21年9月　原信夫音楽事務所
R3-30 ファイナルコンサート出演者と原信夫写真パネル　平成21年　原信夫音楽事務所

イ　「ペリーの顔・貌・カオ －「黒船」の使者の虚像と実像－」

会　期：平成24年7月7日（土）～8月26日（日）
主　催：神奈川県立歴史博物館
後　援：毎日新聞社横浜支局、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新

聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)

助　成：日本財団

協　力：船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

展示資料件数：116 件

入場者数：8,239 名(有料 4,623 名、無料 3,616 名)

担　当：主任学芸員　嶋村 元宏

概　要:　日本を開国させるべく２度にわたって来日したアメリカ合衆国東インド艦隊司令長官マシュー・カールブレイス・ペリーは、日本史に名をとどめる著名な外国人の一人にあげられる人物である。ペリーやアメリカ艦隊を対象とした肉筆画や瓦版などが数多く制作され、一種の情報媒体として日本各地に流布したことも、ペリー来航の日本への衝撃がいかに大きかったかを物語っている。特に、ペリーの肖像画は、幕末期に来日した他の外国人とは比較にならないほど量的にも多く、また様々な顔貌のものが描かれ今日まで遺っている。

そこでこの展覧会では、ペリー来航時の様子を描いた画像資料を紹介しつつ、多種多様なペリー像に焦点を当てた。そして、ペリー等の肖像画がどのような人々によって描き伝えられていったのかを、肖像画を比較することを通して、その関係性を明らかにした。

この展覧会は、科学研究費補助金基盤研究 (C)「ペリー来航関係画像資料の史料批判的研究」の成果の一部である。

○特別展関連行事

①記念講演会Ⅰ(無料、ただし特別展観覧券が必要)

日　時：7 月 16 日(月･祝) 10:00～12:00、14:00～16:00

演　題：「ペリーを描き、伝えた人々」

講　師：主任学芸員　嶋村 元宏

応募者：130 名

受講者：午前 39 名、午後 72 名

※当初は午後のみの実施予定であったが、応募者多数のため、抽選から漏れた人を対象に午前にも開催した。

②記念講演会Ⅱ(無料、ただし特別展観覧券が必要)

日　時：8 月 5 日(日) 14:00～16:00

演　題：「日本におけるペリーの「記憶」－Perry-Image: Remembered in Japan－」

講　師：法政大学 教授　長井 純市 氏

応募者：168 名

受講者：66 名

③子供向け行事「ペリーについて調べよう －学芸員と一緒に夏休みの自由研究を－」(無料、ただし高校生及び保護者の方は特別展観覧券が必要)

・小学校高学年向け：8 月 19 日(日) 10:00～15:00 (応募者 11 名・受講者 8 名)
　　：8 月 21 日(火) 10:00～15:00 (応募者 9 名・受講者 7 名)
　　：8 月 22 日(水) 10:00～15:00 (応募者 5 名・受講者 5 名)

・中学生向け　：8 月 23 日(木) 10:00～15:00 (応募者 4 名・受講者 2 名)
　　：8 月 24 日(金) 10:00～15:00 (応募者 1 名・受講者 0 名)

・高校生向け　：8 月 26 日(日) 10:00～15:00 (応募者 0 名・受講者 0 名)

講　師：主任学芸員　嶋村 元宏(各日とも)

④学芸員による展示解説

・第 1 回

日　時：7 月 7 日(土) 13:30～

講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：23 名

・第 2 回
日　時：7 月 14 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：25 名

・第 3 回
日　時：7 月 21 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：37 名

・第 4 回
日　時：7 月 28 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：26 名

・第 5 回
日　時：8 月 4 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：39 名

・第 6 回
日　時：8 月 11 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：25 名

・第 7 回
日　時：8 月 18 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：32 名

・第 8 回
日　時：8 月 25 日(土) 13:30～
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏
参加者：38 名

○出品目録

（凡例）　No.、指定、資料名、著者名、技法・材質、員数、制作年代、所蔵
（指定記号　●＝国宝、◎＝重要文化財）

1 嘉永五年　阿蘭陀別段風説書　司天台訳　関藤藤陰[写]　紙本墨書　1 冊　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館

2 唐船渡来ニ付御手配　河野通孝[写]　紙本墨書　1 冊　嘉永 6 年 6 月 29 日　個人

3 南征日記　河田迪斎　紙本墨書　1 冊　嘉永 7 年　東京都立中央図書館 河田文庫

4-1 浦賀紀行図　乙巻　高川文筌　紙本著色　1 巻　江戸時代末期　真田宝物館

4-2 浦賀紀行図　甲巻　高川文筌　紙本著色　1 巻　江戸時代末期　真田宝物館

5 ペリー来航絵図　紙本著色　1 巻　江戸時代末期　個人(津山洋学資料館寄託)

6 幕末風俗図巻　紙本著色　4 巻　江戸時代末期　神戸市立博物館

7 ペリー日本遠征の石版画　琉球首里城のペリー　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1 紙　1855 年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

8 ペリー日本遠征の石版画　ルビコン河を渡る　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1 紙　1855 年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

9 ペリー日本遠征の石版画　久里浜上陸　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1 紙　1855 年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

10 ペリー日本遠征の石版画　横浜上陸　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1 紙　1855 年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

11 ペリー日本遠征の石版画　下田上陸　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1紙　1855年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

12 ペリー日本遠征の石版画　下田寺院前の軍事演習　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1紙　1855年　凸版印刷株式会社 印刷博物館

13 ペリー日本遠征の石版画　ルビコン河を渡る　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1紙　1855年　神奈川県立歴史博物館

14 ペリー日本遠征の石版画　久里浜上陸　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　1紙　1855年　神奈川県立歴史博物館

15 亜墨利加船再来記第四巻　えびす外国の讃　紙本墨画　42冊の内1冊　江戸時代末期　東北大学附属図書館 狩野文庫

16 『横浜開港見聞誌』　五雲亭貞秀　　木版一部多色摺　3冊の内1冊　文久2年　神奈川県立歴史博物館

17 イラストレイテッド・ロンドン・ニューズ　ペリー肖像印刷　1部　1853年5月7日　神奈川県立歴史博物館

18 日本遠征石版画集　ペリー肖像　ヴィルヘルム・ハイネ　石版著色　10枚の内1枚　1856年　神奈川県立歴史博物館

19 ハーパーズ・ニュー・マンスリー・マガジン　ペリー肖像印刷　1冊　1856年　神奈川県立歴史博物館

20 金海奇観　大槻磐渓[編]　紙本著色　2巻　嘉永7年　早稲田大学図書館

21 金海奇観　西坂衷[写]　紙本著色　1巻　安政4年11月　東京都江戸東京博物館

22 恵迪斎全集　第四巻　綏夷図巻跋　河田迪斎　紙本著色5冊の内1冊　江戸時代末期　東京都立中央図書館 河田文庫

23 開港日記　第一〇巻　神奈川公役日記　紙本著色　1冊　江戸時代末期　東北大学附属図書館 狩野文庫

24 横浜応接場秘図　高川文筌　紙本著色　1巻　江戸時代末期　真田宝物館

25 亜米利加使節饗応之図　高川文筌　絹本著色　1巻3図　嘉永7年　個人(福山市歴史資料室寄託)

26 米利堅人等写真図　高川文筌　紙本著色　1巻　江戸時代末期　真田宝物館

27 米艦渡来紀念図　堀口貞明[写]　紙本著色　1巻　江戸時代末期　横浜開港資料館

28 米国使節ペリー渡来絵図写生帖　紙本著色一部墨画　1帖　江戸時代末期　東京大学史料編纂所

29 米国使節彼理提督来朝図絵　樋畑雪湖[編]　印刷　1冊　昭和6年2月　横浜市中央図書館

30 開港日記　第17巻　ペリー等の肖像　紙本著色　1冊　江戸時代末期　東北大学附属図書館 狩野文庫

31 惣大将ヘロリ真図　紙本著色　1紙　江戸時代末期　黒船館

32 船大将歓差大臣提督海軍統帥まつちうせぺるり　木版墨摺　1紙　江戸時代末期　黒船館

33 北亜墨利加大合衆国人物真像図　木版墨摺　1紙　江戸時代末期　黒船館

34 欽差全権国王使節　木版墨摺　1紙　江戸時代末期　黒船館

35 大日本黒船館　川上澄生　紙､油彩　1面　昭和13年　黒船館

36 Commander-in Chief Perry　川上澄生　紙､油彩　1紙　昭和28年　黒船館

37 和蘭陀画幅　歌川国信　絹本著色　1幅　安政年間　了仙寺

38 北亜墨利加之使節ヘルリ之像　北亜墨利加之副将アハタムスノ像　木版多色摺　1紙　江戸時代末期　了仙寺

39 北亜墨利加洪和政治洲上官真像之写　紙本著色　1紙　江戸時代末期　了仙寺

40 北亜墨利加合衆国水師提督ペルリ之肖像　紙本著色　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション

41 北亜墨利加合衆国副使アダームス之肖像　紙本著色　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション

42 北亜墨利加共化政治州之使節ヘルリ真像　沙門紹禎［写］　紙本著色　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館

43 北亜墨利加副将アハタムス真像　沙門紹禎［写］　紙本著色　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館

44 北亜墨利加合衆国人物真像ノ図　大将きうちうせへるり　木版多色摺　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション

45 北亜墨利加人物ペルリ像　木版多色摺　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション

46 和唐内　木版多色摺　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション

47 北亜墨利加通用言　木版墨摺　1紙　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館

48 横浜応接秘図　紙本著色　1幅　江戸時代末期　個人

49 米利堅人等写真図巻　紙本墨画　1巻　江戸時代末期　個人

50 ● 島津家文書　アメリカ使節ペリー他肖像　紙本著色　2紙　江戸時代末期　東京大学史料編纂所

51 ◎ 鷹見泉石関係資料　彼理横浜入津図　紙本著色　1巻　江戸時代末期　古河歴史博物館

52 ◎ 鷹見泉石関係資料　彼理横浜入津図　紙本著色一部墨書　1巻　江戸時代末期　古河歴史博物館

53 ◎ 鷹見泉石関係資料　魯西亜人図　ヲロシヤ役頭､用人､役人　鷹見泉石[写]　紙本著色　2紙　文化2年　古河歴史博物館

54 ◎ 鷹見泉石関係資料　Groot Schip　木版墨摺　1紙　江戸時代末期　古河歴史博物館

55 合同舶入相秘記　第三・四巻　松平慶永　紙本著色　6冊の内2冊　江戸時代末期　福井市立郷土歴史博物館

56 北亜墨利加蒸気船嘉永六年渡来図　越智河野　紙本著色　1巻　嘉永6年　津山洋学資料館

57 異国船渡来之図　石橋李朝　紙本著色　2巻　嘉永7年　津山洋学資料館

58 北亜墨利加共和政治州使節ヘルリ真像　木版墨摺手彩色

1紙　江戸時代末期　黒船館
59 北亜米利加洪和政治洲上官真像之写　木版墨摺手彩色　1紙　江戸時代末期　黒船館
60 亜米利加国副将アワタムス　アワタムス倅十八歳　紙本著色　1紙　江戸時代末期　黒船館
61 ヘロリ像と軍師ヲシエルコンマンタン像　紙本著色　1紙　江戸時代末期　黒船館
62 五カ異国諸図集　木版墨摺手彩色　2巻　江戸時代末期　了仙寺
63 幕末異国船来航図巻下絵　紙本墨画　1巻　江戸時代末期　了仙寺
64 伊豆下田湊北亜米利加船渡来図　紙本著色　2巻　江戸時代末期　了仙寺
65 黒船来航絵巻　紙本著色　1巻　嘉永7年　東京都江戸東京博物館
66 黒船来航絵詞　西村正信［跋］　紙本著色　1巻　嘉永7年　東京都江戸東京博物館
67 黒船来航画巻　紙本著色　1巻　江戸時代末期　横浜開港資料館
68 黒船来航横浜絵巻　紙本著色　1巻　江戸時代末期　横浜開港資料館
69 使節ペリー横浜応接の図　紙本著色　1面　江戸時代末期　横浜市中央図書館
70 アメリカ使節の肖像画　紙本著色　1面　江戸時代末期　横浜市中央図書館
71 神奈川宿ハツレ松平兵部大輔　播州明石台場警衛　紙本著色　1面　江戸時代末期　横浜市中央図書館
72 神奈川内宮河岸図　紙本著色　1紙　江戸時代末期　横浜市中央図書館
73 横浜村真田家固ノ図　紙本著色　1紙　江戸時代末期　横浜市中央図書館
74 寅三月十三日神奈川ヨリ異舩ノ退帆ヲ観ル図　紙本著色　1面　江戸時代末期　横浜市中央図書館
75 黒船来航図巻　紙本著色　1巻　江戸時代末期　横浜市歴史博物館
76 米船来航図絵　紙本著色　1巻　江戸時代末期　神奈川県立金沢文庫
77 黒船絵巻　紙本著色　1巻　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション
78 亜墨利加船渡来横浜之真図　紙本著色　1巻　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館
79 黒船来航絵巻　紙本著色　1巻　江戸時代　神奈川県立歴史博物館
80 『異国落葉籠』　木版多色摺　1冊　江戸時代末期　神奈川県立歴史博物館
81 嘉永七寅歳二月十日大日本帝国於武州横浜日本人亜墨利駕人応接之図　鮮斎永興　木版多色摺　1紙　明治時代　神奈川県立歴史博物館 丹波コレクション
82 米使ペルリ饗応の図（船中歌舞図・船中弦歌図）　絹本著色　2巻　江戸時代末期　東京大学総合図書館
83 米利堅人応接之図　紙本著色　1巻　明治45年6月　東京大学史料編纂所
84 米利堅人饗応之図　紙本著色　1巻　明治45年6月　東京大学史料編纂所
85 米利幹人横浜応接之図　紙本著色　1巻　明治時代　東京大学史料編纂所
86 ペリー来朝浦賀紀行図　紙本著色　1巻　昭和5年9月9日　東京大学史料編纂所
87 米国水師提督彼理氏来朝絵図草稿　紙本墨画　1巻　明治時代　東京大学史料編纂所
88 米利堅人応接之図　菱田青完　紙本著色　1巻　昭和34年　横須賀市自然・人文博物館
89 米利堅人饗応之図　菱田青完　紙本著色　1巻　昭和34年　横須賀市自然・人文博物館
90 米利幹人真照　紙本著色　1巻　昭和時代　横須賀市自然・人文博物館
91 ペリー来朝浦賀紀行図　菱田青完　紙本著色　1巻　昭和31年　横須賀市自然・人文博物館
92 米国水師提督彼理氏来朝絵図草稿　菱田青完　紙本墨画　1巻　昭和時代　横須賀市自然・人文博物館
93 米国使節ペリー渡来絵図写生帖　菱田青完　紙本著色　2巻　昭和33年　横須賀市自然・人文博物館
94 提督ペルリの肖像と武官兵卒の図　紙本著色　1巻　大正時代頃　横須賀市自然・人文博物館
95 異船神奈川懸居図並提督彼理肖像　紙本墨画　1巻　昭和時代　横須賀市自然・人文博物館
参考1 黒船の図　木版多色摺　1紙　安政2年頃　神奈川県立歴史博物館
参考2 開港日記　第四巻　蒸気船　紙本墨書　1冊　江戸時代末期　東北大学附属図書館 狩野文庫
参考3 佐久間象山遺稿十九　浦賀日記　京都大学附属図書館
参考4 佐久間象山遺稿十九　浦賀陣中日記　京都大学附属図書館
参考5 為朝神社(横須賀市浦賀)の虎踊り
参考6 米国使節ペリー渡来絵図写生帖　京都　便利堂〔複製〕　1帖(72枚)　東京大学史料編纂所
参考7 嘉永七年甲寅暮春朔日より北亜墨利加合同舶人物等図　中井族之助　宇和島伊達文化保存会
参考8 渡辺崋山筆　国宝　鷹見泉石像　原品は東京国立博物館所蔵　古河歴史博物館

ウ　「武家の古都・鎌倉　世界遺産登録推進三館連携特別展　神奈川県立歴史博物館会場　再発見！鎌倉の中世」

会　期：平成24年10月6日(土)～12月2日(日)
主　催：武家の古都・鎌倉世界遺産登録推進三館連携特別展企画委員会、神奈川県立歴史博物館、文化庁(展示の企画は企画委員会が構成し、神奈川県立歴史博物館の主催事業として実施した。)
後　援：鎌倉世界遺産登録推進協議会、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、ＮＨＫ横浜放送局、ｔｖｋ(テレビ神奈川)
展示資料件数：約400件
入場者数：11,243名(有料5,045名、無料6,198名)
担　当：主任学芸員　古川 元也、考古担当　近野 正幸、学芸員　小井川 理
概　要：　武家の古都鎌倉を彷彿とさせるさまざまな文物は県や鎌倉市の各機関に収蔵されているが、、日頃県民の目に触れる機会は少ない。本展では世界遺産登録を目指す鎌倉の地に遺された貴重な文物について、出土品、古文書、古絵図等を中心に展示した。このうち、初公開となる当館所蔵、保管資料の中には黎明期の鎌倉研究にかかわった赤星直忠、八幡義生両氏の鎌倉関連出土・採集品コレクションのほか、三上次男、貫達人両氏の採集品コレクションや鈴木尚氏による鎌倉出土人骨標本もあり、鎌倉研究の初期における発掘、研究の成果を知る上でも貴重である。このほか国指定重要文化財、神奈川県指定文化財、鎌倉市指定文化財などを一堂に会し、中世都市鎌倉とはどのような場所であったのかを再発見してみた。
　本展は神奈川県立金沢文庫、鎌倉国宝館(鎌倉市)との連携事業の一環として、県と鎌倉市の三館がそれぞれの分野で連携して展示を開催した。三館の展示を鑑賞していただくことにより、世界遺産構成要素に関連を持つ多くの文化財について知見を深めることが可能となるよう意図したもので、当館以外の二館では、「神奈川県立金沢文庫会場　鎌倉興隆 －金沢文庫とその時代－」(会期：平成24年10月13日～12月2日)及び「鎌倉国宝館会場　古都鎌倉と武家文化 －武士たちの信仰と美術－」(会期：平成24年10月20日～12月2日)を開催した。

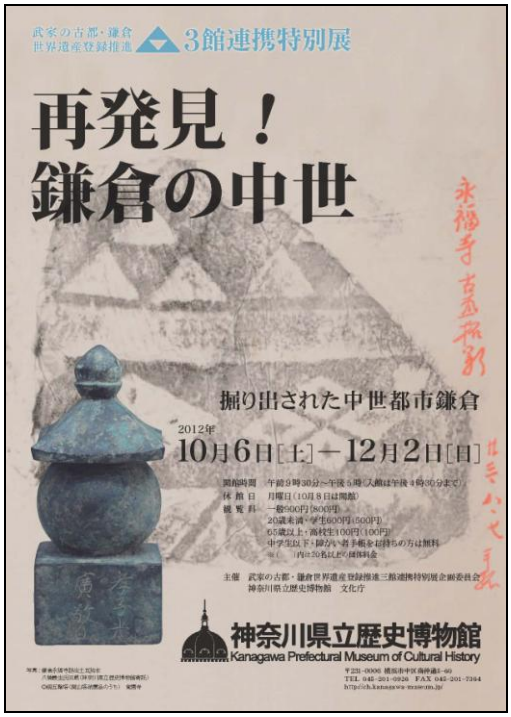
○特別展関連行事
①３館合同シンポジウム「世界遺産登録を目指す武家の古都・鎌倉の魅力を語る」(無料)
会　場：鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)
日　時：11月11日(日) 13:30～16:30
基調講演：1　東京大学 名誉教授・放送大学 教授　五味 文彦 氏
　　2　成城大学 前学長・三井記念美術館 館長　清水 眞澄 氏
シンポジウム：「鎌倉の文化財と世界遺産」
シンポジスト：五味 文彦 氏、清水 眞澄 氏、鎌倉国宝館 館長　鈴木 良明 氏、神奈川県立金沢文庫 文庫長・日本女子大学 教授　永村 眞、当館 館長　薄井 和男
応募者：445名
受講者：222名
②県博講座Ⅱ(無料、ただし特別展観覧券が必要)
・全体テーマ：「中世都市鎌倉をさぐる」(応募者46名)
・第1回　10月28日(日)(受講者81名)
　「中世都市鎌倉をさぐる」鶴見大学 教授　河野 眞知郎 氏
・第2回　11月4日(日)(受講者78名)
　「中世都市鎌倉の寺院と宗教」主任学芸員　古川 元也
・第3回　11月11日(日)(受講者64名)
　「中世都市鎌倉の文物と意匠」学芸員　小井川 理
・第4回　11月18日(日)(受講者61名)
　「よみがえる武家の古都・鎌倉 －中世都市鎌倉を考古学する－」学芸部 考古担当　近野 正幸
・第5回　11月25日(日)(受講者65名)
　「中世都市鎌倉を遺す」鎌倉市世界遺産登録推進担当 学芸員　阿部 能久 氏
③キャラクターショー「世界遺産登録をめざす城下町・彦根から、ひこにゃんがやってくる!!」
日　時：10月31日(水) 11:00～11:30、14：00～14：30

内　容：彦根市のアイドルキャラクター「ひこにゃん」を神奈川県の広報キャラクター「かながわキンタロウ」が出迎える着ぐるみショーにより当館及び世界遺産登録推進をＰＲした。
場　所：当館正面玄関前
参加者：午前 358 名、午後 442 名

④現地見学会「世界遺産候補鎌倉を歩く」
日　時：11 月 15 日(木) 13:00～16:00
講　師：学芸部 特別展「再発見！鎌倉の中世」担当学芸員
応募者：223 名
受講者：35 名

⑤学芸員による展示解説
・第 1 回
日　時：10 月 13 日(土) 13:30～14:30
講　師：主任学芸員　古川 元也
参加者：60 名

・第 2 回
日　時：10 月 20 日(土) 13:30～14:30
講　師：　学芸員　小井川 理
参加者：38 名
・第 3 回
日　時：10 月 27 日(土) 13:30～14:30
講　師：学芸部(考古担当)　近野 正幸
参加者：56 名
・第 4 回
日　時：11 月 10 日(土) 13:30～14:30
講　師：主任 学芸員　古川 元也
参加者：40 名
・第 4 回
日　時：11 月 17 日(土) 13:30～14:30
講　師：主任 学芸員　古川 元也
参加者：43 名
・第 4 回
日　時：11 月 24 日(土) 13:30～14:30
講　師：学芸部(考古担当)　近野 正幸
参加者：42 名



○出品目録
（凡例）　No.、指定、資料名、点数、寸法、所蔵
(指定は●は国指定重要有形民俗文化財、◎は神奈川県指定有形民俗文化財、○は川崎市重要郷土資料)
(点数は同一 No. 中に複数の資料がある場合に記載)
(寸法は最大値を径（φ）、幅（w）、奥行（d）、長さ（ℓ）、高さ（h）で表示し、単位はミリメートル)

［第 1 章　武家の古都・鎌倉］
参考 三浦義明像(原品　満昌寺蔵)　複製　1 躯　原品鎌倉時代　神奈川県立歴史博物館
1-1 源平合戦図屏風　紙本金地著色　六曲一双　江戸時代 18 世紀　神奈川県立歴史博物館
1-2 一ノ谷合戦図屏風　紙本金地著色　六曲一双　江戸時代 18 世紀　神奈川県立歴史博物館
1-3 ◎　前九年合戦絵詞　紙本著色　1 巻　鎌倉時代　13 世紀　国立歴史民俗博物館
1-参考 1 大鎧（原品　伝畠山重忠奉納・武蔵御嶽神社蔵）　復元複製　1 領　原品鎌倉時代　神奈川県立歴史博物館
1-参考 2 下馬周辺遺跡出土鎧　［パネル展示］　2 領　原品鎌倉時代　かながわ考古学財団
1-参考 3 大倉幕府周辺遺跡群出土籠手部分　［パネル展示］

1 具　原品鎌倉時代　鎌倉遺跡調査会

1-4 栴檀板(若宮大路周辺遺跡群)小町一丁目 333 番 2　鉄・金銅製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-5-1 助輪(今小路西遺跡出土)　金銅製　2 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-5-2 座金物(千葉地東遺跡出土)　鉄製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　神奈川県教育委員会

1-5-3 兜金具(米町遺跡出土)　骨角製・漆塗　1 点　鎌倉時代　12-13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-6-1 小札(今小路西遺跡出土)御成町 171 番 1　鉄製　6 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-16-2 小札(佐助ヶ谷遺跡)　鉄製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-6-3 鞐、鎧紐通(長谷小路南遺跡出土)由比ガ浜三丁目 202 番 2　骨角製　3 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-6-4 鞐(佐助ヶ谷遺跡)　骨角製　1 点　室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会

1-6-5 鐙紐通(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)　骨角製　1 点　南北朝時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-7 太刀未成品(下馬周辺遺跡出土)　鉄製　1 腰　鎌倉～南北朝時代　14 世紀　かながわ考古学財団

1-8 鮫皮鞘(米町遺跡出土)大町二丁目 2320 番 1　木製・鮫皮　1 括　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-9 刀架(北条時房・顕時邸跡)雪ノ下一丁目 264 番 4　木製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-10 黒漆塗弓(二階堂杉ヶ谷出土)二階堂 520 他　木製・漆塗　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-11-1 鏃(千葉地東遺跡出土)　鉄製　4 点　鎌倉時代　13-14 世紀　神奈川県教育委員会

1-11-2 鏃(長谷小路南遺跡出土)由比ガ浜三丁目 202 番 2　骨角製　1 点　鎌倉～南北朝時代　13-14 世紀　鎌倉市考古学財団

1-11-3 鏃(諏訪東遺跡出土)　鉄製　1 点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会

1-11-4 鏃(上杉管領屋敷跡出土)　鉄製　1 点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会

1-11-5 鏑(千葉地遺跡出土)　骨角製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-12-1 弓筈(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)若宮ハイツ No. 76　骨角製　1 点　詳細不明　－　鎌倉市教育委員会

1-12-2 螺鈿後輪(北条時房・顕時邸跡出土)鶴岡旅館、雪ノ下一丁目 273 番ロ　木製・漆塗・螺鈿　1 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-13 野沓(今小路西遺跡)御成町 171 番 1　木製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-14-1 小刀(若宮大路周辺遺跡群出土)御成町 872 番 1　鉄製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-14-2 鉄製鍔(今小路西遺跡出土)御成町 625 番 2　鉄製　1 点　南北朝時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-15-1 太刀柄頭金具(蔵屋敷東遺跡出土)　鉄製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-15-2 刀装具(鶴岡八幡宮研修道場用地出土)　鉄製　1 点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会

1-15-3 太刀柄(佐助ヶ谷遺跡)　木製・漆塗　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-15-4 笄 (佐助ヶ谷遺跡)　鉄製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-16-1 刀装具(若宮大路周辺遺跡群出土)御成町 872 番 1　骨角製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-16-2 刀装具(長谷小路南遺跡)由比ガ浜三丁目 202 番 2　骨角製　3 点　鎌倉～南北朝時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-17 轡(若宮大路周辺遺跡群出土)　鉄製　1 対　鎌倉時代　13-14 世紀

1-18 折烏帽子(大倉幕府跡出土)雪ノ下三丁目 704 番 3　漆塗　1 点　南北朝時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

1-19 御成敗式目(広橋家旧蔵記録文書典籍類)　紙本墨書　1 巻　室町時代　15 世紀　国立歴史民俗博物館

1-20 御成敗式目　紙本墨書　1 冊　室町時代　文安元年(1444)　国立歴史民俗博物館

1-21 吾妻鏡(慶長古活字本)　紙本・木版　1 冊(全 25 冊のうち)　江戸時代　慶長 10 年(1605)　神奈川県立歴史博物館

1-22 □　墨書木札(今小路西遺跡)御成町 171 番 1　木製・墨書　1 枚　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-23-1 □　墨書木簡(北条泰時・時頼邸跡)雪ノ下一丁目 371 番 1　木製・墨書　2 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-23-2 □　墨書木簡(北条小町邸跡/泰時・時頼邸跡)雪ノ下一丁目 377 番 7　木製・墨書　3 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

1-24 ◎　武蔵国鶴見寺尾郷絵図　紙本著色　1 幅　南北朝時代　14 世紀　神奈川県立金沢文庫

1-25 ◎　越後国奥山庄波月条絵図　紙本著色　1 巻　鎌倉時代　13 世紀　胎内市教育委員会

1-26-1 ◎　荒河保・奥山庄堺相論和与絵図(三浦和田文書・越後文書宝翰集のうち)　紙本彩色　1 通(第 1 巻のうち 9 号文書)　鎌倉時代　13 世紀　新潟県立歴史博物館

1-26-2 ◎　関東下知状(三浦和田文書・越後文書宝翰集のうち)　紙本墨書　1 通(第 1 巻のうち 10 号文書)　鎌倉時代　正応 5 年(1292)　新潟県立歴史博物館

1-26-3 ◎　関東御教書(三浦和田文書・越後文書宝翰集のうち)　紙本墨書　1 通(第 1 巻のうち 15 号文書)　鎌倉時代　新潟県立歴史博物館

1-27 ◎　三浦和田一族総系図(三浦和田文書・越後文書宝翰集のうち)　紙本墨書　1 通(第 6 巻)　鎌倉時代　元亨元年(1321)　新潟県立歴史博物館

1-28 ◎　中条房資代々軍功記録(三浦和田中条文書・越後文書宝翰集のうち)　紙本墨書　1 通(第 1 巻のうち 1 号文書)　室町時代　14 世紀　享徳 3 年(1454)　新潟県立歴史博物館

1-29 江上館出土青白磁梅瓶　磁製　2 点　鎌倉時代　13-14 世紀　胎内市教育委員会
1-30-1 下町・坊城遺跡出土青磁片　磁製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　胎内市教育委員会
1-30-2 下町・坊城遺跡出土白磁片　磁製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　胎内市教育委員会
1-31 新潟県胎内市出土漆工品　木製・漆塗　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　胎内市教育委員会
1-32-1 三鱗文常滑甕片(笹目遺跡出土)笹目町 330 番 1 地点　陶製　1 点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-2,3 三鱗文漆器椀・皿(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目 210 番　木製・漆塗　3 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-4 三鱗文漆器皿(円覚寺門前遺跡出土)山ノ内 1344 番　木製・漆塗　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-5 三鱗文折敷片(今小路西遺跡出土)御成町 200 番 2　木製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育員会
1-32-6 三鱗文鋲(大倉幕府北遺跡出土)西御門二丁目 796 番 1　金属製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-7 三鱗文刻印控貫(北条時房・顕時邸跡出土)雪ノ下一丁目 264 番 4　木製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-8 三鱗文印刻下駄(今小路西遺跡)御成町 171 番 1　木製　1 点　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-9 三鱗文手あぶり(浄明寺釈迦堂ヶ谷遺跡出土)　陶製　1 点　南北朝時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-10 三鱗文瓦(永福寺跡出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-32-11 三鱗文火鉢(若宮大路周辺遺跡群出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会
1-33 三鱗文瓦(館山市萱野遺跡出土)　陶製　6 点　鎌倉時代　13 世紀　館山市立博物館
1-34 ◎　陸奥国玉造郡越後大夫知行分召米結解状　紙本墨書　1 紙　鎌倉時代　13 世紀　称名寺(金沢文庫)
1-35 □　水晶舎利容器・舎利　水晶製　1 基　鎌倉時代　13-14 世紀　瑞巌寺
1-36 北条政子書状案　紙本墨書　1 幅　鎌倉時代　13-14 世紀　瑞巌寺
1-37 舎利伝来記　紙本墨書　1 巻　南北朝時代　貞治 5 年(1366)　瑞巌寺
1-38-1 瑞巌寺境内遺跡出土瓦　陶製　1 点　鎌倉～室町時代　14-15 世紀　瑞巌寺
1-38-2 瑞巌寺境内遺跡出土勝虫形代　木製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　瑞巌寺
1-38-3 瑞巌寺境内遺跡出土形代　木製　2 点　鎌倉～室町時代　14-15 世紀　瑞巌寺
1-38-4 瑞巌寺境内遺跡出土刀子　鉄製　2 点　鎌倉～室町時代　14-15 世紀　瑞巌寺
1-38-5 瑞巌寺境内遺跡出土硯　石製　1 点　鎌倉～室町時代　14-15 世紀　瑞巌寺
1-39 瑞巌寺境内遺跡出土瀬戸蓋付瓶子　陶製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　瑞巌寺
1-40 瑞巌寺境内遺跡出土青磁片等　陶磁製　一括　南宋～元時代・鎌倉～室町時代　13-15 世紀　瑞巌寺
1-41 瑞巌寺境内遺跡出土漆工品　木製漆塗　一括　鎌倉～室町時代　13-15 世紀　瑞巌寺
1-42 瑞巌寺境内遺跡出土三鱗文柄杓(部分)　木製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　瑞巌寺

[第 2 章　鎌倉研究の黎明]

2-1 三上次男氏資料
2-1-1 鎌倉出土の中国青磁他　磁製　一括　宋～元時代　13 世紀　青山学院大学
2-1-2 鎌倉かわらけ(箱入)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　青山学院大学
2-1-3 鎌倉経塚出土の腰刀、図面　鉄製・紙　2 点　鎌倉時代　13 世紀　青山学院大学
2-1-4 百八やぐら上段の玉石、軒平瓦　石・瓦　2 点　鎌倉時代　13 世紀　青山学院大学
2-2 赤星直忠氏資料
2-2-1 西方寺跡で調査する赤星直忠氏 ［パネル展示］ 印画紙　1 枚　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-2 赤星直忠氏調査ノート他　ノート　9 冊　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-3-1 赤星直忠氏調査ノート(写経石部分)　ノート　1 冊　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-3-2 建長寺採集写経石　石　19 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-4-1 鎌倉諸所採集かわらけ　陶製　11 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-4-2 鎌倉諸所採集かわらけ　陶製　14 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-1 鎌倉諸所採集瓦(覚園寺)　瓦　6 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-2 鎌倉諸所採集瓦(鶴岡八幡宮)　瓦　9 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-3 鎌倉諸所採集瓦(永福寺跡、荏柄天神社)　瓦　5 点　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-4 鎌倉諸所採集品(小町、妙本寺、材木座他)　木製・陶磁製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-5 常滑壺(覚園寺)　陶製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-5-6 鎌倉諸所採集装飾具　銅・石　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-6-1 鎌倉諸所採集陶片　陶磁製・石　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-6-2 鎌倉諸所採集陶片　滑石製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-6-3 鎌倉諸所採集陶片　陶製　一括　鎌倉時代　13-14

世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-6-4 鎌倉諸所採集木製品(下駄・箸)　木製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　神奈川県立歴史博物館
2-2-6-5 鎌倉諸所採集鉄製品(錐・刀子)　木・金属製　3 点　鎌倉時代　13-14 世紀　神奈川県立歴史博物館
2-2-6-6 鎌倉採集木製品(鍬)　木製　1 点　鎌倉時代　13-14 世紀　神奈川県立歴史博物館
2-2-7-1 ガラス乾板写真(永福寺跡)　ガラス　1 枚　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-7-2 ガラス乾板写真　ガラス　1 枚　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-7-3 ガラス乾板写真　ガラス　1 枚　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-7-4 鎌倉諸所採集瓦拓本　紙　1 帖　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-2-7-5 鎌倉諸所採集瓦拓本　紙　1 帖　現代　20 世紀　赤星直忠博士文化財資料館
2-3 八幡義生氏資料
2-3-1 八幡義生氏鎌倉遺跡調査ノート　紙　4 冊(一括資料のうち)　現代　20 世紀　鎌倉市中央図書館
2-3-2-1 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　3 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-2 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-3 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-4 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-5 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-6 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-7 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-8 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-2-9 鎌倉諸所採集拓本　紙・拓本　1 紙　現代　20 世紀　個人蔵
2-3-3-1 二ツ橋前道路工事中出土品(陶製容器・小仏・香炉・黒釉陶器・釣鐘形容器)　陶製　一括　鎌倉時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-3-2 常滑壺(大仏裏やぐら出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-3 常滑壺(大町出土)　陶製　1 点　室町時代　15 世紀　個人蔵
2-3-3-4 瀬戸灰釉四耳壺(極楽寺出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-5 常滑大甕(大町名越慈恩寺址出土)　陶製　1 点　室町時代　15 世紀　個人蔵
2-3-3-6 滑広口壺・印花文常滑壺(大町名越出土)　陶製　2 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-7 常瀬戸瓶子(神金やぐら出土)・瀬戸瓶子(出土地不明)　陶製　2 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-8 黒釉仏花瓶(葛原が岡出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　14 世紀　個人蔵
2-3-3-9 灰釉仏花瓶(鎌倉出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-10 瀬戸瓶子(鎌倉出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-11 瀬戸瓶子(鎌倉出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-12 瀬戸瓶子(鎌倉出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-13 瀬戸瓶子(鎌倉出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-14 常滑壺(大町出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-15 常滑壺(大仏裏やぐら出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-16 常滑三耳壺(化粧坂上出土)　陶製　1 点　室町時代　15 世紀　個人蔵
2-3-3-17 常滑壺(二階堂薬師堂ヶ谷出土)　陶製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-3-18 四線篦描常滑壺(葛原が岡出土)　陶製　1 点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　個人蔵
2-3-4-1 青磁碗(鎌倉市内出土)　磁製　1 点　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-4-2 鎌倉諸所採集青磁破片　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-4-3 鎌倉諸所採集青磁破片　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-4-4 鎌倉諸所採集青磁破片　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-4-5 鎌倉諸所採集青磁破片　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-5-1 鎌倉諸所採集青磁破片(研究資料)　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-5-2 鎌倉諸所採集青磁破片(研究資料)　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　個人蔵
2-3-6-1 かわらけ(二ツ橋、東光寺、青砥橋出土)表面　陶製　12 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-6-2 かわらけ(二ツ橋、東光寺、青砥橋出土)裏面　陶製　12 点　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-6-3 かわらけ(日月やぐら、西御門、二階堂、荏柄天神社出土)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-6-4 かわらけ(日月やぐら、百八やぐら、釈迦堂、西御門他出土)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-7-1～4 瓦片(永福寺、国大前、松源寺、極楽寺、覚園寺、大御堂他出土)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵
2-3-7-5～8 瓦片(五大堂、泉ヶ谷、鶴岡、法華堂、今宮、永

福寺他出土)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵

2-3-7-9～12 瓦片(東御門、大御堂、勝長寿院、東光寺、宇都宮辻子、大慈寺他出土)　陶製　一括　鎌倉時代　13 世紀　個人蔵

2-3-8-1, 2, 3, 4 板碑(鎌倉諸所出土)　石製　4 点　鎌倉～南北朝時代　14 世紀　神奈川県立歴史博物館

2-3-9 鶴岡八幡宮金銅幡　金銅製　1 枚　南北朝時代　永徳 4 年(1384)　個人蔵

2- 4 貫達人氏資料

2-4-1 鎌倉諸所採集青磁片　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　神奈川県立歴史博物館

2-5 鈴木尚氏関連資料

2-5-1 材木座遺跡発掘状況写真　印画紙　1 冊　現代　20 世紀　神奈川県立歴史博物館

2-5-2 一ノ鳥居骨塚碑拓本　紙本墨書　2 幅　現代･碑は江戸時代　19 世紀　鎌倉市中央図書館

2-5-3-1～10 人骨(材木座遺跡出土)　骨　10 点　南北朝時代　14 世紀　東京大学総合研究博物館

[第 3 章　威信財と意匠にみる鎌倉]

3-1-1 ◎　金沢貞顕書状(金文 379)　紙本墨書　1 紙　鎌倉時代　元応元年(1319 年)　称名寺(金沢文庫)

3-1-2 ◎　金沢貞顕書状(金文 157)　紙本墨書　2 紙　鎌倉時代　元徳元年(1329 年)　称名寺(金沢文庫)

3-2 碇石(光明寺旧境内遺跡出土)材木座六丁目 855 番 21　石製　1 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-3 ◎　青磁酒会壺　磁製　1 点　元時代　13 世紀　称名寺(金沢文庫)

3-4-1 □　青磁鎬文酒会壺(大平尼寺跡出土)　磁製　1 点　南宋～元時代　13 世紀　別願寺

3-4-2 □　黄緑釉尊形花瓶(大平尼寺跡出土)　陶製　1 点　鎌倉～南北朝時代　14 世紀　別願寺

3-5-1 ◎　青磁袴腰香炉　磁製　1 点　南宋時代　13 世紀　円覚寺

3-5-2 青磁蓮弁文碗　磁製　1 点　南宋時代　13 世紀　円覚寺

3-5-3 ◎　富田荘絵図(円覚寺文書のうち)　紙本彩色　1 幅　南北朝時代　14 世紀　円覚寺

3-6-1 青磁貼花雲龍文大香炉　磁製　1 点　元時代　13 世紀　称名寺(金沢文庫)

3-6-2 青磁貼花牡丹唐草文大花瓶　磁製　2 点　元時代　13 世紀　称名寺(金沢文庫)

3-7-1 青磁下蕪形花瓶　磁製　1 点　南宋～元時代　13 世紀　清浄光寺(遊行寺)

3-7-2 青磁牡丹唐草文香炉　磁製　1 点　南宋～元時代　13 世紀　清浄光寺(遊行寺)

3-7-3 青磁袴腰香炉　磁製　1 点　南宋～元時代　13-14 世紀　清浄光寺(遊行寺)

3-7-4 青磁袴腰香炉　磁製　1 点　明時代　15 世紀　清浄光寺(遊行寺)

3-8-1 ○　青磁酒会壺他輸入陶磁(今小路西遺跡出土)御成小学校内　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-2 青磁算木文香炉(材木座妙長寺裏遺跡出土)　磁製　1 点　元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-3 青磁牡丹文盤(材木座妙長寺裏遺跡出土)　磁製　1 点　元時代　13-14 世紀　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-4 青磁花文盤(材木座妙長寺裏遺跡出土)　磁製　1 点　元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-5 青磁碗底部(若宮大路周辺遺跡群出土)　磁製　1 点　南宋時代　12-13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-6 青磁碗(蔵屋敷東遺跡出土)　磁製　1 点　南宋時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-7 青磁碗(大蔵幕府周辺遺跡群出土)　磁製　3 点　南宋時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-8 青磁劃花文皿(米町遺跡出土)　磁製　2 枚　南宋～元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-9 緑釉陶枕(若宮大路周辺遺跡群出土)小町二丁目 48 番 10　陶製　5 点　南宋～元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-10 青磁魚文皿(藤内定員邸跡出土)　磁製　1 点　南宋時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-8-11 青磁小壺蓋、青白磁香炉片(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)由比ガ浜二丁目 1034 番 1　磁製　2 点　南宋～元時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-1 青磁双魚文皿(若宮大路周辺遺跡群･米町遺跡出土)　磁製　2 点　元時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-2 青磁碗(若宮大路周辺遺跡群出土)　磁製　1 点　元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-3 青磁碗(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 333 番 2　磁製　一括　南宋～元時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-4 青磁･白磁皿(北条時房･顕時邸跡、佐助ヶ谷遺跡出土)　磁製　2 点　元時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-5 青磁梅瓶蓋(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)　磁製　8 点　南宋～元時代　13-14 世紀　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-9-6 青磁片他輸入陶磁(今小路西遺跡)御成町 171 番 1　磁製　一括　南宋～元時代　鎌倉市教育委員会

3-9-7 青磁片他輸入陶磁(今小路西遺跡)御成町 200 番 2　磁製　一括　南宋時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-10 高麗青磁梅瓶片(今小路西遺跡)　磁製　一括　高麗時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-11 浅川伯教収集朝鮮半島窯跡出土陶磁器コレクション　磁製　31 点　高麗時代　13 世紀　国立歴史民俗博物館

3-12-1 □　板締染型板(若宮大路周辺遺跡群)　木製　一括　南北朝時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-12-2 板締染型板(大倉幕府跡)　木製　2 点　鎌倉時代　13 世紀　鎌倉市教育委員会

3-12-3 板締染型板(今小路西遺跡)　木製　2 点　鎌倉時代　14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-12-4 飾板(今小路西遺跡)　木製　2 点　鎌倉時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

3-12-5 版木(若宮大路周辺遺跡群)　木製　3枚　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-1 漆椀(諏訪東遺跡出土)御成町 806-5　木製・漆塗　2点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-2 漆皿(蔵屋敷東遺跡出土)御成町822-2　木製・漆塗　2点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-3 漆皿(北条時房・顕時邸跡)　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-4 漆皿(北条時房・顕時邸跡)　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-5 蒔絵鏡箱蓋(北条時房・顕時邸跡)雪ノ下1-273-ロ　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-6 漆椀(大倉幕府跡)　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-7 漆皿(円覚寺旧境内遺跡出土)瑞鹿山 393-3　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-8 漆皿(下馬周辺遺跡出土)由比ガ浜三丁目18番12　木製・漆塗　2点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-9 漆椀・皿(今小路西遺跡出土)御成町171-1　木製・漆塗　6点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-10 漆椀・皿(千葉地遺跡出土)御成町 15-5 番地　木製・漆塗　3点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-11 蒔絵硯箱部品(武蔵大路周辺遺跡出土)扇ガ谷2-298-イ　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-12 漆椀(武蔵大路周辺遺跡出土)扇ガ谷 2-298-イ　木製・漆塗　2点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-13 漆皿・鉢(武蔵大路周辺遺跡出土)扇ガ谷 2-298-イ　木製・漆塗　7点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-14 漆皿(武蔵大路周辺遺跡出土)扇ガ谷 2-298-イ　木製・漆塗　一括のうち　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-15 漆皿(佐助ヶ谷遺跡出土)　木製・漆塗　一括のうち　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-16 漆椀(若宮大路周辺遺跡出土)　木製・漆塗　一括のうち　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-17 折敷(北条時房・顕時邸跡)雪ノ下一丁目264番4　木製・漆塗　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-13-18　漆椀(扇ガ谷)　木・漆　1点　詳細不明　－　鎌倉市教育委員会

3-14-1 滑石スタンプ(若宮大路周辺遺跡群)小町一丁目 276番18・22・38　滑石製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-2 滑石スタンプ(若宮大路周辺遺跡群)小町一丁目 106番1他(1次)・116番4他(4次)　滑石製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-3 滑石スタンプ(若宮大路周辺遺跡群)小町一丁目 106番1他(1次)・116番4他(4次)　滑石製　1点　鎌倉時代　12-13世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-4 滑石スタンプ(笹目遺跡)笹目町330番1　滑石製　1点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-5 滑石スタンプ(佐助ヶ谷遺跡)佐助一丁目 583 外　滑石製　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-6 滑石スタンプ(長谷小路周辺遺跡)　滑石製　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-7 滑石スタンプ(今小路西遺跡)　滑石製　1点　南北朝時代　14世紀　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-8 滑石スタンプ(今小路西遺跡)御成町171番1　滑石製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-14-9 滑石スタンプ(今小路西遺跡)御成町171番1　滑石製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-15-1 戯画滑石片(藤内定員邸跡)　石製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-15-2 戯画瓦片(永福寺跡出土)　陶製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-15-3 戯画陶片(大倉幕府周辺遺跡群出土)二階堂 58 番 4　陶製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-15-4 水鳥形漆製品(千葉地遺跡出土)　木製漆塗　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-15-5 骨製鳥形(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜二丁目1034番1　骨角製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-1 環状銅製品(長谷小路周辺遺跡出土)由比ガ浜三丁目258番8　銅製　1点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-2 弦巻(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目1136番　骨角製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-3 弦巻(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)若宮ハイツ No.74　骨角製　1点　詳細不明　－　鎌倉市教育委員会

3-16-4 弦巻(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)KKR 若宮荘 No.52　骨角製　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-5 野沓(長谷小路南遺跡出土)由比ガ浜三丁目202番2　骨角製　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-6 野沓(無量寺跡出土)　骨角製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-7 刀装具(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目1136番　銅製　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-8 刀装具(米町遺跡出土)大町二丁目 2320 番 1　銅製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-9 太刀柄頭金具(佐助ヶ谷遺跡出土)　銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-16-10 刀装具(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)由比ガ浜 1015番23　骨角製　3点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-17-1 茱萸(佐助ヶ谷遺跡)　骨角製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

3-17-2 茱萸(長谷小路南遺跡出土)由比ガ浜三丁目 202 番 2 骨角製 1 点 鎌倉時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-3 茱萸(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)若宮ハイツ 骨角製 2 点 詳細不明 ― 鎌倉市教育委員会
3-17-4 茱萸(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)由比ガ浜 1015 番 23 骨角製 1 点 南北朝時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-5 茱萸(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目 1136 番 骨角製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-6 茱萸(材木座町屋遺跡出土)材木座六丁目 760 番 1 骨角製 1 点 南北朝～室町時代 14-15 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-7 辻具(若宮大路周辺遺跡群出土) Y1210 №103 骨角製 2 点 詳細不明 ― 鎌倉市教育委員会
3-17-8 辻具(本覚寺旧境内遺跡出土) 骨角製 1 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-9 辻具(千葉地遺跡出土) 骨角製 1 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-10 辻具(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目 1136 番 骨角製 2 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-11 箙飾金具(諏訪東遺跡出土) 骨角製 1 点 南北朝～室町時代 14-15 世紀 鎌倉市教育委員会
3-17-12 茱萸(若宮大路周辺遺跡群)御成町 872 番 1 骨角製 1 点 鎌倉時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会

[第 4 章 鎌倉びとのくらし]

4-1 ○ 遊行上人縁起絵 紙本著色 1 巻(全 10 巻のうち巻 2) 室町時代 16 世紀 清浄光寺(遊行寺)
4-2 ◎ 一遍聖絵 断簡 紙本著色 1 幅 鎌倉時代 正安元年(1299) 個人蔵
4-3 鎌倉金沢図屏風 紙本著色 六曲一双 江戸時代 17 世紀 個人蔵
4-4 ◎ 円覚寺境内絵図 紙本彩色 1 幅 南北朝時代 14 世紀 円覚寺
4-5 ◎ 釼阿書状 紙本墨書 1 紙 鎌倉時代 14 世紀 称名寺(金沢文庫)
4-6 ◎ 断物目録 紙本墨書 1 紙 鎌倉～南北朝時代 14 世紀 称名寺(金沢文庫)
4-7 ◎ 戒光寺庫院什物日記 紙本墨書 1 紙 南北朝時代 延文元年(1356) 称名寺(金沢文庫)
4-8 木製膳 木製・漆塗 1 紙 室町時代 15 世紀 称名寺(金沢文庫)
4-9-1 進藤道海銘硯(千葉地遺跡出土) 石製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-9-2 俊賢銘硯(安国寺跡出土)山ノ内字管領屋敷 147 番 9・10 石製 1 点 室町時代 15 世紀 鎌倉市教育委員会
4-10 浄智寺出土常滑甕および古銭 陶製他 一括 南北朝～室町時代 14-15 世紀 鎌倉市教育委員会
4-11 浄光明寺出土大甕 陶製 1 点 南北朝時代 14 世紀 浄光明寺
4-12-1 操り人形頭部山猫(円覚寺門前遺跡出土)山ノ内 1,344 番 木製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-2 操り人形頭部男(今小路西遺跡出土)御成町 200 番 2 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-3 操り人形男(佐助ヶ谷遺跡出土) 木製 1 点 鎌倉時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-4 操り人形(米町遺跡出土)大町二丁目 2320 番 1 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-5 操り人形(今小路西遺跡出土)御成町 171 番 1 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-6 木製人面(円覚寺門前遺跡出土)山ノ内 1337 番 1 木製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-12-7 木製人面(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目 210 番 木製 1 点 鎌倉～南北朝時代 14 世紀 鎌倉市教育1委員会
4-13 印判(佐助ヶ谷遺跡出土) 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-14 とんぼ(佐助ヶ谷遺跡出土) 木製 2 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-15-1 サイコロ(今小路西遺跡出土)御成町 171 番 1 骨角製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-15-2 サイコロ(今小路西遺跡出土)御成小学校内 骨角製 1 点 南北朝時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-15-3 サイコロ(無量寺跡出土)御成町 39 番 6 骨角製 1 点 室町時代 15 世紀 鎌倉市教育委員会
4-15-4 サイコロ(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)由比ガ浜 1015 番 23 骨角製 2 点 南北朝時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-16-1 双六駒(藤内定員邸跡出土) 木製 1 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-16-2 双六駒(長谷小路南遺跡出土)由比ガ浜三丁目 202 番 2 木製 3 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-16-3 双六駒(若宮大路周辺遺跡群出土) Y1210 №99 木製 2 点 詳細不明 ― 鎌倉市教育委員会
4-17 双六盤(北条時房・顕時邸跡出土)雪ノ下一丁目 273 番ロ 木製 1 点 南北朝時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-18 羽子板(今小路西遺跡出土)御成町 171 番 1 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-19-1 将棋駒(北条時房・顕時邸跡)雪ノ下一丁目 264 番 4 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-19-2 将棋駒(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目 210 番 木製 1 点 鎌倉～南北朝時代 13-14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-19-3 将棋駒(武蔵大路周辺遺跡)扇ガ谷二丁目 298 番イ 木製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会
4-20-1 独楽(千葉地遺跡出土) 木製 1 点 鎌倉時代 13 世紀 鎌倉市教育委員会
4-20-2 独楽(武蔵大路周辺遺跡)扇ガ谷二丁目 298 番イ 木・陶製 1 点 鎌倉時代 14 世紀 鎌倉市教育委員会

4-20-3 独楽(千葉地東遺跡出土)　木製　2点　鎌倉時代　14世紀　神奈川県教育委員会

4-21 碁石(浄妙寺旧境内遺跡)浄明寺三丁目 126 番　石製　20点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

4-22-1 □　地鎮埋納物(笹目遺跡出土)笹目町 330 番 1 地点　陶磁製・鉄製　6点　南北朝～室町時代　14-15世紀　鎌倉市教育委員会

4-22-2 地鎮埋納物(今小路西遺跡出土)御成小学校内　陶製・石製　1組　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-22-3 地鎮埋納物(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目1142番13　土製　3組　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-22-4 呪具(瑞泉寺周辺遺跡出土)二階堂 653 番 3　土製・素焼・石　一括　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-22-5 埋納物(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 325 番イ　陶製・石・銅銭　一括　鎌倉～南北朝時代　13-14 世紀　鎌倉市教育委員会

4-23-1 呪符木簡(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 106 番1他　木製　3点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-23-2 呪符木簡(佐助ヶ谷遺跡出土)　木製　2点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-23-3 呪符木簡(北条時房・顕時邸跡出土)雪ノ下一丁目 265 番3　木製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-23-4 呪符木簡(北条泰時・時頼邸跡出土)雪ノ下一丁目 369 番　木製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-23-5 呪符木簡(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目210 番　木製　2点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-1 人面墨書かわらけ(北条泰時・時頼邸跡出土)雪ノ下一丁目372番7　土製・素焼　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-2 墨書かわらけ(佐助ヶ谷遺跡出土)　土製・素焼　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-3 墨書かわらけ(華光院跡やぐら群出土)扇ガ谷二丁目 191 番　土製・素焼　1点　南北朝～室町時代　14-15 世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-4 墨書かわらけ(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目 210 番　土製・素焼　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-5 鬼面土器(宇都宮辻子幕府跡出土)小町二丁目389番1　土製・素焼　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-24-6 墨書かわらけ(千葉地東遺跡出土)　土製・素焼　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-1 特殊杓子(佐助ヶ谷遺跡出土)　木製　1点　鎌倉時代　14世紀　神奈川県教育委員会

4-25-2 人形(佐助ヶ谷遺跡)　木製　3点(展示は2点)　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-3 人形(若宮大路周辺遺跡群出土)御成町 868 番地点　木製　6点(展示は4点)　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-4 形代(佐助ヶ谷遺跡)　木製　3点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-5 木製形代(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 106 番1他　木製　5点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-6 木製夫婦雛(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目 210 番　木製　2点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-7 木製刀形(北条時房・顕時邸跡)雪ノ下一丁目 236 番 1　木製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-8 木製鳥形(武蔵大路周辺遺跡)扇ガ谷二丁目 298 番イ　木製　2点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-9 武者形代(今小路西遺跡出土)御成町 200 番 2　木製　1点　鎌倉時代　13世紀　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-25-10 木製弓形(大倉幕府跡出土)雪ノ下三丁目 637 番 4　木製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

4-26-1 土製人形(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)由比ガ浜四丁目1107番32　土製・素焼　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-26-2 土製人形(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 106 番1他　土製・素焼　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-26-3 土製人形(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜二丁目1034番1　土製・素焼　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

4-27-1 土製人形(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜二丁目 1034 番 1　土製・素焼　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-27-2 土馬(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)由比ガ浜四丁目6番9　土製・素焼　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-27-3 土馬(長谷小路周辺遺跡出土)由比ガ浜三丁目 194 番 24　土製・素焼　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-27-4 絵馬(今小路西遺跡)御成町 171 番 1　木製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-27-5 琵琶形(佐助ヶ谷遺跡出土)　木製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

4-28 鶴岡八幡宮相撲職文書(旧金子家文書)　全5通のうち2通　鎌倉時代　13-14世紀　神奈川県立歴史博物館

4-28-1 関東御教書案 建長二年七月二十五日　紙本墨書　1通　鎌倉時代　建長2年(1250)　神奈川県立歴史博物館

4-28-2 鶴岡八幡宮相撲奉行和与状 嘉暦元年八月二十日　紙本墨書　1通　鎌倉時代　嘉暦元年(1326)　神奈川県立歴史博物館

[第5章　祈りと信仰]

5-1 六波羅施行状　紙本墨書　1幅　鎌倉時代　延慶 2 年(1309)　称名寺(金沢文庫)

5-2 灰釉四耳壺　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-3 ○　永福寺跡内経塚出土品　鎌倉時代　12-13 世紀　鎌

倉市教育委員会
5-3-1,2 ○ 渥美甕・捏鉢 陶製 各1点 鎌倉時代 12-13世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-2 ○ 銅製経筒(有蓋) 銅製 1点 鎌倉時代 12-13世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-3 白磁有蓋小壺 白磁 1点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-4 ○ 扇 金銅製 9点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-5 ○ 木製数珠玉 木製 一括 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-6 ○ 水晶製数珠玉 水晶製 一括 鎌倉時代 12-13世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-7 ○ 金の粒 金 1点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-8 ○ 木製櫛 木製 10点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-9 ○ 短刀 鉄製 2点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-3-10 ○ 経軸片 竹製 2点 鎌倉時代 12-13 世紀 鎌倉市教育委員会
5-4 新善光寺
5-4-1 □ 白磁四耳壺(新善光寺跡内やぐら出土) 白磁 1点 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-4-2 宝篋印塔(新善光寺跡内やぐら出土) 石製 一括 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-4-3 写経石(新善光寺跡内やぐら出土) 石 19点 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-4-4 瓦質香炉(新善光寺跡内やぐら出土) 陶製 1点 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-4-5 かわらけ(新善光寺跡内やぐら出土) 陶製 1点 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-4-6 火葬骨(新善光寺跡内やぐら出土) 骨 一括 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-5-1 線刻画硯(若宮大路周辺遺跡群)大町一丁目 1034 番 9 石製 1点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-5-2 線刻文字瓦(宝蓮寺跡)佐助二丁目905番3 陶製 1点 鎌倉時代 13世紀 鎌倉市教育委員会
5-5-3 写経石(山王堂東谷やぐら群出土) 石 18点 鎌倉時代 13世紀 神奈川県教育委員会
5-5-4 地鎮埋納物(光明寺境内遺跡出土) 木製他 一括 室町時代 15世紀 鎌倉市教育委員会
5-5-5 五輪塔(山王堂東谷やぐら群出土) 石製 1組 鎌倉時代 13世紀 神奈川県教育委員会
5-5-6 灰釉四耳壺(山王堂東谷やぐら群出土) 陶製 1点 鎌倉時代 13世紀 神奈川県教育委員会
5-5-7 仏花瓶(山王堂東谷やぐら群出土) 陶製 1点 鎌倉時代 13世紀 神奈川県教育委員会
5-6 板五輪塔(鶴岡八幡宮境内鎌倉国宝館収蔵庫用地出土) 木製 1点 平安時代 12世紀 鎌倉市教育委員会
5-7 碑伝形塔婆(鶴岡八幡宮境内鎌倉国宝館収蔵庫用地出土) 木製 1点 平安時代 12世紀 鎌倉市教育委員会
5-8-1 板碑(由比ヶ浜南遺跡出土) 石製 1点 鎌倉時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-8-2 板碑(松葉ヶ谷奥やぐら群出土) 石製 1点 鎌倉時代 14世紀 神奈川県教育委員会
5-9 柿経(仏法寺跡出土) 木製 一括 鎌倉時代 13世紀 鎌倉市教育委員会
5-10 建長寺旧境内玉雲庵出土品 鎌倉学園体育館用地 木製・漆塗 一括 鎌倉時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-11 瓦経(建長寺旧境内西来庵出土)方丈用地 陶製 4点 鎌倉時代 12世紀 鎌倉市教育委員会
5-12-1 水晶製五輪塔(円覚寺門前遺跡出土)山ノ内 1,344 番 水晶製 1点 鎌倉時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-12-2 土製五輪塔(南御門遺跡出土) 土製 1点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-12-3 銅製五輪塔(藤内定員邸跡出土)小町一丁目 309 番 5 銅製 1点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-12-4 五輪塔(松葉ヶ谷奥やぐら群出土) 石製 69点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 神奈川県教育委員会
5-12-5 五輪塔(大倉幕府北やぐら群出土) 石製 4点 鎌倉時代 13-14世紀 神奈川県教育委員会
5-12-7 五輪塔・宝篋印塔(円覚寺旧境内遺跡出土) 石製 18点 南北朝時代 14世紀 神奈川県教育委員会
5-13 木製笹塔婆(今小路西遺跡)御成町 171 番 1 木製 5点 鎌倉時代 13-14世紀 鎌倉市教育委員会
5-14-1 青白磁相輪(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目 106 番1 磁製 1点 鎌倉時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-14-2 堂宇形瓦質ミニチュア(材木座町屋遺跡) 陶製 1点 鎌倉時代 13世紀 博通
5-15 銅製懸仏(名越やぐら出土) 銅製 1点 詳細不明 ― 鎌倉市教育委員会
5-16-1 仏花瓶(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡出土)第5地点(鳥かつ用地) 陶製 1点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-2 仏花瓶(若宮大路周辺遺跡群出土)御成町 872 番1 陶製 1点 南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-3 仏花瓶(長谷小路南遺跡出土)由比ヶ浜三丁目 202 番2 陶製 1点 鎌倉～南北朝時代 13-14世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-4 仏花瓶(若宮大路周辺遺跡群)御成町 783 番 1 陶製 2点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-5 仏花瓶(無量寺跡出土)御成町39番6 陶製 1点 室町時代 15世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-6 仏花瓶(長谷小路周辺遺跡)由比ガ浜三丁目 254 番 15 等星 陶製 1点 鎌倉時代 14世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-7 仏花瓶(横小路周辺遺跡)二階堂荏柄 9 番 1 陶製 1点 室町時代 15世紀 鎌倉市教育委員会
5-16-8 仏花瓶(由比ヶ浜南遺跡出土) 陶製 1点 鎌倉～南北朝時代 14世紀 鎌倉市教育委員会

5-16-9 銅製仏花瓶(千葉地東遺跡出土)　銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　神奈川県教育委員会

5-16-10 瓦質燈明台(千葉地東遺跡出土)　陶製　1点　鎌倉～南北朝時代　13-14世紀　神奈川県教育委員会

5-16-11 仏花瓶(松葉ヶ谷奥やぐら群出土)　陶製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　神奈川県教育委員会

5-17 水晶数珠玉(若宮大路周辺遺跡群出土)小町二丁目5番8　水晶製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

5-18 銅製小碗(千葉地遺跡出土)　銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-1 木製地蔵立像(武蔵大路周辺遺跡出土)扇ガ谷二丁目382番1　木製　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-2 青白磁仏像手(千葉地遺跡出土)　磁製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-3 木製地蔵立像(若宮大路周辺遺跡群出土)雪ノ下一丁目210番　木製　1点　南北朝時代　14世紀　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-4 銅製観音立像(大倉幕府周辺遺跡群出土)雪ノ下 562番16　銅製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-5 銅製如来立像(永福寺跡)二階堂613番4　銅製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-6 銅製如来坐像(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)第5地点　銅製　1点　平安時代(制作年代)　12世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-7 木製不動明王像(北条時房・顕時邸跡出土)雪ノ下一丁目267番2、4地点　木製　1点　鎌倉時代　13世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-8 陶製像頭部(今小路西遺跡出土)御成小学校内　陶製　1点　南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

19-9 銅製観音菩薩立像(由比ヶ浜中世集団墓地遺跡)　銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-10 銅製如来立像(若宮大路周辺遺跡群出土)小町一丁目198番6　銅製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-11 仏像鋳型(若宮大路周辺遺跡群出土)御成町868番地点　陶製　1点　鎌倉時代　13-14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-12 木製地蔵菩薩立像(智岸寺跡出土)　木製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-13 木製木彫立像(覚園寺旧境内遺跡出土)二階堂会下351-2外　木製　1点　鎌倉～南北朝時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-19-14 鉛？製阿弥陀如来立像(円覚寺旧境内遺跡)　鉛製ヵ　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会

5-20 安國論寺

5-20-1 瀬戸広口壺　陶製　1点　南北朝時代　14世紀　安國論時

5-20-2 瀬戸香炉　陶製　1点　南北朝時代　14世紀　安國論寺

5-20-3 砥石　石製　1点　南北朝時代　14世紀　安國論寺

5-21 覚園寺

5-21-1 ◎　黄釉草葉文壺(開山塔納置品)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　覚園寺

5-21-2 ◎　銅五輪塔(開山塔納置品)　銅製　1点　鎌倉時代　元亨3年(1323)　覚園寺

5-21-3 ◎　水晶五輪塔・金銅蓮台(大燈塔納置品)　水晶製・金銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　覚園寺

5-21-4 ◎　褐釉双耳壺(大燈塔納置品)　陶製　1点　元時代　14世紀　覚園寺

5-21-5 ◎　黒釉壺(開山塔納置品)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　覚園寺

5-21-6 ◎　智海心慧置文(覚園寺文書のうち)　紙本墨書　1幅　鎌倉時代　嘉元4年(1306)　覚園寺

5-21-7 覚園寺境内絵図　紙本淡彩　1幅　原図は江戸時代　19世紀　覚園寺

5-21-8 五鈷杵(平等寺跡出土)　金銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉国宝館

5-21-9 □　石櫃(平等寺跡出土)　石製　1点　鎌倉時代　14世紀　覚園寺

5-22 極楽寺

5-22-1 ◎　金銅骨蔵器(忍性塔納置品・嘉元元年十一月日刻銘)　金銅製　1点　鎌倉時代　嘉元元年(1303)　極楽寺

5-22-2 ◎　銅骨蔵器(忍性塔納置品・嘉元元年十一月二十五日刻銘)　金銅製　1点　鎌倉時代　嘉元元年(1303)　極楽寺

5-22-3 ◎　銅骨蔵器(順忍塔納置品・善願上人在銘)　金銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-4 ◎　銅骨蔵器(順忍塔納置品)　金銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-5 ◎　銅製金銀鍍五輪塔(順忍塔納置品・延慶四年二月八日銘)　金銅製　1点　鎌倉時代　延慶4年(1311)　極楽寺

5-22-6 ◎　褐釉小壺(順忍塔納置品)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-7-1 灰釉刻花文壺(極楽寺旧境内奥之院出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-7-2 灰釉小瓶(極楽寺旧境内奥之院出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-7-3 灰釉有蓋壺(極楽寺旧境内奥之院出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-7-4 灰釉仏花瓶(極楽寺旧境内奥之院出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　極楽寺

5-22-8 □　極楽寺境内絵図のうち往古図　紙本彩色　1幅　江戸時代　17世紀　極楽寺

5-23 浄光明寺

5-23-1 ◎　浄光明寺敷地絵図　紙本墨書　1幅　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺

5-23-2 □　褐釉印花文瓶子(多宝寺址やぐら10号出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺

5-23-3 銅骨蔵器(覚賢塔納置品)　銅製　5点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-4 水晶玉(覚賢塔出土品)　水晶製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-5 火葬骨(覚賢塔出土品)　骨　一括　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-6 かわらけ(覚賢塔出土品)　陶製　2点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-7-1 灰釉仏花瓶　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-7-2 □　褐釉仏花瓶(多宝寺址やぐら1号出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-7-3 □　灰釉印花文合子(多宝寺址やぐら1号出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-7-4 □　銅製水滴(多宝寺址やぐら2号出土)　銅製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-7-5 □　土馬(多宝寺址やぐら2号出土)　土製　1点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-8 かわらけ(多宝寺址やぐら2号出土)　陶製　5点　鎌倉時代　14世紀　浄光明寺
5-23-9-1 灰釉四耳壺(多宝寺址やぐら19号出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会
5-23-9-2 灰釉卸し皿(多宝寺址やぐら19号出土)　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉市教育委員会
5-24 長谷寺
5-24-1 常滑三耳壺　陶製　1点　鎌倉時代　14世紀　長谷寺
5-24-2 御正体(聖観音坐像、十一面観音坐像、阿弥陀如来坐像)　金銅製　5軀　鎌倉時代　13-14世紀　長谷寺
5-24-3 墨書火葬骨(観音堂前出土)　骨　24点　鎌倉時代　13-14世紀　長谷寺
5-25 水晶舎利容器(理智光寺址出土)　水晶製　1点　鎌倉時代　14世紀　鎌倉国宝館
5-26 銅骨蔵器(西方寺址出土)　銅製　4点　鎌倉時代　14世紀　個人蔵
5-27 元弘三年銘五輪塔地輪(釈迦堂ヶ谷奥やぐら群出土)　安山岩製　1点　鎌倉時代　元弘3年(1333)　鎌倉国宝館
[第6章　鎌倉の開発と文化財保護]
6-1 沢寿郎氏旧蔵神奈川写真帳　1冊　オリジナルは幕末頃　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-1 円覚寺門前　印画紙　1点　鎌倉市中央図書館
6-2 小坂氏所蔵古写真　パネル展示　印画紙　1点　鎌倉市中央図書館
6-2-1 若宮大路　[パネル展示]　印画紙　1点　明治初年　19世紀　小坂周防
6-2-2 鎌倉駅　[パネル展示]　印画紙　1点　明治初年　19世紀　小坂周防
6-3 鎌倉市図書館所蔵古写真アルバム　1冊
6-3-1 鎌倉大仏　印画紙　1点　明治時代　19世紀　鎌倉市中央図書館
6-3-2 由比ガ浜遠景・海浜院　印画紙　1点　明治20年代　19世紀　鎌倉市中央図書館
6-3-3 長谷寺遠景　印画紙　1点　明治20年代　19世紀　鎌倉市中央図書館
6-3-4 滑川　印画紙　1点　明治20年代　19世紀　鎌倉市中央図書館
6-3-5 六地蔵　印画紙　1点　明治20年代　19世紀　鎌倉市中央図書館
6-4 鎌倉市中央図書館古写真帳　2冊
6-4-1 若宮大路　印画紙　1点　オリジナルは幕末頃　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-2 宇都宮辻子幕府跡　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-3 乱橋　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-4 和賀江ノ島　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-5 理智光寺跡　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-6 永福寺跡　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-7 大慈寺跡(十二所)　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-8 足利公方邸跡(浄妙寺)　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-4-9 勝長寿院跡　印画紙　1点　昭和8年以降　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-5 鎌倉写真帳(開発)　鎌倉市中央図書館
6-5-1 鎌倉の開発(今泉台)　印画紙　1点　日時不明　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-5-2 鎌倉の開発(地点不明)　印画紙　1点　日時不明　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-5-3 鎌倉の開発(地点不明)　印画紙　1点　日時不明　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-5-4 鎌倉の開発(釈迦堂ヶ谷)　印画紙　1点　昭和40年代　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-5-5 鎌倉の開発(御谷二十五坊跡)　印画紙　1点　昭和50年代　20世紀　鎌倉市中央図書館
6-6『国宝史蹟』『星月』　紙　6冊(部分)　現代　20世紀　個人蔵
6-7 安田三郎氏撮影写真　鎌倉市中央図書館
6-7-1 開発と造成(今泉台)　[パネル展示]　原品は印画紙　1点　昭和40年8月20日　1965　鎌倉市中央図書館
6-7-2 開発と造成(明月院奥)　[パネル展示]　原品は印画紙　1点　昭和40年11月5日　1965　鎌倉市中央図書館
6-7-3 開発と造成(地点不明)　[パネル展示]　原品は印画紙　1点　昭和40年6月29日　1965　鎌倉市中央図書館
6-7-4 開発と造成(釈迦堂ヶ谷)　[パネル展示]　原品は印画紙　3点　昭和44年5月11日　1969　鎌倉市中央図書館
6-7-5 開発と造成(ハイランド)　[パネル展示]　原品は印画

紙　1点　昭和44年5月11日　1969　鎌倉市中央図書館
6-7-6 開発と造成(七里ガ浜)［パネル展示］原品は印画紙　2点　昭和40年11月3日　1965　鎌倉市中央図書館
6-7-7 開発と造成(小坪埋立)［パネル展示］原品は印画紙　1点　昭和46年8月6日　1971　鎌倉市中央図書館
6-7-8 開発と造成(玉縄城址)［パネル展示］原品は印画紙　1点　昭和38年8月6日　1963　鎌倉市中央図書館
6-7-9 開発と造成(御谷の森)［パネル展示］原品は印画紙　1点　昭和40年10月24日　1965　鎌倉市中央図書館
6-7-10 開発と造成(御塔の窪)［パネル展示］原品は印画紙　1点　昭和40年10月22日　1965　鎌倉市中央図書館
6-8 鎌倉写真帳(航空写真Ⅰ)　鎌倉市中央図書館
6-8-1 行合川　印画紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-8-2 大仏　印画紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-8-3 浄妙寺　印画紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-8-4 和賀江島　印画紙　1点　昭和29年1954　鎌倉市中央図書館
6-8-5 滑川口　印画紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-8-6 十二所　印画紙　1点　昭和39年　1964　鎌倉市中央図書館
6-8-7 梶原　印画紙　1点　昭和39年　1964　鎌倉市中央図書館
6-8-8 名越～小坪　印画紙　1点　昭和39年1964　鎌倉市中央図書館
6-9 鎌倉写真帳(航空写真Ⅱ)　鎌倉市中央図書館
6-9-1 七里ガ浜　印画紙　1点　昭和43年　1968　鎌倉市中央図書館
6-9-2 山ノ内　印画紙　1点　昭和43年　1968　鎌倉市中央図書館
6-9-3 浄明寺～名越　印画紙　1点　昭和43年　1968　鎌倉市中央図書館
6-10 鎌倉市都市計画図(昭和29年)　鎌倉市中央図書館
6-10-1 深沢・大船　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-2 深沢・大船　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-3 由比ヶ浜　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-4 七里ヶ浜　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-5 源氏山　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-6 浄明寺　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館
6-10-7 浄明寺　［パネル展示］　紙　1点　昭和29年　1954　鎌倉市中央図書館

エ　「観光地鎌倉と鎌倉彫　ー近代鎌倉のガイドブックー」

会　期：平成25年2月16日(土)～3月24日(日)
主　催：神奈川県立歴史博物館
後　援：鎌倉市教育委員会、鎌倉世界遺産登録推進協議会、伝統鎌倉彫事業協同組合、鎌倉彫協同組合、鎌倉彫資料館、神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK 横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)
展示資料件数：255件
入場者数：8,081名(有料2,758名、無料4,553名)
担　当：学芸部長　寺嵜弘康、学芸員　小井川 理
概　要：　鎌倉は年間約1,900万人が訪れる神奈川県を代表する観光地のひとつである。明治20年代、鉄道が開通したことにより行楽地へと変貌し始め、明治時代後半からは、華族や政財界の名士たちの別荘が立ち並ぶ保養地ともなり、そこへ旅館、飲食店、土産物店などが集まり、大正時代頃から観光地へと発展した。そして文士や画家が活動拠点を同地に設けたことで文化的にも成熟し、今日的な鎌倉イメージがつくられていく。
　展示では、観光地鎌倉が形成されていく様子を、観光案内図や土産物、写真、当時の文化的な香りを伝える絵画や工芸品から振り返った。さらに、鎌倉を代表する工芸品である鎌倉彫を紹介した。鎌倉彫は、明治維新を契機に仏師が高い技術を活かして再興された。その発展に貢献した後藤流、三橋流の名品や初公開作品などもあわせ、約250点の資料や作品によって、近代鎌倉のあゆみと、そこを舞台に花開いた近代工芸の魅力を紹介した。

○特別展関連行事

①記念講演会(無料、ただし特別展観覧券が必要)
日　時:3 月 2 日(土) 14:00～16:00
演　題:「近代鎌倉彫と父俊太郎」
講　師:博古堂当主　後藤 圭子 氏
応募者:148 名
受講者:84 名

②県博講座Ⅳ(無料、ただし特別展観覧券が必要)
・全体テーマ:「近代鎌倉と工芸」(応募者 57 名)
・第 1 回「観光地鎌倉の形成」
日　時:2 月 17 日(日) 14:00～16:00
講　師:学芸部長　寺嵜 弘康
受講者:40 名
・第 2 回「鎌倉と芸術家」
日　時:2 月 24 日(日) 14:00～16:00
講　師:学芸員　角田 拓朗
受講者:43 名
・第 3 回「中近世の鎌倉彫」
日　時:3 月 3 日(日) 14:00～16:00
講　師:館長　薄井 和男
受講者:38 名
・第 4 回「鎌倉彫の近代」
日　時:3 月 10 日(日) 14:00～16:00
講　師:学芸員　小井川 理
受講者:40 名
・第 5 回 現地見学会「早春の鎌倉　美術工芸めぐり」
日　時:3 月 17 日(日)13:00～16:00
見学地:神奈川県立近代美術館鎌倉館、鎌倉彫資料館、鎌倉市鏑木清方記念美術館
受講者:27 名

③ワークショップ「鎌倉彫体験」
日　時:3 月 20 日(水・祝) 午前の部 10:00～12:00、午後の部 14:00～16:00
講　師:鎌倉彫教授会
応募者:28 名(午前の部 16 名、午後の部 12 名)
参加者:26 名(午前の部 15 名、午後の部 11 名)

④学芸員による展示解説
・第 1 回
日　時:2 月 23 日(土) 13:30～
講　師:学芸部長　寺嵜弘康
参加者:46 名
・第 2 回
日　時:3 月 9 日(土) 13:30～
講　師:学芸員　小井川理
参加者:35 名
・第 3 回
日　時:3 月 16 日(日) 13:30～
講　師:非常勤学芸員　武田周一郎
参加者:31 名

○出品目録

（凡例） No.、資料名、作者名、制作年代、技法・材質、所蔵等

1 横浜周辺外国人遊歩区域図　アルバート・ホーズ　慶応3(1867)年頃　神奈川県立歴史博物館

2 外国人遊歩区域の境界を示す高札　神奈川県　江戸時代明治初年　横浜開港資料館

3 THE DAIBOODH, OR COLOSSAL BRONZE IMAGE OF A BUDDHIST IDOL, IN THE TEMPLE OF KAMAKURA, JAPAN　『THE ILLUSTLATED LONDON NEWS』　1865年2月25日　神奈川県立歴史博物館

4 鎌倉大仏　「幕末風景写真帳」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

5 鎌倉大仏　「VIEWS IN JAPAN」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

6 鶴岡八幡宮　「VIEWS IN JAPAN」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

7 鎌倉事件の現場　「PHOTOGRAPHIC VIEWS」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

8 EXECUTION OF TWO OF THE MURDERERS OF THE BRITISH OFFICERS IN JAPAN　『THE ILLUSTLATED LONDON NEWS』　1865年2月25日　神奈川県立歴史博物館

9 THE EXECUTION OF SHIMADZU SEIJI　『THE ILLUSTLATED LONDON NEWS』　1865年3月18日　神奈川県立歴史博物館

10 鶴岡八幡宮神楽殿と輪蔵　「PHOTOGRAPHIC VIEWS」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

11 鶴岡八幡宮輪蔵の撤去跡　「オール氏旧蔵写真帳」　明治3(1870)年　横浜開港資料館

12 鶴岡八幡宮の大塔　「PHOTOGRAPHIC VIEWS」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

13 解体中の鶴岡八幡宮大塔　「幕末風景写真帳」　ベアト　明治3(1870)年　横浜開港資料館

14 解体中の鶴岡八幡宮大塔　『FAR EAST』1巻2号　明治3(1870)年　横浜開港資料館

15 本殿から見た神楽殿と新造の華表　『FAR EAST』2巻7号　明治4(1871)年　横浜開港資料館

16 鶴岡八幡宮境内図　箱嵜博尹・大澤錦二　明治4(1871)年5月　鶴岡八幡宮

17 鶴岡八幡宮境内真景　泉泌　明治15(1882)年5月15日　神奈川県立歴史博物館

18 鎌倉鶴岡八幡宮境内全図　青山豊太郎　明治32(1899)年　神奈川県立歴史博物館

19 鎌倉鶴岡八幡宮三の鳥居　「横浜写真アルバム」　明治時代　神奈川県立歴史博物館

20 鎌倉懐古展覧会目録　多田栄次　明治26(1893)年9月17日　神奈川県立図書館

21 国幣中社鶴岡八幡宮宝物目録　国幣中社鶴岡八幡宮社務所　大正12(1923)年2月15日　個人

22 神奈川県鎌倉郡長谷大仏殿大異山清浄泉寺高徳院全図　青山豊太郎　明治26(1893)年4月　神奈川県立歴史博物館

23 鎌倉長谷観世音境内全図　明治28(1895)年8月　神奈川県立歴史博物館

24 長谷観音の参道　「日本風俗写真帳」　ベアト　幕末　横浜開港資料館

25 古写真　開業間もない鎌倉駅　明治22(1889)年頃　鎌倉市中央図書館

26 鎌倉旅行唱歌　谷口千波　明治34(1901)年1月　神奈川県立図書館

27 東海道唱歌汽車　大和田建樹作詞、田村虎蔵作曲　明治42(1909)年3月25日　鎌倉市中央図書館

28 江之島鎌倉遊歩雙語六　三宅半四郎　明治36(1903)年11月8日　神奈川県立金沢文庫

29 新橋国府津間附横須賀線汽車時刻表　江之島電気鉄道　明治44(1911)年5月1日　神奈川県立図書館

30 鎌倉駅発旅客列車時刻表　三栄堂　大正12(1923)年7月　鎌倉市中央図書館

31 大船軒駅弁掛紙　大船軒　昭和4(1929)年12月9日　個人

32 一日の旅　鎌倉　座田司氏　昭和18(1943)年12月18日　神奈川県立歴史博物館

33 海浜院創立ノ趣意書　明治20(1887)年7月　鎌倉市中央図書館

34 由比浜随遊私記　山岡謙介　明治20(1887)年　鎌倉市中央図書館

35 小原牧場牛乳瓶　昭和戦前期　鎌倉市中央図書館

36 A Handbook for Travellers in Central & Northern Japan　アーネスト・サトウ、アルバート・ホーズ　明治14(1881)年　横浜開港資料館

37 Tourists Guide and Interpreter with General Information for Travellers Japan　富田源太郎　明治24(1891)年6月13日　横浜開港資料館

38 海浜院ホテル英文広告　『Tourists Guide and Interpreter with General Information for Travellers in Japan』　明治24(1891)年6月13日　横浜開港資料館

39 鎌倉海浜ホテル英文案内　鎌倉海浜ホテル　神奈川県立図書館

40 鎌倉海浜ホテル英文案内　鎌倉海浜ホテル　鎌倉市中央図書館

41 鎌倉海浜ホテル案内　鎌倉海浜ホテル　神奈川県立図書館

42 鎌倉大仏ステレオ写真　明治39(1906)年頃　神奈川県立歴史博物館

43 大仏　「Japan and its people」　明治時代後期　神奈川県立歴史博物館

44 ピーターソン一家の鎌倉大仏前の記念写真　明治33(1900)年頃　横浜開港資料館

45 大仏前のピーターソン一家　明治時代後期　横浜開港資料館

46 現在の鎌倉　大橋良平　明治45(1912)年7月15日　鎌倉市立中央図書館
47 菊池武夫日記　菊池武夫　明治32(1899)年8月　個人(中央大学寄託)
48 菊池武夫肖像写真　『菊池先生伝』　新井要太郎　昭和13(1938)年6月10日　個人
49 従武夫之書翰　菊池武夫　明治7(1874)年8月15日　個人
50 菊池香一郎家鎌倉写真アルバム　大正時代　個人
51 別荘での菊池香一郎一家　大正8(1919)年頃　個人
52 避暑先での記念写真　大正13(1924)年頃　個人
53 菊池香一郎日記　菊池香一郎　大正10(1921)年　個人
54 哀悼　詩人昇天　中村彝　大正11(1922)年　個人
55 『菊池香一郎詩集』口絵　哀悼　詩人昇天　昭和3(1928)年4月4日　個人
56 鎌倉大震災絵巻　藤原草丘　昭和2(1927)年　鎌倉国宝館
57 大正鎌倉大震災写生図　大橋康邦　大正12(1923)年頃　鎌倉国宝館
58 飯沢天羊「鎌倉・横須賀の惨状視察記」　『主婦の友』　7巻10号　主婦の友社　大正12(1923)年10月1日　個人
59 『鎌倉震災誌』　鎌倉町　昭和5(1930)年12月　神奈川県立歴史博物館
60 神奈川県建長寺国宝修繕図解　美術院　大正14(1925)年3月　個人
61 『鎌倉社寺めぐり』　鎌倉同人会　大正15(1926)年7月10日　神奈川県立金沢文庫
62 於相州鎌倉長谷割烹旅館三橋與八楼上望由井浜海水浴場洲周延　明治18-19(1885-86)年　恵比寿屋
63 三橋與八荷物札　明治時代　鎌倉市中央図書館
64 広告　旅舎三橋與八　『地理歴史教育鎌倉郡名所旧蹟誌』明治33(1900)年　個人
65 『鎌倉と三越』　日比翁助　大正11(1922)年10月15日　神奈川県立金沢文庫
66 鎌倉へ　昭和初頭　鎌倉市中央図書館
67 絵葉書　鎌倉名所由比ヶ浜海岸　明治40年代　神奈川県立歴史博物館
68 絵葉書　鶴岡八幡宮　明治40(1907)年7月26日　個人
69 鎌倉旅行写真　昭和5(1930)年4月　個人
70 京浜修学旅行日記　竹本千代　明治44(1911)年10月　横浜市中央図書館
71 山形第二高等女学校修学旅行記念アルバム　山形第二高等女学校　昭和14(1939)年　個人
72 鎌倉商家案内寿語六　明治41(1908)年1月1日　鎌倉市中央図書館
73 鎌倉周辺商店繁昌双六　昭和初頭　個人
74-1 邦栄堂店舗写真　大正時代末　邦栄堂
74-2 邦栄堂店舗写真　昭和4(1929)年11月　邦栄堂
75 土産物クッション写真　昭和9(1934)年頃　邦栄堂
76 木彫鎌倉大仏　昭和時代　個人
77 鎌倉江乃島写真帖　田村印刷所　明治36(1903)年10月　神奈川県立図書館
78 写真帖　鎌倉史蹟　中川淳橘　大正3(1914)年頃　個人
79 絵葉書　鎌倉土産　明治40(1907)年頃　個人
80 鎌倉名所絵はかき　鶴林堂　個人
81 鎌倉焼宣伝札　鎌倉市中央図書館
82 鎌倉焼茶器（急須、皿、碗）　鎌倉市中央図書館
83 鳩サブレ一抜型　豊島屋
84 鳩サブレ一缶　昭和16(1941)年以前　豊島屋
85 天下の名勝鎌倉見物　稲田吾山　昭和12(1937)年5月30日　神奈川県立金沢文庫、個人
86 鎌倉案内　相良国太郎　明治21(1888)年3月24日　神奈川県立図書館
87 鎌倉江島名所案内　相良国太郎　明治15(1882)年5月22日　神奈川県立歴史博物館
88 鎌倉江島案内　相良国太郎　明治31(1898)年11月23日　神奈川県立金沢文庫
89 鎌倉江之島案内図　相良国太郎　明治15(1882)年5月　神奈川県立金沢文庫
90 鎌倉江嶋一覧　相良国太郎　明治20(1887)年3月30日　神奈川県立金沢文庫
91 鎌倉江島一覧図　相良国太郎　明治22(1889)年5月25日　神奈川県立歴史博物館
92 相模国鎌倉名所及江之嶋全図　青山豊太郎　明治29(1896)年8月19日　神奈川県立歴史博物館
93 鎌倉江島名所旧蹟全図　相良国太郎　明治25(1892)年4月11日　神奈川県立図書館
94 鎌倉名所旧蹟全図　相良国太郎　明治34(1901)年6月28日　神奈川県立歴史博物館
95 永野茂八坐像　三橋鎌山　明治31(1898)年頃　個人
96 江の島鎌倉名勝巡覧　寿老仙人　明治16(1883)年　神奈川県立金沢文庫
97 鎌倉江島金澤名所之柴折　川上安次郎　大正3(1914)年　神奈川県立図書館
98 鎌倉総図江島金沢遠景　吉田治右衛門　明治23(1890)年1月22日　神奈川県立歴史博物館
99 日本名所図絵　上田文齋　明治23(1890)年4月23日　神奈川県立歴史博物館
100 鎌倉実測図　犬山初蔵、香山新之助　明治28(1895)年7月28日　神奈川県立歴史博物館
101 鎌倉遊覧実測地図　田村茂太郎　明治35(1902)年5月10日　神奈川県立歴史博物館
102 鎌倉江嶋遊覧実測図　通友社　明治42(1909)年3月15日神奈川県立歴史博物館
103 最新かまくら案内　藤村與六　明治40(1907)年12月5日神奈川県立金沢文庫
104 鎌倉江の島案内　石川天崖　大正3(1914)年9月1日　神奈川県立図書館
105 鎌倉遊覧名所全図　川上安次郎　明治44(1911)年4月　神奈川県立図書館
106 鎌倉江の島名所案内　鎌倉町役場　昭和7(1932)年6月

神奈川県立図書館
107 鎌倉江の島名所案内　後藤邦栄堂　昭和16(1941)年8月　神奈川県立図書館
108 神奈川県鳥瞰図　吉田初三郎　昭和 7(1932)年　神奈川県立歴史博物館
109 鶴岡八幡宮境内図（複製）　享保17(1732)年　神奈川県立歴史博物館（原品：鶴岡八幡宮）
110 旅館広告　『地理歴史教育鎌倉郡名所旧蹟誌』　明治33(1900)年　個人
111 宮城県第一高等女学校修学旅行案内　宮城県第一高等女学校　昭和12(1937)年5月　個人
112『史蹟の鎌倉』 鎌倉町観光課　昭和13(1938)年9月　神奈川県立金沢文庫
113 鎌倉江之島名所図絵　吉田初三郎　大正12(1923)年1月10日　横浜市立中央図書館
114 鎌倉江之島名所案内図絵　吉田初三郎　大正 6(1917)年　個人
115 江ノ島鎌倉遊覧案内　鎌倉江之島遊覧バス　個人
116 鶴岡八幡宮　「VIEWS IN JAPAN」　ベアト　幕末　横浜開港資料館
117 邦栄堂江ノ電待合所売店　大正14(1925)年　邦栄堂
118 邦栄堂店舗写真　大正14(1925)年　邦栄堂
119 信楽灰釉大壺　北大路魯山人　昭和32(1957)年　神奈川県立近代美術館
120 水盤（白瓷盤）　北大路魯山人　制作年不詳　神奈川県立近代美術館
121 水盤（信楽大平鉢）　北大路魯山人　制作年不詳　神奈川県立近代美術館
122 備前銀刷毛目小皿　北大路魯山人　昭和 19(1944)年頃　神奈川県立近代美術館
123 『星岡』　24号ほか　北大路魯山人　昭和7(1932)年ほか　神奈川県立図書館
124 住居居留届　大佛次郎　大正10(1921)年　大佛次郎記念館
125 O氏の像　後藤俊太郎　昭和30(1955)年　大佛次郎記念館(原品：鎌倉文学館)
126 江ノ島図　五姓田義松　明治29(1896)年　大佛次郎記念館
130 赤い帽子　有島生馬　昭和4(1929)年　神奈川県立近代美術館
131 静物(びん・白布)　中川一政　大正10(1921)年　神奈川県立近代美術館
132 潤筆料受領　五姓田義松　神奈川県立歴史博物館
133「長谷の家」原稿(複製)　大佛次郎記念館(原品：鎌倉文学館)
134 大佛次郎『幕末秘史　鞍馬天狗』　大正15(1926)年　大佛次郎記念館
135 雑誌『苦楽』創刊号　表紙：鏑木清方　昭和21(1946)年　大佛次郎記念館
136 中村彝追悼号『木星』　2巻2号　大正14(1925)年　神奈川県立歴史博物館
137 『白樺』関係資料　神奈川県立歴史博物館
138 『フュウザン』関係資料　神奈川県立歴史博物館
139 『第八回二科展出品目録』　大正10(1921)年　神奈川県立歴史博物館
140 『岸田劉生遺作展覧会諸家追悼文集』　昭和 5(1930)年　神奈川県立歴史博物館
141 『有島先生素描頒布会々規』　昭和 4(1929)年　神奈川県立歴史博物館
142 『春陽会』関係資料　大正 2(1913)年　神奈川県立歴史博物館
143 『魯山人陶磁器展観』　昭和 3(1928)年　神奈川県立図書館
144 恵比須・大黒天立像　後藤真慶・宗運　天保11(1840)年　個人
145 観音菩薩半跏(遊戯坐)像　後藤慶廣　明治時代　個人
146 観音菩薩半跏(遊戯坐)像　後藤斎宮　明治時代　個人
147 出山釈迦立像　後藤斎宮　明治時代　個人
148 大黒天立像　後藤斎宮　明治時代　個人
149 十二神将立像　申　後藤斎宮　明治時代　個人
150 閻魔王坐像　後藤運久　明治23(1890)年　個人
151 翁面　後藤運久　明治時代　個人
152 龍神立像　後藤運久　明治37(1904)年　個人
153 仁王立像工程見本　後藤久慶　明治時代　個人
154 北条家伝馬手形　戦国時代　個人
155 後藤斎宮工場看板　明治時代前期　個人
156 明治十年内国勧業博覧会褒状　明治10(1877)年11月20日　個人
157 明治十年内国勧業博覧会褒章薦告　明治 10(1877)年 11月20日　個人
158 第三回内国勧業博覧会褒状　明治23(1890)年7月11日　個人
159 西遊所録　後藤運久　明治25(1892)年　個人
160 五百羅漢画像抜粋　後藤運久　明治30 (1897) 年　個人
161 TOURIST　昭和15(1940)年　個人
162 売上帳　明治26(1893)年　個人
163 註文帳　明治34(1901)年　個人
164 稲荷明神立像　三橋永助堯運　江戸時代後期　個人
165 観音菩薩半跏(遊戯坐)像　三橋鎌山　慶応 3(1867)年　個人
166 鬼神立像　三橋鎌山　明治28(1895)年　個人
167 パイプボウル 洋犬頭部の像　三橋鎌山　明治時代　個人
168 不動明王立像　大石鎌霊　明治時代　個人
169 相模国鎌倉郡鎌倉名所及江之島全図　畳紙　青山豊太郎　明治29(1896)年　神奈川県立歴史博物館
170 獅子文香合　室町～桃山時代　神奈川県立歴史博物館
171 菊文小箱　後藤斎宮　明治時代　個人
172 牡丹文手箱　後藤斎宮　明治時代　個人
173 蓮華文碁笥　後藤斎宮　明治23(1890)年　個人

174 一百年間保証券　明治23(1890)年8月　個人
175 菊花文硯箱　後藤斎宮　明治時代　個人
176 鳳凰文肉池　後藤斎宮　明治時代　個人
177 鳳凰文木瓜盆　後藤斎宮　明治時代　個人
178 鳳凰文手刳盆　後藤斎宮　明治時代　個人
179 鳳凰天竺牡丹文方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
180 蝶牡丹文長方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
181 獅子牡丹唐草文長方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
182 獅子菊牡丹文長方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
183 菊牡丹文長方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
184 蓬莱山図長方盆　後藤斎宮　明治時代　個人
185 古代面長方盆(還城楽)　後藤斎宮　明治時代　個人
186 古代面長方盆(二ノ舞)　後藤斎宮　明治時代　個人
187 迦楼羅王面(陵王面)香合　後藤斎宮　明治時代　個人
188 菊牡丹文菓子器 後藤斎宮 明治時代 個人
189 双蝶文菱形小盆　後藤斎宮　明治時代　個人
190 柿文手刳小盆　後藤斎宮　明治時代　個人
191 牡丹文茶托　後藤斎宮　明治時代　個人
192 唐獅子文小箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
193 迦楼羅王面小箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
194 古鏡文小箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
195 桐文小箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
196 雲龍図硯箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
197 鬼神図硯箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
198 秋草図硯箱　後藤運久　明治～大正時代　個人
199 蓮華文供物皿　後藤運久　明治～大正時代　個人
200 牡丹文方盆　後藤運久　明治～大正時代　個人
201 双蝶文菱形盆　後藤運久　明治～大正時代　個人
202 蝙蝠文菱形盆　後藤運久　明治～大正時代　個人
203 柿文金剛盤形盆　後藤運久　明治時代　個人
204 菊花形盛器　後藤運久　明治～大正時代　個人
205 古瓦文茶托・銘々皿　後藤運久　明治～大正時代　個人
206 小野道風図長方盆　後藤鋤慶　明治～大正時代　個人
207 宝相華文香合　後藤久慶　明治～大正時代　個人
208 龍人物図手刳盆　後藤弘慶　明治～大正時代　個人
209 椿文手刳箱　後藤俊太郎　昭和時代　個人
210 椿図飾額　後藤俊太郎　昭和63(1988)年　個人
211 牡丹文鉢　後藤俊太郎　昭和時代　個人
212 刀波文長方盆　後藤俊太郎　昭和時代　個人
213 建長寺須弥壇・円覚寺前机複製〈パネル〉　後藤俊太郎　昭和41(1966)年　神奈川県立歴史博物館
214 有栖川菊文小箱　三橋鎌山　明治30(1897)年頃　個人
215 鳳凰文硯箱　三橋鎌山　明治時代後期　個人
216 魚網文皿　三橋鎌山　明治時代前期　個人
217 蓮文深手盆　三橋鎌山　明治45(1912)年　個人
218 牡丹香合　三橋鎌山　明治時代　個人
219 蝶平棗　三橋鎌山　明治時代　個人
220 蜻蛉文煙草盆　三橋鎌山　明治時代　個人
221 前机〈パネル〉　三橋鎌岳　大正時代　曹洞宗大本山總持寺
222 菊唐草文軸盆　三橋鎌岳　大正時代　個人
223 菊文棗　三橋了和　大正～昭和時代　個人
224 四君子文茶入　三橋了和　大正～昭和時代　個人
225 金林寺梅花文茶入　三橋了和　大正～昭和時代　個人
226 竹文雪吹　三橋了和　大正～昭和時代　個人
227 鱗鶴文雪吹　三橋了和　大正～昭和時代　個人
228 千段巻茶入　三橋了和　大正～昭和時代　個人
229 すすき文団栗形茶入(香合)　三橋鎌岳　大正～昭和時代　個人
230 鶴巣籠香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
231 日ノ出松香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
232 義経香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
233 桃花図菱形香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
234 あやめ香合(八橋香合)　三橋了和　大正～昭和時代　個人
235 梶ノ葉香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
236 ぐみ香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
237 梅花文結形香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
238 色絵柿香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
239 蜻蛉文香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
240 立瓜香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
241 菊蟹香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
242 栗香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
243 鶉香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
244 松笠香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
245 笠香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
246 兜香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
247 独鈷香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
248 菊花香合　三橋了和　大正～昭和時代　個人
249 若松文天目台　三橋了和　大正～昭和時代　個人
250 独楽形干菓子器　三橋了和　大正～昭和時代　個人
251 堆鳥手桶形水指　三橋了和　大正～昭和時代　個人
252 菊文盆　大石鎌霊　大正～昭和時代　個人
253 菊花文高杯形菓子器　三橋央鎌山　昭和時代　鎌倉彫資料館
254 炎飾盆　三橋央鎌山　昭和35(1960)年頃　鎌倉彫資料館
255 茶子図文庫　三橋央鎌山　昭和20(1945)年頃　鎌倉彫資料館

(3)　コレクション展

1階フリーゾーンにあるコレクション展示室において、常設展示では紹介しきれない館のコレクションの一部を、2～3ヶ月ごとに展示している。観覧料無料。

「ＫＥＮ(けん)・ＰＡＫＵ(ぱく)（県博）発掘クロニクル －神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡－」

○会　期：平成 24 年 12 月 15 日(土)～平成 25 年 2 月 7 日(木)
○展示資料点数：557 点
○解説(ハンドアウト)配布数：1,840 枚
○担　当：学芸部(考古担当)　近野 正幸
○概　要：　神奈川県立歴史博物館(県博)の前身である県立博物館では、地域研究のための基礎資料収集の一環という学術目的のもと、開館当初より県内各地で約 20 年間近くにわたり、発掘調査を行ってきた。また、調査の成果は「県立博物館発掘調査報告書」として刊行され、中には三浦市間口洞窟遺跡のように、重要な成果を挙げたものもある（出土品の一部は、平成 13 年に神奈川県指定重要文化財に指定されている）。本展示では、発掘調査のあらまし、調査遺跡の今日的な評価を、出土品や記録類を含め、紹介した。

○コレクション展関連行事
①県博講座Ⅲ（無料、ただし常設展観覧券が必要）
・全体テーマ：「かながわ発掘物語」（応募者 70 名）
・第 1 回　1 月 13 日(日)(受講者 60 名)
「考古学は横浜から始まった」 神奈川県考古学会会長　岡本 孝之 氏
・第 2 回　1 月 20 日(日)(受講者 48 名)
「三浦半島発掘物語 －赤星直忠と周辺の人々－」 横須賀市教育委員会主任　野内 秀明 氏
・第 3 回　1 月 26 日(土)(受講者 43 名)
「神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡」 (公財)かながわ考古学財団理事　川口 徳治朗 氏

②展示解説
・第 1 回
日　時：12 月 23 日(日)　14:00～
講　師：学芸部(考古担当)　近野 正幸
参加者：18 名
・第 2 回
日　時：1 月 12 日(土)　14：00～
講　師：学芸部(考古担当)　近野 正幸
参加者：20 名
・第 3 回
日　時：1 月 27 日(日)　14:00～
講　師：学芸部(考古担当)　近野 正幸
参加者：23 名

○出品目録
（凡例）No.、資料名、点数、時代

1 梶山遺跡出土品　78 点　縄文時代前・中期、弥生時代中・後期、古墳時代
2 梶山遺跡出土品(参考資料)　52 点　縄文時代前・中期、弥生時代中・後期、古墳時代
3 後谷原北横穴墓群出土品　10 点　古墳時代後期(終末期)
4 左藤内遺跡出土品　45 点　縄文時代中期、弥生時代後期、古墳時代後期
5 小糸遺跡出土品　40 点　弥生時代後期、古墳時代前・中期
6 間口洞窟遺跡出土品　121 点　弥生時代中・後期、古墳時代
7 上台遺跡出土品　60 点　縄文時代早・前期、弥生時代後期
8 紅取遺跡出土品　70 点　縄文時代早～中期
9 師岡遺跡出土品　81 点　縄文時代前・中期
10 発掘調査計画書、調査日誌、遺物台帳、野帳　一式
11 発掘調査報告書　一式
12 発掘調査記録図面　一式
13 発掘調査に使用した道具類　一式

(4) その他の展示

ア　特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」

○会　期：平成24年9月1日(土)～9月28日(金)
○会　場：神奈川県立歴史博物館　特別展示室
○主　催：神奈川県立歴史博物館
○協力：臨済宗大本山建長寺、臨済宗大本山円覚寺、公益財団法人禅文化研究所、臨済宗妙心寺派東京禅センター
○後援：神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞社横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞社横浜支局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)
○展示資料件数：48件
○入場者数：6,835名(有料3,357名、無料3,478名)
○担　当：学芸員　梅沢 恵
○概　要：　夢窓疎石（1275～1351）は、禅宗寺院の作庭でよく知られるが、鎌倉幕府が滅び、新政権が京都に樹立される激動の時代に、大寺院の住持に請じられ、天龍寺など諸寺院の開山となった人物である。鎌倉と夢窓の関わりとしては、修業時代に元から来朝した建長寺の一山一寧に参禅しており、また、のちに法を嗣いだ高峰顕日とはじめて対面したのも鎌倉の地であった。さらに鎌倉幕府執権北条高時の母、覚海尼の要請を断りきれず、土佐から鎌倉に戻ったのち瑞泉寺を創建している。瑞泉寺背後の錦屏山の山頂に「徧界一覧亭」築き、中国僧らがここに訪れて詩を作っており「五山文学発祥の地」といわれるように一種の文化サロン的な場であった。

本展では鎌倉の禅宗文化に大きな影響をあたえた夢窓疎石をとおし、鎌倉と京都の交流、大陸文化の移入、為政者と宗教者との関わりなどを考えるため、初公開となる頂相をはじめ、夢窓疎石ゆかりの寺院に伝わる約50点の文化財を展示した。光明寺（相模原市）の開山像として伝わる夢窓疎石像（神奈川県指定文化財）は中国・元時代の月江正印の賛が記されている。本図は頂相（ちんそう）と呼ばれる禅宗特有の肖像画の機能や日中の人の交流を物語る貴重な文化財である。これまで光明寺で毎年行われる開山忌以外で公開されることはなかったが、修理の完了を記念して、本展で初公開した。また、この機会に当館所蔵の禅宗関係資料を8件あわせて紹介した。

なお、広報等で、臨済宗大本山建長寺、臨済宗大本山円覚寺、公益財団法人禅文化研究所、臨済宗妙心寺派東京禅センターの特別協力を得た。

○特別陳列関連行事
県博講座Ⅰ(無料、ただし常設展観覧券が必要)
・全体テーマ「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」(応募者204名)
・第1回　9月8日(土)(受講者70名)
「鎌倉周辺における夢窓疎石 ー支えた人々と寺庵のその後」東京大学史料編纂所 教授　山家 浩樹 氏
・第2回　9月15日(土)（受講者77名）
「夢窓国師の禅風」臨済宗大本山円覚寺 管長　横田 南嶺 氏
・第3回　9月22日(土)（受講者62名）
「夢窓疎石と京都の禅宗文化」禅文化研究所 職員・花園大学大学院 講師　西山 美香 氏

○学芸員による展示解説
・第1回
日　時：9月2日(日) 13:30～
講　師：学芸員　梅沢 恵
参加者：33名
・第2回

日　時：9月16日(日) 13:30～
講　師：学芸員　梅沢 恵
参加者：65名

○出品目録
（凡例） No.、指定、資料名、制作年代、所蔵等

1 重要文化財　夢窓疎石坐像　南北朝時代　瑞泉寺(鎌倉市)
2 重要文化財　夢窓疎石像　南北朝時代　暦応3年(1340)賛　天龍寺(京都市)
3 重要文化財　無等周位筆　夢窓疎石像　南北朝時代　妙智院(京都市)
4 夢窓疎石像　南北朝時代　観応2年(1351)賛　慈済院(京都市)
5 無極志玄像　南北朝時代　延文4年(1359)賛　慈済院(京都市)
6 重要文化財　一山一寧書下　鎌倉時代　乾元2年(1303)　円覚寺(鎌倉市)
7 仏国国師語録　江戸時代　神奈川県立図書館
8 普濟國師年譜　江戸時代　神奈川県立図書館
9 普濟國師語録　江戸時代　神奈川県立図書館
10 夢窓国師謌集　江戸時代　神奈川県立図書館
11 重要文化財　夢中問答集　南北朝時代　称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)
12 夢窓国師法語　江戸時代　神奈川県立図書館
13 夢窓国師法語並詠歌　江戸時代　神奈川県立図書館
14 重要文化財　禅宗法語　南北朝時代　称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)
15 千葉県指定文化財　二十五条袈裟(夢窓疎石料)　室町時代　太高寺(千葉県いすみ市)
16 夢窓疎石書状　南北朝時代　建武5年(1338)　瑞泉寺(鎌倉市)
17 偏界一覧亭記写　江戸時代　瑞泉寺(鎌倉市)
18 鴻井勝軼著　錦屏山瑞泉寺一覧亭図並記　江戸時代　寛政8年(1796)　神奈川県立図書館
19 重要文化財　金沢貞顕書状(金文三七七)　鎌倉時代　称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)
20 重要文化財　金沢貞顕書状(金文四二八)　鎌倉時代　元徳2年(1330)　称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)
21 重要文化財　氏名未詳書状(金文三六八八)　鎌倉時代　称名寺(神奈川県立金沢文庫保管)
22 重要文化財　後醍醐天皇綸旨　鎌倉時代　元弘3年(1333)　円覚寺(鎌倉市)
23 鹿山略記　江戸時代　瑞泉寺(鎌倉市)
24 鹿山略志　江戸時代　瑞泉寺(鎌倉市)
25 重要文化財　九条袈裟(夢窓疎石料)　南宋～元時代　円覚寺(鎌倉市)
26 重要文化財　玳瑁張八角環　南宋～明時代　円覚寺(鎌倉市)
27 重要文化財　夢窓疎石像　南北朝時代　黄梅院(鎌倉市)
28 重要文化財　華厳塔図　南北朝時代　観応元年(1350)　黄梅院(鎌倉市)
29 重要文化財　黄梅院華厳塔勧縁疏　南北朝時代 至徳4年(1387)　黄梅院(鎌倉市)
30 重要文化財　三会院遺誡写・夢窓疎石遺誡写　室町時代 永徳3年(1383)　黄梅院(鎌倉市)
31 重要文化財　黄梅院境内図　室町時代　応永30年(1423)　黄梅院(鎌倉市)
32 神奈川県指定文化財　夢窓疎石像　南北朝時代　光明寺(相模原市)
33 地蔵菩薩坐像　南北朝時代　光明寺(相模原市)
34 光明寺絵図　江戸～明治時代　光明寺(相模原市)
35 夢窓疎石坐像　江戸時代　光明寺(相模原市)
36 藤原藤寿丸寄進状　室町時代　光明寺(相模原市)
37 足利晴氏公帖　天文9年(1540)　光明寺(相模原市)
38 足利義輝公帖　弘治2年(1556)　光明寺(相模原市)
39 善宝寺地絵図　南北朝～室町時代　光明寺(相模原市)
40 重要文化財　徳翁中佐書状　室町時代　黄梅院(鎌倉市)
Ⅱ-1 神奈川県指定文化財　菩薩半跏像　南宋時代　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-2 不動明王二童子像　室町時代　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-3 中峰明本像　室町時代　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-4 石橋是梁像　室町時代　応永16年(1409)　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-5 清拙正澄墨蹟　南北朝時代　建武5年(1338)　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-6 石室善玖墨蹟　南北朝時代　応安2年(1369)　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-7 地蔵本願経　南北朝時代　貞治6年(1367)　神奈川県立歴史博物館
Ⅱ-8 大般若経(巻四五二)　室町時代　応永5年(1398)　神奈川県立歴史博物館

イ　平成24年度かながわの遺跡展「勝坂縄文展」

○会　期：平成24年12月15日(土)～平成25年2月7日(木)

○主　催：神奈川県教育委員会(埋蔵文化財センター)、神奈川県立歴史博物館
○特別協力：東京藝術大学大学院映像研究科
○協　力：(公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター・横浜市歴史博物館・相模原市教職員互助会同好会土器づくりの会
○後　援：横浜市教育委員会・横浜市文化観光局・神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞社横浜支局・読売新聞東京本社横浜支局・産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局・日本経済新聞社横浜支局・NHK 横浜放送局・tvk(テレビ神奈川)
○展示資料点数：154 件 175 点
○入場者数：6,248 名
○担　当：埋蔵文化財センター　主事　千葉 毅
○会　場：神奈川県立歴史博物館　特別展示室
○概　要：　縄文時代は、日本列島において自然の積極的な開拓および計画的な食料の生産を開始する以前の時代である。自然との共存共生を実現していた文化として、今日でもそのライフスタイルへの関心が高い。
　本展覧会は、そのような時代に作られた造形を通して、当時の人々の感性を観覧者に感じ取っていただくことを目的とした。特に、その中でも様々な装飾が施されることで知られる勝坂式土器に焦点を当て、縄文土器の多様な姿を紹介した。
　また、勝坂式土器の命名由来になっている国指定史跡勝坂遺跡(相模原市)について紹介した。これまでの 100 回を超える調査から得られた多くの成果を、今日的な視点で再評価した。

○関連行事
①記念講演会(無料、ただし常設展観覧券が必要)
日　時：12 月 22 日(土) 14:00～15:30
演　題：「勝坂遺跡と公爵 大山 柏」
講　師：明治大学文学部 教授　阿部芳郎 氏
応募者：133 名
受講者：68 名

②記念対談 (無料、ただし常設展観覧券が必要)
日　時：2 月 2 日(土) 14:00～16:00
演　題：「縄文土器を考古学と美術史から語る」
講　師：東京国立博物館 アソシエイトフェロー　鈴木希帆 氏、埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅
応募者：126 名
受講者：69 名

③現地見学会「国指定史跡勝坂遺跡を歩こう」(申込不要)
日　時：12 月 16 日(日) 13:30～15:00
コース：ＪＲ相模線「下溝駅」～勝坂遺跡公園
参加者：23 名
講　師：埋蔵文化財センター 主幹　宍戸信悟、主事　千葉 毅、相模原市文化財保護課職員
④ミニコンサート「クリスマスの縄文ミニコンサート」(申込不要)
日　時：12 月 24 日(月・祝) 14:00～14:45
会　場：当館エントランスホール
演　奏：縄文太鼓・ドラム　望月 純、マンドリン　望月 豪
参加者：44 名
概　要：形状から太鼓に用いられたのではと考えられている縄文土器(復元製作したもの)を実際に叩いて演奏

⑤お正月特別企画「縄文人に年賀状を送ろう！」(申込不要)
日　時：1 月中

応募者：13名
概　要：「縄文人宛て」年賀状送付者に返信（本展招待券付き）し、来場した年賀状送付者にはオリジナル展覧会グッズ（東京藝術大学大学院映像研究科と協力して作成したキーホルダー）を贈呈。

⑥Kidsイベント（時間はすべて10:00～12:00、13:30～15:30）
・「めざせ！縄文ヒーロー！in ヨコハマ」（応募者 午前5名、午後0名・参加者 午前5名、午後6名）
日　時：12月23日（日）
会　場：当館講堂
講　師：埋蔵文化財センター 主幹　砂田佳弘、主事　千葉 毅、非常勤職員　三戸 芽
内　容：黒曜石を素材とした石器作り
・「きみも太郎！in ヨコハマ」（応募者 午前0名、午後2名・参加者 午前0名、午後2名）
日　時：1月12日（土）
会　場：当館会議室
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、非常勤職員　三戸 芽
内　容：縄文土器をスケッチ、カメラで撮影
・「縄文土器の模様をさぐる！in ヨコハマ」（応募者 午前4名、午後0名・参加者 午前4名、午後2名）
日　時：1月14日（月・祝）
会　場：当館会議室
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、非常勤職員　三戸 芽
内　容：縄文土器の拓本しおり作り

⑦展示解説
（親子向け[11:00～11:30]・一般向け[14:00～14:45]、講師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅）
・第1回：1月6日（日）　参加者：親子向け　20名、一般向け　40名
・第2回：1月19日（土）　参加者：親子向け　8名、一般向け　20名
・第3回：1月26日（土）　参加者：親子向け　28名、一般向け　26名
・第4回：2月3日（日）　参加者：親子向け　25名、一般向け　48名
・第5回：2月5日（火）　参加者：一般向け　25名

○出品目録
（凡例）　№、展示用名称（作者等）、資料名（素材・技法等）、出土遺跡所在地、出土遺跡名、時代、指定、所蔵等

［ようこそ、勝坂縄文展へ］
1 背の高い縄文土器　深鉢形土器　相模原市　川尻中村遺跡　縄文時代中期後葉、神奈川県教育委員会
2 映像「現代のドラマー×縄文太鼓」（演奏：望月純）　映像　2012年　神奈川県教育委員会
3 復元した縄文太鼓「有孔鍔付土器」（6点）（復元：相模原市教職員互助会同好会土器づくりの会）　有孔鍔付土器（復元製作）　作者
4 復元した縄文太鼓「有孔鍔付土器」（2点）（復元：浅間縄文ミュージアム）　有孔鍔付土器（復元製作）　浅間縄文ミュージアム
［縄文時代の動物たち］
5 シカ　原生シカ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
6 イノシシ　原生イノシシ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
7 タヌキ　原生タヌキ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
8 イタチ　原生イタチ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
9 ニホンザル　原生ニホンザル剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
10 ムササビ　原生ムササビ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
11 ノウサギ　原生ノウサギ剥製　神奈川県立生命の星・地球博物館
12 イノシシ　原生イノシシ頭部剥製　山梨県北杜市教育委員会
13 シカの毛皮　原生シカ毛皮　山梨県北杜市教育委員会
14 シカの頭骨　原生シカ頭骨標本　山梨県北杜市教育委員会
15 シカの頭骨　原生シカ頭骨標本　個人
［美しき、勝坂］
16 縄文の貴公子　不明（土偶？人面把手？）　横浜市　公田ジョウロ塚遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県立歴史博物館
17 縄文の貴公子（撮影：今井準）　モノクロプリント　2012

年　作者

18 土偶が乗っています　土偶装飾付深鉢形土器　相模原市　大日野原遺跡　縄文時代中期中葉　個人

19 立体的な菱形や楕円の模様が上下に重なって描かれた土器　深鉢形土器　横浜市　三の丸遺跡　縄文時代中期中葉　(公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター

20 ＵＦＯ？顔？　浅鉢形土器　東京都町田市　御嶽堂遺跡　縄文時代中期中葉～後葉　町田市立博物館

21 抽象的な模様が描かれた土器　深鉢形土器　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

22 口縁が大きく波打った土器　深鉢形土器　山梨県韮崎市　石之坪遺跡　縄文時代中期中葉　韮崎市教育委員会

23 トロフィーのような形をした土器　台付深鉢形土器　海老名市　杉久保遺跡　縄文時代中期中葉　海老名市教育委員会

24 小さな「点」がちりばめられた土器　深鉢形土器　東京都八王子市　神谷原遺跡　縄文時代中期中葉　八王子市郷土資料館

25 ヒト？が貼り付いた土器　深鉢形土器　相模原市　大日野原遺跡　縄文時代中期中葉　個人

26 魚が中を泳いでいる？？　浅鉢形土器　厚木市　恩名沖原遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会

27 複雑な模様とともに抽象的な模様が描かれた土器　深鉢形土器　山梨県韮崎市　石之坪遺跡　縄文時代中期中葉　山梨県韮崎市教育委員会

28 両生類のような不思議な生物が描かれた土器　深鉢形土器　相模原市　川尻中村遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

29 両生類のような不思議な生物が描かれた土器　深鉢形土器　相模原市　川尻中村遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

30 両生類のような不思議な生物が描かれた土器　深鉢形土器　相模原市　大地開戸遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

31 イノシシが顔をのぞかせている土器　深鉢形土器　山梨県甲州市　安道寺遺跡　縄文時代中期中葉　山梨県立考古博物館

32 丸い段をもった土器　深鉢形土器　山梨県北杜市　下平遺跡　縄文時代中期中葉　山梨県北杜市教育委員会

33 長方形の区画がはめ込まれた土器　深鉢形土器　相模原市　下原遺跡　縄文時代中期中葉　相模原市立博物館

34 筒形の大きな土器　深鉢形土器　伊勢原市　日向南新田遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

35 しましまの土器　深鉢形土器　相模原市　下原遺跡　縄文時代中期中葉　相模原市立博物館

36 どっしりと大きな土器　深鉢形土器　厚木市　恩名沖原遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会

37 でっぷりと大きな土器　深鉢形土器　秦野市　鶴巻上ノ窪遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

38 王冠のように口縁が大きく波打った土器　深鉢形土器　海老名市　杉久保遺跡　縄文時代中期中葉　海老名市教育委員会

39 4つの区画に渦巻の模様が描かれた土器　深鉢形土器　川崎市　谷ツ遺跡　縄文時代中期中葉　川崎市市民ミュージアム

40 幾何学的な模様が描かれた土器　深鉢形土器　厚木市　溝野日影坂上遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会

41 楕円形の模様が多段に描かれた土器　深鉢形土器　横須賀市　黒岩岬遺跡　縄文時代中期中葉　横須賀市自然・人文博物館

42 把手をもった土器　深鉢形土器　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

43 把手をもった土器　深鉢形土器　厚木市　溝野日影坂上遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会

44 長方形の区画がはめ込まれた土器　深鉢形土器　東京都八王子市　小比企向原遺跡　縄文時代中期中葉　八王子市郷土資料館

45 把手をもった筒形の土器　深鉢形土器　東京都町田市　田端東遺跡　縄文時代中期中葉　町田市教育委員会

46 大きな突起をもった土器　深鉢形土器　厚木市　恩名沖原遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会

47 縄文人のゴマカシ？土器　深鉢形土器　藤沢市　葛原東山田地区遺跡　縄文時代中期中葉　藤沢市教育委員会

48 縄文人のゴマカシ？土器　深鉢形土器　綾瀬市　早川天神森遺跡　縄文時代中期後葉　神奈川県教育委員会

49 腰がくびれたスリムな土器　深鉢形土器　相模原市　大地開戸遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

50 把手をもった土器　鉢形土器　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

51 角のような大きな突起をもった大きな土器　深鉢形土器　相模原市　当麻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

52「のっぺらぼう」の顔がついた土器　深鉢形土器　平塚市　原口遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

53 立体的な突起をもった浅い土器　浅鉢形土器　相模原市　大日野原遺跡　縄文時代中期中葉～後葉　個人

54 立体的な突起や線で全面が装飾された土器　深鉢形土器　長野県御代田町　川原田遺跡　縄文時代中期中葉　重文　浅間縄文ミュージアム

55 立体的な突起や線で全面が装飾された土器　深鉢形土器　長野県御代田町　川原田遺跡　縄文時代中期中葉　重文　浅間縄文ミュージアム

56 立体的な突起や線で全面が装飾された土器　深鉢形土器　長野県御代田町　川原田遺跡　縄文時代中期中葉　重文　浅間縄文ミュージアム

57 ザ・縄文土器「火焔土器」　深鉢形土器(火焔型)　新潟県十日町市　森上遺跡　縄文時代中期後葉　十日町市博物館

58 ザ・縄文土器「火焔土器」　深鉢形土器(火焔型)　新潟県十日町市　笹山遺跡　縄文時代中期後葉　市指定　十日町市博物館

59 ザ・縄文土器「火焔土器」 深鉢形土器(火焔型) 新潟県十日町市 笹山遺跡 縄文時代中期後葉 市指定 十日町市博物館

60 生物のような模様が描かれた有孔鍔付土器 有孔鍔付土器 平塚市 上ノ入Ｂ遺跡 縄文時代中期中葉 平塚市博物館

61 生物のような模様が描かれた有孔鍔付土器 有孔鍔付土器 川崎市 黒川地区 No.10 遺跡 縄文時代中期中葉 川崎市市民ミュージアム

62 ヒト？が貼り付いた有孔鍔付土器 有孔鍔付土器 厚木市 林王子遺跡 縄文時代中期中葉 市指定 厚木市教育委員会

63 模様が描かれない有孔鍔付土器 有孔鍔付土器 横浜市 篠原大原遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

64 胴がすぼまった有孔鍔付土器 有孔鍔付土器 相模原市 川尻遺跡 縄文時代中期中葉 相模原市教育委員会

65 ミニチュアサイズの有孔鍔付土器(孔なし) ミニチュア土器 川崎市 宮添遺跡 縄文時代中期中葉～後葉 川崎市市民ミュージアム

66 手のひらサイズの有孔鍔付土器 小形土器 相模原市 川尻中村遺跡、縄文時代中期中葉～後葉、神奈川県教育委員会

67 台付の土器 有孔鍔付土器のような形だが孔がない 台付鉢形土器 藤沢市 石川山田Ｂ遺跡 縄文時代中期中葉 藤沢市教育委員会

68 香炉？灯明？のための土器 釣手形土器 小田原市 久野一本松遺跡 縄文時代中期中葉 小田原市教育委員会

69 香炉？灯明？のための土器 釣手形土器 山梨県北杜市 下平遺跡 縄文時代中期中葉 山梨県北杜市教育委員会

70 どっしりとした釣手形土器(重い) 釣手形土器 東京都八王子市 小比企向原遺跡 中期後葉 八王子市郷土資料館

71 大きな皿のような土器 浅鉢形土器 相模原市 当麻遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

72 精巧に作られたカップ形の土器 小形土器 東京都八王子市 日南田遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

73 小さいけれどとても精巧に作られた土器 小形土器 相模原市 当麻遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

74 小さいけれどとても精巧に作られた土器 小形土器 相模原市 当麻遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

75 内側と外側の一部が赤く塗られた土器 鉢形土器 相模原市 大地開戸遺跡 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会

76 クルミ形？の土器 鉢形土器 東京都町田市 木曽中学校遺跡 縄文時代中期中葉 町田市教育委員会

77 大きな 4 つの突起がついた土器 深鉢形土器 東京都国分寺市 多喜窪遺跡 縄文時代中期中葉 重文 武蔵国分寺

78 口縁が大きく波打った土器 深鉢形土器 山梨県韮崎市 石之坪遺跡(東地区) 縄文時代中期中葉 韮崎市教育委員会

［縄文人の生々しさ］

79 うまい？ 深鉢形土器 相模原市 大地開戸遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

80 へたっぴ？ 深鉢形土器 秦野市 鶴巻上ノ窪遺跡 縄文時代中期中葉 神奈川県教育委員会

81 うまい？ 深鉢形土器 横浜市 市ノ沢団地遺跡 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会

82 へたっぴ？ 深鉢形土器 相模原市 新戸遺跡 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会

83 同じ人が作ったんじゃないかと思うくらいそっくりな土器 深鉢形土器 東京都多摩市 多摩ニュータウン No.245 遺跡 縄文時代中期中葉 東京都埋蔵文化財センター

84 同じ人が作ったんじゃないかと思うくらいそっくりな土器 深鉢形土器 東京都多摩市 多摩ニュータウン No.245 遺跡 縄文時代中期中葉 東京都埋蔵文化財センター

85 ヒスイの大珠 大珠 横浜市 市ノ沢団地遺跡 縄文時代中期中葉～後葉 神奈川県教育委員会

86 土製の大珠 大珠形土製品 相模原市 川尻中村遺跡 縄文時代中期中葉～後葉 神奈川県教育委員会

87 ドングリの押しつけられた痕跡がある土器 深鉢形土器(破片) 相模原市 大地開戸遺跡 縄文時代中期後葉 神奈川県教育委員会

88 縄文人の指紋？ 浅鉢形土器 東京都杉並区 塚山遺跡 縄文時代中期中葉 慶應義塾大学民族学考古学研究室

89 ちいちゃな土器 ミニチュア土器 東京都八王子市 神谷原遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

90 ちいちゃな土器 ミニチュア土器 東京都八王子市 神谷原遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

91 ちいちゃな土器 ミニチュア土器 東京都八王子市 神谷原遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

92 ちいちゃな土器 ミニチュア土器 東京都八王子市 神谷原遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

93 土製の鈴 土鈴 相模原市 川尻中村遺跡 縄文時代中期中葉～後葉 神奈川県教育委員会

94 土製のスプーン 匙形土製品 相模原市 川尻中村遺跡 縄文時代中期中葉～後葉 神奈川県教育委員会

［縄文のかお］

95 縄文のビーナス 土偶(複製) 長野県茅野市 棚畑遺跡 縄文時代中期中葉 原品は国宝 茅野市尖石縄文考古館

96 縄文のちびーなす 土偶 山梨県北杜市 諏訪原遺跡 縄文時代中期中葉 北杜市教育委員会

97 ちょっとニヤついた土偶 土偶 山梨県韮崎市 石之坪遺跡 縄文時代中期中葉 韮崎市教育委員会

98 土偶の形をした土製鈴 土偶形土鈴 東京都八王子市 楢原遺跡 縄文時代中期中葉 八王子市郷土資料館

99 土偶のあたま 土偶(破片) 相模原市 橋本遺跡 縄文

時代中期中葉　相模原市立博物館
100 土偶のあたま　土偶(破片)　平塚市　原口遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
101 顔がついた土器　人面把手付深鉢形土器　東京都八王子市　中原遺跡　縄文時代中期中葉　市指定　八王子市郷土資料館
102「のっぺらぼう」の顔がついた土器　人面把手付深鉢形土器　東京都八王子市　椚田遺跡　縄文時代中期中葉　八王子市郷土資料館
103 顔がついた土器　人面把手付深鉢形土器　山梨県北杜市　海道前C遺跡　縄文時代中期中葉　山梨県立考古博物館
104 顔がついた土器と一緒に埋められていた石棒　石棒　山梨県北杜市　海道前 C 遺跡　縄文時代中期中葉　山梨県立考古博物館
105 石にお尻が描いてある　岩偶(破片)　相模原市　橋本遺跡　縄文時代中期中葉　相模原市立博物館
106 土器に付けられる人面把手　人面把手(破片)　厚木市　恩名沖原遺跡　縄文時代中期中葉　厚木市教育委員会
107 土器に付けられる人面把手　人面把手(破片)　川崎市　子母口富士見台遺跡　縄文時代中期中葉　川崎市市民ミュージアム
108 土器に付けられる人面把手　人面把手(破片)　相模原市　当麻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
109 土器に付けられる人面把手　人面把手(破片)　東京都町田市　小野路富士塚遺跡　縄文時代中期中葉　町田市教育委員会
110 土器に付けられる人面把手　人面把手(破片)　相模原市　大日野原遺跡　縄文時代中期中葉　個人
111 土器に付けられるフクロウ？形把手　フクロウ形把手(破片)　相模原市　大地開戸遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

［ヘビと縄文人］

112 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器(破片)　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
113 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器(破片)　相模原市　新戸遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
114 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器(破片)　相模原市　当麻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
115 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器　相模原市　下中丸遺跡　縄文時代中期中葉　相模原市立博物館
116 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器　横浜市　細田遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会
117 土器に付けられたヘビの造形　深鉢形土器　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉　神奈川県教育委員会

［岡本太郎と縄文］

118 縄文土器(撮影：岡本太郎)　木製パネル　1956 年撮影　川崎市岡本太郎美術館
119 岡本太郎に撮影された土器　深鉢形土器　富山県氷見市　朝日貝塚　縄文時代中期中葉　東京大学総合研究博物館
120 土偶(撮影：岡本太郎)　ゼラチン・シルヴァープリント　1956 年撮影　川崎市岡本太郎美術館
121 岡本太郎に撮影された土偶　筒形土偶　横浜市　稲荷山貝塚　縄文時代後期前葉　個人　東京国立博物館寄託
122 縄文土器(撮影：岡本太郎)　ゼラチン・シルヴァープリント　1956 年撮影　川崎市岡本太郎美術館
123 岡本太郎に撮影された土器　釣手形土器　山梨県　(遺跡名不詳)　縄文時代中期後葉　東京大学総合研究博物館
124 人面把手(撮影：岡本太郎)　ゼラチン・シルヴァープリント　1956 年撮影　川崎市岡本太郎美術館
125 岡本太郎に撮影された人面把手　人面把手(破片)　山梨県韮崎市　穂坂小学校遺跡　縄文時代中期中葉　東京国立博物館
126 午後の日(製作：岡本太郎)　ブロンズ　1967 年　川崎市岡本太郎美術館
127 顔 VI(製作：岡本太郎)　油彩キャンバス　1970 年　川崎市岡本太郎美術館
128 打製石斧(撮影：今井準)　モノクロプリント　2012 年　作者

［大山柏と史前学研究所］

129 大山の著作『第 1 回極東先史時代会議』　個人
130 史前学研究所で発行していた絵はがき集『史前学絵葉書』　個人
131 史前学研究所が発掘した横浜市折本貝塚の調査資料　個人
132 史前学研究所で使用されていた発掘機材　個人
133 戦災のあと、拾われた史前学研究所所蔵資料　慶應義塾大学民族学考古学研究室
134 南太平洋マンガイア島で使用されている芋穴を掘る棒　個人
135 横浜市菊名貝塚での集合写真　個人
136 大山柏の著作、個人、横須賀市自然・人文博物館

［勝坂式の基準資料］

137 勝坂式土器標式資料　深鉢形土器　東京都練馬区　石神井関遺跡　縄文時代中期中葉　慶應義塾大学民族学考古学研究室
138 勝坂式土器標式資料　浅鉢形土器　不明　不明　縄文時代中期中葉　東京大学総合研究博物館
139 勝坂式土器標式資料　深鉢形土器　東京都目黒区　目黒不動遺跡　縄文時代中期中葉　東京大学総合研究博物館
140 勝坂式土器標式資料　深鉢形土器　東京都八王子市　楢原遺跡　縄文時代中期中葉　東京国立博物館
141 勝坂式土器標式資料　深鉢形土器　東京都東久留米市　前沢遺跡　縄文時代中期中葉　慶應義塾大学民族学考古学研究室
142 勝坂式土器標式資料(復元：小島三雄)　深鉢形土器（復元製作)　作者

［縄文土器づくり］

143 縄文土器の制作工程復元　八王子市郷土資料館
144 製作工程復元のモデル土器　深鉢形土器　東京都八王子市　神谷原遺跡　縄文時代中期中葉　八王子市郷土資料館

145 土器づくりの余りの粘土？　焼成粘土塊　相模原市　川尻遺跡　縄文時代中期中葉～後葉　神奈川県教育委員会
146 土器づくりの台　器台形土器　東京都八王子市　椚原遺跡　縄文時代中期中葉　東京国立博物館
147 敷き物が焼け付いた土器づくりの台　器台形土器　相模原市　橋本遺跡　縄文時代中期後葉　相模原市立博物館
148 映像「縄文土器とづくり」(土器づくり：小島三雄)　映像　神奈川県教育委員会
［国指定史跡　勝坂遺跡］
149 勝坂遺跡出土土器　深鉢形土器　相模原市　勝坂南方　縄文時代中期中葉　相模原市立博物館
150 勝坂遺跡出土土器･石器(16 点)　土器破片･石器破片　相模原市　勝坂遺跡　草創期　市指定　相模原市立博物館
151 勝坂遺跡出土土器　深鉢形土器　相模原市　勝坂遺跡　縄文時代中期後葉　相模原市立博物館
152 勝坂遺跡出土土器　鉢形土器　相模原市　勝坂遺跡　縄文時代中期後葉　相模原市立博物館
153 勝坂遺跡出土土器　深鉢形土器　相模原市　勝坂遺跡　縄文時代中期後葉　相模原市立博物館
154 勝坂遺跡出土土器　深鉢形土器　相模原市　勝坂遺跡　縄文時代中期後葉　相模原市立博物館

ウ　フリーゾーン等における「馬車道を描く日曜画家展 歴代金賞作品」展示
○概　要：　昭和 55(1980)年から始められ 32 回目となった「馬車道を描く日曜画家展」の歴代金賞受賞作品を、当館フリーゾーン等に展示した。なお、当館角田学芸員が審査員の一人として協力した。
○会　期：平成 24 年 10 月 29 日(土)～11 月 6 日(日)
○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン廊下、会議室
○共　催：馬車道商店街協同組合
○展示場所及び点数：合計 31 点
馬車道側廊下(3 ヶ所・9 点)、会議室(22 点)

エ　フリーゾーンにおけるパネル展示
(ｱ)「描かれたペリー来航」
○概　要：　神奈川の歴史のみならず、日本史上近代の始まりを告げる事件としてひろく知られているペリー来航。そのペリー艦隊の動向やペリーをはじめとした人々は日本人絵師により描かれ今日まで数多く遺されている。平成 24 年 7 月に開催の特別展「ペリーの顔・貌・カオ －『黒船』の使者の虚像と実像－」の開催告知も兼ね、当館で所蔵する絵巻から、代表的な場面を選んでペリー来航時の様子を紹介した。
○会　期：平成 24 年 1 月 5 日(木)～7 月 6 日(金)
○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン　廊下
○展示資料点数：8 点

○出品目録(いずれも写真パネル)
（凡例）№. 場面名称、資料名、制作年代　※いずれも当館所蔵

1 右からペリー提督、副将アダムス、漢語・日本語通訳ウィリアムス、オランダ語通訳ポートマン　黒船絵巻　江戸時代末期
2 現在の神奈川県庁付近に設けられた応接所前に整列した米国兵士　黒船絵巻　江戸時代末期
3 嘉永 7(1854)年正月 17 日に、夏島(現在の横浜市金沢区)付近を航行するペリー艦隊　亜墨利加船渡来横浜之真図　江戸時代末期
4 ペリー艦隊は艦内で食用として牛や羊などを飼育しながら日本へ来航した　黒船来航絵巻　江戸時代末期
5 黒人に扮した米兵が米国南部の民謡などを演奏して幕府の役人をもてなした　黒船絵巻　江戸時代末期
6 第 2 回来航時の旗艦だった蒸気軍艦ポーハタン号　黒船絵巻　江戸時代末期
7 将軍へ贈られた蒸気機関車は実物の 4 分の一の大きさだった　亜墨利加船渡来横浜之真図　江戸時代末期
8 将軍へ贈られたモールス伝信機は浜辺に送電線を敷設して実際に通信実験が行われた　亜墨利加船渡来横浜之真図　江戸時代末期

(ｲ)「写真で見る馬車道の歴史」
○概　要：　馬車道。本町 4 丁目の交差点から吉田橋までのわずか 500 メートルほどの通りであるが、歌

謡曲でも歌われたヨコハマを代表する道路のひとつである。幕末横浜開港とともに生まれ、港と市街地を結ぶ往来として発展し、明治4(1871)年の地図には「馬車道」の名前が記されている。

輸出入の品々を運んだ荷馬車や外国人などが乗った馬車が通行していたことから「馬車道」とよばれ、多くの人たちが往来し、さまざまな商店が建ち並ぶ一方、貿易商社や金融機関が軒を並べる通りでもあった。馬車道150年の歩みを写真パネルで紹介した。

○会　期：平成24年7月7日(土)～平成25年3月28日(木)
○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン　廊下
○展示資料点数：11点

○出品目録(いずれも写真パネル)
(凡例) No.　名称(作者)　時代　所蔵・写真提供者

1 横浜一覧之真景色(部分)　橋本玉蘭斎(五雲亭)貞秀　明治4年(1871)　所蔵 神奈川県立歴史博物館
2 横浜吉田橋通繁盛之図　国輝　山本兵吉版　明治3年(1871)　所蔵 神奈川県立歴史博物館
3 (絵葉書)横浜正金銀行　明治末　所蔵 神奈川県立歴史博物館
4 (絵葉書)明治時代の馬車道　明治末　所蔵 神奈川県立歴史博物館
5 (絵葉書)横浜震災実況　横浜正金銀行付近の惨状　大正12年(1923)　所蔵 神奈川県立歴史博物館
6 空襲で焼け野原になった馬車道　昭和20年(1945)　写真提供 アメリカ国立公文書館
7 オート三輪が走る馬車道　昭和35年(1960)　写真提供 神奈川新聞社
8 東宝会館(現リッチモンドホテル)　昭和34年(1959)　写真提供 神奈川新聞社
9 国際仮装行列の仮面ライダー　昭和48年(1973)　写真提供 神奈川新聞社
10 馬車道まつりパレード　昭和51年(1976)　写真提供 馬車道商店街協同組合
11 馬車道で歌うピンクレディー　昭和52年(1977)　写真提供 馬車道商店街協同組合

(ｳ)「ようこそ、驚きのやきもの世界へ －横浜に花開いたやきもの眞葛焼の魅力－」

○概　要：　眞葛焼は、開港後まもない横浜で、後に帝室技芸員となって明治の陶芸界を牽引することになる宮川香山（初代）によって始められたやきものである。明治時代前期には、立体的な装飾を駆使した高浮彫作品を万国博覧会などに出品、世界的に高い評価を得た。当館は、近代陶磁の蒐集家・研究家である田邊哲人氏より、眞葛焼の作品の寄託を受け、常設展示で展示公開を行っている。眞葛焼の魅力を紹介するとともに、常設展示への興味を喚起することを目的に、当館寄託の田邊哲人コレクションから、代表的な作品を部分の拡大を交えて写真パネルで紹介した。

○会　期：平成24年3月29日(金)～
○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン　廊下
○展示資料点数：7点

○出品目録(いずれも写真パネル)
(凡例) No.　名称(作者)　時代　所蔵・写真提供者

1 高取釉渡蟹水盤(部分)　宮川香山(初代)作　大正時代　田邊哲人コレクション(当館寄託)
2 色嵌釉紫陽花花瓶　宮川香山(初代)作　明治時代後期　田邊哲人コレクション(当館寄託)
3 高浮彫葡萄ノ蔓ニ蜂ノ巣花瓶(部分)　宮川香山(初代)作　明治時代前期　田邊哲人コレクション(当館寄託)
4 高浮彫南天ニ鶉花瓶(部分)　宮川香山(初代)作　明治時代前期　田邊哲人コレクション(当館寄託)
5 高浮彫風神雷神花瓶(部分)　宮川香山(初代)作　明治時代前期　田邊哲人コレクション(当館寄託)
6 高浮彫桜ニ群鳩花瓶(部分)　宮川香山(初代)作　明治時代前期　田邊哲人コレクション(当館寄託)
7 高浮彫牡丹ニ眠猫覚醒蓋付水指　宮川香山(初代)作　明治時代前期　田邊哲人コレクション(当館寄託)

(ｴ)「かながわの近代建築」

○概　要：　神奈川県内には、現在も明治・大正・昭和戦前期に建てられた数多くの近代建築が残されている。これらの近代建築の多くは、横浜における開港場や居留地に由来する建築、湘南地域に幅広く分布する避暑・避寒のための別荘建築、海軍の軍都として発展した横須賀などに見られる軍事関連の建築、箱根を中心とした観光地に建てられた旅館やホテル建築、京浜工業地帯の一角を占める横浜・川崎の臨海部の工場建築という、五つの要素に大別してとらえることができる。これは神奈川県内の近代建築の特色を表現しているだけでなく、神奈川県の近代の歩みを考える上で重要な要素でもある。

本展示では、神奈川県内に現存する近代建築のうち、当館の建物である旧横浜正金銀行本本館や「キングの塔」と通称される神奈川県庁本庁舎をはじめとする 24 棟の建物を取り上 げ、その魅力を紹介した。

○会　期：平成 25 年 3 月 29 日(金)～
○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン　廊下
○展示資料点数：25 点（番外のマップを含む）

○出品目録(いずれも写真パネル)
（凡例）№. 名称　所在地　竣工年月

番外 かながわの近代建築 MAP(神奈川県内の近代建築のうち 60 棟を地図上に示し、各建物の写真と概要データを紹介したもの)

1 旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館)　横浜市中区南仲通　1904(明治37)年7月
2 神奈川県庁舎(神奈川県庁本庁舎)　横浜市中区日本大通　1928(昭和3)年10月
3 旧新港埠頭煉瓦二号倉庫(横浜赤レンガ倉庫 2 号館)　横浜市中区新港　1911(明治44)年5月
4 旧三井物産横浜支店(三井物産横浜ビル)　横浜市中区日本大通　1 号ビル一1911(明治 44)年 8 月、2 号ビル一1927(昭和2)年
5 旧開港記念横浜会館(横浜市開港記念会館)　横浜市中区本町　1917(大正6)年6月
6 旧川崎銀行横浜支店(日本興亜馬車道ビル)　横浜市中区弁天通　1922(大正11)年
7 旧生糸検査所(横浜第 2 合同庁舎)　横浜市中区北仲通　1926(大正15)年2月
8 ホテルニューグランド本館　横浜市中区山下町　1927(昭和2)年11月
9 旧横浜商工奨励館(横浜情報文化センター)　横浜市中区日本大通　1929(昭和4)年4月
10 旧三井銀行横浜支店(三井住友銀行横浜支店)　横浜市中区本町　1931(昭和6)年3月
11 旧横浜英国総領事館(横浜開港資料館旧館)　横浜市中区日本大通　1931(昭和6)年
12 横浜税関本関庁舎　横浜市中区海岸通　1934(昭和 9)年 3 月
13 横浜郵船ビル(日本郵船歴史博物館)　横浜市中区海岸通　1936(昭和11)年10月
14 旧内田家住宅(外交官の家)　横浜市中区山手町　1910(明治43)年
15 旧英国総領事公邸(横浜市イギリス館)　横浜市中区山手町　1937(昭和12)年
16 旧大倉精神文化研究所(横浜市大倉山記念館)　横浜市港北区大倉山　1932(昭和7)年4月
17 福住旅館金泉楼・萬翠楼　足柄下郡箱根町湯本　1877(明治10)・1878(明治11)年
18 富士屋ホテル本館　足柄下郡箱根町宮ノ下　1891(明治24)年
19 旧日本爆発物製造株式会社支配人執務室(旧海軍火薬廠将校クラブ、旧横浜ゴム平塚製造所記念館)　平塚市浅間町　1912(明治45)年頃
20 旧木下邸　中郡大磯町大磯　明治時代末期
21 旧近藤邸　藤沢市鵠沼東(同市内より移築)　1925(大正14)年
22 旧華頂家住宅主屋(旧華頂宮邸)　鎌倉市浄明寺　1929(昭和4)年
23 旧藤沢ゴルフ倶楽部クラブハウス(神奈川県立体育センター食堂)　藤沢市善行　1932(昭和7)年
24 旧前田家別邸(鎌倉文学館本館)　鎌倉市長谷　1936(昭和11)年8月

(オ)「震災前(後)の野毛山から眺望した横浜市街地」〈パノラマ写真パネル〉
○概　要：　関東大震災以前と以後の横浜中心部の街並みを対比して見られるパノラマ写真パネル(縦 75cm×横 400cm)2 組により、震災により焦土と化した横浜市街地の被災状況を紹介した。
○会　期：平成 25 年 3 月 29 日(金)～

○会　場：神奈川県立歴史博物館　フリーゾーン　廊下
○展示資料点数：2 組

○出品目録(いずれも写真パネル)
（凡例）№. 名称(作者)　時代　所蔵・写真提供者

1 震災前の野毛山から眺望した横浜市街地(『神奈川県写真帖』のパノラマ写真を元に作製)　大正 2 年(1913)　神奈川県立歴史博物館

2 震災後の野毛山から眺望した横浜市街地(『関東大震災絵葉書』の組写真を元に作製)　大正 12 年(1923)　神奈川県立歴史博物館

⑸　学習支援事業

県民の学習ニーズに応えるべく学習の機会を提供し、博物館で行われる講座・講演会や各種行事などへの参加を通して、神奈川の歴史・文化や文化財についての知識関心を深めることを目的として実施した(一部再掲)。

ア　講座

県民に展示内容や文化財への興味関心を持ってもらい、より深い理解を図るため、県博講座をはじめとした次の講座を実施した。

(ｱ)　県博セミナー(生涯学習課主管の県立機関活用講座、5回連続、有料〈5,000円、全回申込者を優先するが定員に達しない場合は各回毎に単独受講可能。単独受講の場合は1,000円〉、14:00～16:00)

○テーマ：「戦後のヨコハマ・ヨコスカ　あの頃を語る」(応募者269名〈単回を含む事前申込者〉)

○概　要：特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー」にちなむ連続講座。昭和20年代の横浜、横須賀における戦後復興の様相を、体験談、ジャズをテーマにした対談、当時の映画に関する講義などにより紹介した。

○内　容

・第1回　4月28日(土)(受講者47名)
「ハマっ子の見た戦後」元町自治運営会 顧問　杉島 和三郎 氏

・第2回　5月5日(土･祝)(受講者43名)
「昭和20年代の横須賀」赤星直忠博士文化財資料館 研究員　斉藤 彦司 氏

・第3回　5月12日(土)(受講者37名)
「対談『日本ジャズ成熟期』」ジャズメン　五十嵐 明要 氏、横濱ジャズプロムナード・ディレクター　柴田 浩一 氏

・第4回　5月19日(土)(受講者31名)
「対談『横須賀ジャズ物語』」ジャズメン　渡辺 正典 氏、アメリカ大使館 職員　バーリット・セービン 氏

・第5回　6月2日(土)(受講者35名)
「映画全盛期のヨコハマ・ヨコスカ」横浜開港資料館 主任研究員　平野 正裕 氏

(ｲ)　県博講座Ⅰ(当館の学芸員等による連続講座、無料、ただし 特別展観覧券が必要、14:00～16:00)

○テーマ：「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」(応募者204名)

○概　要：特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」にちなむ連続講座。

○内　容

・第1回　9月8日(土)(受講者70名)
「鎌倉周辺における夢窓疎石」東京大学史料編纂所 教授　山家 浩樹 氏

・第2回　9月15日(土)(受講者77名)
「夢窓国師の禅風」臨済宗大本山円覚寺 館長　横田 南嶺 氏

・第3回　9月22日(土)(受講者62名)
「夢窓疎石と京都の禅宗文化」禅文化研究所 職員・花園学園大学大学院 講師　西山 美香 氏

(ｳ)　県博講座Ⅱ(当館の学芸員等による連続講座、無料、ただし 特別展観覧券が必要、14:00～16:00)

○テーマ：「中世都市鎌倉をさぐる」(応募者268名)

○概　要：特別展「再発見！ 鎌倉の中世」にちなむ連続講座。

○内　容

・第1回　10月28日(日)(受講者81名)
「中世都市鎌倉をさぐる」鶴見大学 教授　河野 眞知郎 氏

・第2回　11月4日(日)(受講者78名)
「中世都市鎌倉の寺院と宗教」主任学芸員　古川 元也

・第3回　11月11日(日)(受講者64名)
「中世都市鎌倉の文物と意匠」学芸員　小井川 理

・第4回　11月18日(日)（受講者61名）
「よみがえる武家の古都・鎌倉 －中世都市鎌倉を考古学する－」学芸部 考古担当　近野 正幸
・第5回　11月25日(日)（受講者65名）
「中世都市鎌倉を遺す」鎌倉市世界遺産登録推進担当 学芸員　阿部 能久 氏

(ｴ)　県博講座Ⅲ(当館の学芸員等による連続講座、無料、ただし 常設展観覧券が必要、14:00～16:00)
○テーマ：「かながわ発掘物語」（応募者70名）
○概　要：コレクション展「ＫＥＮ･ＰＡＫＵ(県博) 発掘クロニクル」にちなむ連続講座。
○内　容
・第1回　1月13日(日)（受講者60名）
「考古学は横浜から始まった」神奈川考古学会 会長　岡本 孝之 氏
・第2回　1月20日(日)（受講者48名）
「三浦半島発掘物語 －赤星直忠と周辺の人々－」横須賀市教育委員会 主任　野内 秀明 氏
・第3回　1月26日(土)（受講者43名）
「神奈川県立博物館による発掘調査の軌跡」(公財)かながわ考古学財団 理事　川口 徳治朗 氏

(ｵ)　県博講座Ⅳ(当館の学芸員等による連続講座、無料、ただし 特別展観覧券が必要、14:00～16:00〈第5回のみ13:00～16:00〉)
○テーマ：「近代鎌倉と工芸」（応募者57名）
○概　要：特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」にちなむ連続講座。
○内　容
・第1回　2月17日(日)（受講者40名）
「観光地鎌倉の形成」学芸部長　寺嵜 弘康
・第2回　2月24日(日)（受講者43名）
「鎌倉と芸術家」学芸員　角田 拓朗
・第3回　3月3日(日)（受講者38名）
「中近世の鎌倉彫」館長　薄井 和男
・第4回　3月10日(日)（受講者40名）
「鎌倉彫の近代」学芸員 小井川 理
・第5回　3月17日(日)（受講者27名）
現地見学会「早春の鎌倉　美術工芸めぐり」神奈川県立近代美術館鎌倉館 学芸員、鎌倉彫資料館 館長、鎌倉市鏑木清方記念美術館 学芸員

(ｶ)　博物館入門講座(無料、ただし 常設展観覧券が必要)（応募者106名・受講者第1日目61名、第2日目54名）
○概　要:普段見ることのできない､博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。なお、当館のボランティア募集に際しては、当講座を受講済であることを応募の条件としている。
○内　容(全2日間)
①1月19日(土) 10:00～15:30
当館の概要・博物館活動と学芸員の仕事・館内見学
②1月27日(日) 10:00～15:30
「学芸員の目」(1)(2)・ワークショップ「学芸員の目を学ぶ」・「学芸員の技」

イ　特別展記念講演会等行事(特別展のテーマに沿った内容の講演会等の実施。無料、ただし(ｱ)③、(ｳ)、(ｵ)①④⑤を除き特別展観覧券〈(ｵ)は常設展観覧券〉が必要。応募者数を記していない場合は自由参加。)

(ｱ)　特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー」関連講演会等
①記念講演会(応募者131名・受講者67名)
日　時：5月13日(日) 14:00～16:00

演　題：「横濱 JAZZ 物語」
講　師：横濱ジャズプロムナード・ディレクター　柴田 浩一 氏

②手廻し蓄音機によるレコード鑑賞

・第１回(参加者 82 名)
日　時：5 月 3 日(木･祝)14:00～15:00
講　師：トラディショナル・ジャズ研究家　柳澤 安信 氏

・第２回(参加者 79 名)
日　時：6 月 1 日(金)14:00～15:00
講　師：SP レコード収集家　寺田 繁 氏

③記念音楽会「ジャズライブ」(参加者 450 名)
日　時：5 月 26 日(土)14:00～15:00
会　場：当館正面玄関前
出　演：中村誠一カルテット

(ｲ)　特別展「ペリーの顔・貌・カオ」関連講演会等

①記念講演会(応募者 130 名・受講者 午前 39 名、午後 72 名)
日　時：7 月 16 日(月･祝) 10:00～12:00、14:00～16:00
演　題：「ペリーを描き、伝えた人々」
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏

②記念講演会(応募者 168 名・受講者 66 名)
日　時：8 月 5 日(日) 14:00～16:00
演　題：「日本におけるペリーの「記憶」　－Perry-Image:Remembered in Japan－」
講　師：法政大学 教授　長井 純市 氏

③子供向け行事「ペリーについて調べよう　－学芸員と一緒に夏休みの自由研究を－」
日　時
・小学校高学年向け：8 月 19 日(日) 10:00～15:00 (応募者 11 名・受講者 8 名)
：8 月 21 日(火) 10:00～15:00 (応募者 9 名・受講者 7 名)
：8 月 22 日(水) 10:00～15:00 (応募者 5 名・受講者 5 名)
・中学生向け　：8 月 23 日(木) 10:00～15:00 (応募者 4 名・受講者 2 名)
：8 月 24 日(金) 10:00～15:00 (応募者 1 名・受講者 0 名)
・高校生向け　：8 月 26 日(日) 10:00～15:00 (応募者 0 名・受講者 0 名)
内　容：特別展にあわせて作成した特製ワークブックを使い、学芸員による講義・解説を聞くとともに展示資料を実際に見て、参加者自身で考えながらペリー来航の歴史について学ぶ。
講　師：主任学芸員　嶋村 元宏

(ｳ)　特別展「再発見！鎌倉の中世」関連講演会等

①キャラクターショー(参加者 午前 358 名、午後 442 名)
日　時：10 月 31 日(水) 11:00～11:30、14:00～14:30
テーマ：「世界遺産登録をめざす城下町・彦根から、ひこにゃんがやってくる!!」
内　容：彦根市のアイドルキャラクター「ひこにゃん」を神奈川県の広報キャラクター「かながわキンタロウ」が出迎える着ぐるみショーにより当館及び世界遺産登録推進をＰＲした。
場　所：当館正面玄関前

②３館合同シンポジウム「世界遺産登録を目指す武家の古都・鎌倉の魅力を語る」(応募者 445 名・受講者 222 名)
日　時：11 月 11 日(日) 13:30～16:30
会　場：鎌倉生涯学習センター(きらら鎌倉)
基調講演：東京大学 名誉教授・放送大学 教授　五味 文彦 氏、成城大学 前学長・三井記念美術館 館長　清水 眞澄 氏
シンポジウム：「鎌倉の文化財と世界遺産」
シンポジスト：東京大学 名誉教授・放送大学 教授 五味 文彦 氏、成城大学 前学長・三井記念美

術館 館長 清水 眞澄 氏、鎌倉国宝館 館長　鈴木 良明 氏、神奈川県立金沢文庫 文庫長・日本女子大学 教授　永村 眞、当館 館長　薄井 和男

③現地見学会「世界遺産候補鎌倉を歩く」（応募者 223 名・受講者 35 名）
日　時：11 月 15 日（木） 13:00～16:00
講　師：学芸部 特別展「再発見！鎌倉の中世」担当学芸員

(ｴ)　特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」関連講演会等
①記念講演会（応募者 148 名・受講者 84 名）
日　時：3 月 2 日（土） 14:00～16:00
演　題：「近代鎌倉彫と父俊太郎」
講　師：博古堂 当主　後藤 圭子 氏
②ワークショップ「鎌倉彫体験」（応募者 午前 16 名、午後 12 名・参加者 午前 15 名、午後 11 名）
日　時：3 月 20 日（水・祝） 10:00～12:00、14:00～16:00
内　容：鎌倉彫の彫りを体験
講　師：鎌倉彫教授会所属の講師

(ｵ)　その他の展示「平成 24 年度かながわの遺跡展　勝坂縄文展」関連行事
①現地見学会「国指定史跡 勝坂遺跡を歩こう」（参加者 23 名）
日　時：12 月 16 日（日） 13:30～15:00
コース：ＪＲ相模線「下溝駅」～勝坂遺跡公園
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、相模原市文化財保護課職員
②記念講演会（応募者 133 名・受講者 68 名）
日　時：12 月 22 日（日） 14:00～15:30
演　題：「勝坂遺跡と公爵 大山 柏」
講　師：明治大学文学部 教授　阿部 芳郎 氏
③Kids イベント「めざせ！縄文ヒーロー！in ヨコハマ」（応募者 午前 5 名、午後 0 名・参加者 午前 5 名、午後 6 名）
日　時：12 月 23 日（日） 10:00～12:00、13:30～15:30
内　容：黒曜石を素材とした石器作り
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅
④ミニコンサート「クリスマスの縄文ミニコンサート」（参加者 44 名）
日　時：12 月 24 日（月・祝） 14:00～14:45
会　場：当館エントランスホール
内　容：復元製作した縄文土器を太鼓として用いた演奏会
演奏者：縄文太鼓・ドラム　望月 純 氏、マンドリン　望月　豪 氏
⑤お正月特別企画「縄文人に年賀状を送ろう！」（応募者 13 名）
期　間：1 月中
内　容：「縄文人宛て」年賀状を出すと返信が届き、さらに展覧会来場者には限定グッズを贈呈。
⑥Kids イベント「きみも太郎！in ヨコハマ」（応募者 午前 0 名、午後 2 名・参加者 午前 0 名、午後 2 名）
日　時：1 月 12 日（土） 10:00～12:00、13:30～15:30
内　容：縄文土器をスケッチ、カメラで撮影
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅
⑦Kids イベント「縄文土器の模様をさぐる！in ヨコハマ」（応募者 午前 4 名、午後 0 名・参加者 午前 4 名、午後 2 名）
日　時：1 月 14 日（月・祝） 10:00～12:00、13:30～15:30
内　容：縄文土器の拓本しおり作り
講　師：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅
⑧記念対談（応募者 126 名・受講者 69 名）
演　題：「縄文土器を考古学と美術史から語る」

講　師：東京国立博物館 アソシエイトフェロー　鈴木 希帆 氏、埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅

ウ　学芸員による展示解説（特別展・コレクション展・特別陳列等の担当学芸員による展示解説、時間は別記のない場合は13:30～14:30、自由参加）

①特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー」
・4月22日（日）　担当：学芸部長　寺嵜 弘康、参加者48名
・4月29日（日）　担当：学芸部長　寺嵜 弘康、参加者45名
・5月27日（日）　担当：学芸部長　寺嵜 弘康、参加者31名
・6月10日（日）　担当：学芸部長　寺嵜 弘康、参加者36名

②特別展「ペリーの顔・貌・カオ」
・7月7日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者23名
・7月14日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者25名
・7月21日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者37名
・7月28日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者26名
・8月4日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者39名
・8月11日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者25名
・8月18日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者32名
・8月25日（土）　担当：主任学芸員　嶋村 元宏、参加者38名

③特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」
・9月2日（日）　担当：学芸員　梅沢 恵、参加者33名
・9月16日（日）　担当：学芸員　梅沢 恵、参加者65名

④特別展「再発見！鎌倉の中世」
・10月13日（土）　担当：主任学芸員　古川 元也、参加者60名
・10月20日（土）　担当：学芸員　小井川 理、参加者38名
・10月27日（土）　担当：学芸部（考古担当）　近野 正幸、参加者56名
・11月10日（土）　担当：学芸員　小井川 理、参加者40名
・11月17日（土）　担当：主任学芸員　古川 元也、参加者43名
・11月24日（土）　担当：学芸部（考古担当）　近野 正幸、参加者42名

⑤コレクション展「ＫＥＮ・ＰＡＫＵ（県博）発掘クロニクル」
・12月23日（日）14:00～14:30　担当：学芸部（考古担当）　近野 正幸、参加者18名
・1月12日（土）　14:00～14:30　担当：学芸部（考古担当）　近野 正幸、参加者20名
・1月27日（日）　14:00～14:30　担当：学芸部（考古担当）　近野 正幸、参加者23名

⑥その他の展示「平成24年度かながわの遺跡展　勝坂縄文展」
・1月6日（日）　11:00～11:30（親子向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者20名
・1月6日（日）　14:00～14:45（一般向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者40名
・1月19日（土）　11:00～11:30（親子向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者8名
・1月19日（土）　14:00～14:45（一般向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者20名
・1月26日（土）　11:00～11:30（親子向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者28名
・1月26日（土）　14:00～14:45（一般向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者26名
・2月3日（日）　11:00～11:30（親子向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者25名
・2月3日（日）　14:00～14:45（一般向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者48名
・2月5日（火）　14:00～14:45（一般向け）　担当：埋蔵文化財センター 主事　千葉 毅、参加者25名

⑦特別展「観光地鎌倉と鎌倉彫」
・2月23日（土）　担当：学芸部長　寺嵜 弘康、参加者46名
・3月9日（土）担当：学芸員　小井川 理、参加者35名
・3月16日（土）　担当：非常勤学芸員　武田 周一郎、参加者31名

エ　ミュージアムトーク（常設展示室で展示資料を解説、自由参加）
日　時：6月24日（日）13:30～14:30

テーマ：「『富士山噴火絵図』を読む」
担　当：専門学芸員　古宮 雅明
参加者：40名

オ　その他の行事(無料、ただし常設展観覧券が必要)
(ｱ)　旧横浜正金銀行本店本館建物見学会
○概　要：国の重要文化財、史跡に指定されている当館建物について、通常は見ることのできない地下金庫扉や屋上ドームの公開を行った。
①日　時：4月30日(月･祝) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30
講　師：主任学芸員　丹治 雄一
応募者：222名
参加者：第1回 26名、第2回 29名
②日　時：5月4日(金･祝) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30（①の応募者が多数だったため、落選者の中から希望者を募り開催したもの)
講　師：主任学芸員　丹治 雄一
応募者：47名
参加者：第1回 23名、第2回 17名
③日　時：7月15日(日) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30（当館建物を見学した後、神奈川県庁本庁舎も見学した)
講　師：主任学芸員　丹治 雄一
応募者：90名
参加者：第1回 21名、第2回 23名
④日　時：9月16日(日) 第1回 10:30～12:00、第2回 14:00～15:30（当館建物を見学した後、神奈川県庁本庁舎も見学した)
講　師：主任学芸員　丹治 雄一
応募者：62名
参加者：第1回 28名、第2回 27名
⑤日　時：10月21日(日) 第1回 10:00～11:40、第2回 13:30～15:10（「眞葛焼のギャラリートークとともに楽しむ旧横浜正金銀行本店本館建物見学会」と題し、当館建物を見学した後、常設展示室内の眞葛焼のコーナーを見学し、さらに希望者は神奈川県庁本庁舎も見学した。）
講　師：主任学芸員　丹治 雄一、学芸員　小井川 理(眞葛焼ギャラリートーク)
応募者：125名
参加者：第1回 29名、第2回 25名
⑥日　時：3月24日(日) 13:30～16:15（「建物見学会と講演会」と題し、当館建物を見学した後、講堂において横浜の近代建築に関する講演会を実施した。）
講　師：主任学芸員　丹治 雄一(建物見学会)
講　師：横浜国立大学大学院 教授　吉田 鋼市 氏(講演会)
演　題：「古典主義建築のみかた －旧横浜正金銀行本店本館の力－」
応募者：32名
参加者：26名

(ｲ)　ミュージアムコンサート
a　浦賀ウインドオーケストラによる吹奏楽演奏
日　時：6月3日(日) 14:00～15:00
内　容：横浜にゆかりのある美空ひばりの「真っ赤な太陽」、横須賀にゆかりのある山口百恵のメドレー、さらにジャズの名曲など特別展「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー」にちなんだ曲を演奏。
演奏者：浦賀ウインドオーケストラ
会　場：当館講堂
応募者：68名

参加者：54 名

b 「クラシック・ヨコハマ 2012　ミュージアムコンサート in 神奈川県立歴史博物館」
日　時：12 月 9 日(日) 14:00～15:00
内　容：古楽器で奏でるバロック時代のトリオ・ソナタⅢ（チェンバロ等の復元楽器を使ったクラシック音楽演奏）
演奏者：慶應義塾コレギウム・ムジクム古楽アカデミー（7 名）、全体指揮・チェンバロ　慶應義塾大学 教授　石井 明 氏
会　場：当館講堂
応募者：131 名
参加者：58 名

カ　子ども・青少年向け教育普及事業
(ｱ) ミュージアムクイズ(自由参加)
内　容：常設展展示資料から出題したクイズシートを配布。
開催日：毎週土・日、祝日(のべ 97 日間)
参加者：534 名
担　当：非常勤学芸員　泉山 花江

(ｲ) 博物館で遊ぼう!!2012（自由参加）
内　容：　子どもの日にちなんだ行事。ゴールデンウィーク中に、常設展展示資料から出題したクイズを解きながら、展示室を回る。回り終えた者には景品あり。
開催日：5 月 3 日(木・祝)～5 月 6 日(日)
参加者：508 名
担　当：非常勤学芸員　泉山 花江

(ｳ) ミュージアム・クイズラリー よこはま 2012
内　容：　夏休み期間中に、近隣の博物館施設と共同で開催するクイズラリー。当館主催で参加館との連絡会を作り実施。参加者はクイズを解きながら各館を回り、クイズノートに館ごとのスタンプを押してもらう。スタンプ数に応じた賞品あり。
平成 24 年度は、「博物館で『スポーツ』に挑戦！」をテーマに設定した。
また、関連行事として、学芸員の同行のもとで 15 館のうち数館を回り、各館で説明を聞きながらクイズを解き、途中で周辺の歴史ある建物や史跡についての説明を聞く「ミュージアムツアー」を 3 コース実施した。
開催期間：7 月 20 日(金)～8 月 31 日(金)
参加館園：合計 15 館
横浜みなと博物館・JICA 横浜 海外移住資料館・日本郵船歴史博物館・横浜税関資料展示室・横浜開港資料館・シルク博物館・日本新聞博物館・放送ライブラリー・横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館・横浜人形の家・岩崎ミュージアム・大佛次郎記念館・神奈川県立神奈川近代文学館
参加者：全体 3,697 名(自由参加)
関連行事：ミュージアムツアー（3 コース）
① 山手・山下コース
8 月 21 日(火) 9:40～12:00（応募者 2 人、参加者 2 人）
② 万国橋周辺コース
8 月 28 日(火) 10:00～12:00（応募者 6 人、参加者 6 人）
③ 日本大通りコース
8 月 29 日(水) 10:00～12:00（応募者 2 人、参加者 1 人）
担　当：非常勤学芸員　泉山 花江

(ｴ) 子ども博物館教室

名　称：「土器」を作ろう！(全3日間)

概　要：　「子ども博物館教室」は、子どもたちに当館の存在を知らせるとともに、体験型行事を通して、楽しみながら学習し、博物館に興味を持ってもらうことを目的に、毎年、夏休み期間中に開催している学習支援事業の一つである。

「『土器』を作ろう！」と題し、講師の指導のもとで土器の製作を体験することで、縄文土器や弥生土器についての知識をはじめ、当時の生活や歴史について興味を持ってもらうことを企図した。

内　容：① 7月21日(土) 9:40～16:30

縄文土器や弥生土器の概要や当時の生活などについて解説の後、土器の製作にあたった。

② 7月22日(日) 9:40～16:30

製作した土器の成形を行い、完成させた。

③ 8月25日(土) 9:40～12:00

完成した土器を返却し、焼成の様子などを説明した。

※焼成は小田原市郷土文化館の協力により8月18日(土)に実施した。

対　象：小学4年生以上～中学生(小学生は保護者の付き添いが必要)

参加者：応募者　26名、受講者14名

講　師：小田原市郷土文化館 学芸員　岡 潔 氏、当館学芸部(考古担当)　近野 正幸（解説）

担　当：非常勤学芸員　泉山 花江

(ｵ) 博物館でスケッチ！(自由参加)

概　要：　開館記念日(春分の日に観覧無料とする。平成24年度開始。)行事の一つとして実施。

常設展展示資料の中から一番気に入ったものを見つけてスケッチする。中学生以下の参加者には記念品として当館特製手ぬぐいをプレゼントした。また、本人・保護者の承諾を得たスケッチは当館ＨＰの「こどものページ」に掲載した。

「お気に入り」の資料を決めさせることで、子どもに博物館に親しみを持たせ、また、資料を注視させることにより、展示に対する興味・関心を深めさせることを目的とした。

開催日：3月20日(水・祝)

参加者：82名

担　当：非常勤学芸員　泉山 花江

キ　学校連携事業の状況

(ｱ) 展示見学学習等、小中高等学校及び特別支援学校の当館利用状況

	県　内									
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		県内合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	4	497	1	41	10	89	0	0	15	627
5月	3	94	21	621	6	220	0	0	30	935
6月	3	270	24	852	1	45	1	4	29	1,171
7月	0	0	2	135	4	37	0	0	6	172
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	15	1,480	3	237	2	69	0	0	20	1,786
10月	6	312	4	83	3	112	0	0	13	507
11月	9	824	3	217	4	263	0	0	16	1,304
12月	7	461	6	375	0	0	0	0	13	836
1月	2	59	8	196	2	43	0	0	12	298
2月	5	302	5	263	2	8	1	16	13	589
3月	2	117	4	85	2	12	0	0	8	214
合計	56	4,416	81	3,105	36	898	2	20	175	8,439

	県　外									
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		県外合計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	1	62	28	450	10	78	0	0	39	590
5月	3	82	37	814	28	1,202	0	0	68	2,098
6月	2	52	18	306	3	9	0	0	23	367
7月	0	0	2	63	0	0	0	0	2	63
8月	0	0	1	7	0	0	0	0	1	7
9月	0	0	8	258	1	4	0	0	9	262
10月	2	57	6	258	0	0	0	0	8	315
11月	0	0	13	328	7	256	0	0	20	584
12月	0	0	4	66	2	31	0	0	6	97
1月	1	67	5	161	0	0	0	0	6	228
2月	0	0	13	271	1	98	0	0	14	369
3月	1	5	5	51	3	56	0	0	9	112
合計	10	325	140	3,033	55	1,734	0	0	205	5,092

	平成24年度総計		平成23年度総計		平成22年度総計	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
4月	54	1,217	19	1,233	50	1,443
5月	98	3,033	65	2,470	93	3,009
6月	52	1,538	51	1,613	41	1,283
7月	8	235	16	647	13	541
8月	1	7	4	55	0	0
9月	29	2,048	29	1,185	13	735
10月	21	822	39	2,117	39	1,784
11月	36	1,888	26	1,361	27	1,447
12月	19	933	14	629	24	1,417
1月	18	526	9	248	15	715
2月	27	958	37	1,109	41	1,714
3月	17	326	17	389	9	417
合計	380	13,531	324	13,056	365	14,505

(イ)当館の利用目的

(単位：校数)

	利用目的	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	合計
県内	社会科(歴史学習)	26(48.2%)	11(27.5%)	10(52.6%)	0(0%)	47(40.9%)
	総合的な学習の時間	16(29.6%)	23(57.5%)	5(26.3%)	0(0%)	44(38.2%)
	学校行事(遠足、社会見学等)	12(22.2%)	6(15.0%)	4(21.1%)	2(100%)	24(20.9%)
県外	社会科(歴史学習)	0(0%)	3(6.7%)	1(10.0%)	―	4(6.5%)
	総合的な学習の時間	1(14.3%)	17(37.8%)	1(10.0%)	―	19(30.6%)
	学校行事(遠足、社会見学等)	6(85.7%)	25(55.5%)	8(80.0%)	―	39(62.9%)

※事前連絡校による統計

(ｳ)　学校の博物館利用の状況

（単位：校数）

校種	事前準備			歴博活用			利用形態			付帯施設利用			利用目的		
	下見来館	電話打合	資料提供	課題持参	ボラ活用	特別依頼	全員一斉	グループ	個人	駐車場	講堂	その他	歴史学習	総合学習	社会見学等
小学校	35	53	39	51	10	2	37	15	0	6	20	1	26	17	18
中学校	40	65	42	58	13	6	6	98	1	0	2	7	14	40	31
高等学校	12	22	15	24	9	3	10	21	3	0	2	1	11	6	12
特別支援学校	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	82	119	94	100	44	5	55	134	4	6	24	9	51	63	63

※事前連絡校による統計
※課題持参＝学校がワークシートなどを用意して見学。質問などにボランティアが対応。
※ボラ活用＝ボランティアによる展示解説や質問への対応要請が事前にあったもの。
※特別依頼＝学芸員による館の概要説明や建物の解説など。
※付帯施設利用＝展示室等の一般利用施設以外に、駐車場(バス等)や講堂等の利用があったもの。

(ｴ)　見学学習(社会科の歴史学習、総合的な学習の時間等)への対応状況

a　見学に際し当館の概要などを説明
小学校 4 校、中学校 6 校、高等学校 1 校、大学 6 校

b　見学に際し、学習を支援していくためのワークシート(素材)を提供
小学校　36 校、中学校　40 校、高等学校　12 校

c　解説ボランテイアが展示資料を解説
小学校 9 校、中学校 12 校、高等学校 9 校

(ｵ)　社会科の歴史学習、総合的な学習の時間(調べ学習)への対応状況

上記(ｴ)の見学学習において、特定テーマの解説などの求めに対応したもの。

（単位：校数）

依頼テーマ	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
全般 テーマ 1～5	1	1	0	0
テーマ 1 さがみの古代に生きた人びと	0	0	0	0
テーマ 2 都市鎌倉と中世びと	3	0	3	0
テーマ 3 近世の街道と庶民文化	0	0	0	0
テーマ 4 横浜開港と近代化	3	9	2	0
テーマ 5 現代の神奈川と伝統文化	0	1	1	0
特別展示・その他 （含む専門解説）	2	1	3	0

(ｶ)　インターンシップ(就業体験・職場訪問等)への対応状況

目的：　インターンシップは、生徒が学校に在学している期間中に、「勤労体験」「職業体験」活動を通じて、生徒が自主的に望ましい勤労観、職業観及び職業に関する知識や技術に触れ自己の個

性を理解して、進路選択ができる能力及び態度を身につけることを目的とする。
当館のインターンシップは、簡略化した講座と見学を中心とした職場訪問的なものと、複数日にわたり、博物館という職場の役割や学芸員の仕事について紹介し、また、実際に資料を扱うことで、博物館の仕事をより具体的に知ることを目的とする就業体験的なものとがある。

対応状況：

a　就業体験的なもの(複数日にわたり博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明、施設の見学、就業体験等を実施)

○県立商工高等学校(1名)、県立茅ヶ崎西浜高等学校(1名)、相模女子大学高等部(2名)(合計4名)

・日時：8月21日(火)～24日(金) 9：00～17:00

・内容：8月21日(火)：ガイダンス、学校の博物館利用業務補助、レファレンス業務補助
22日(水)：子ども博物館教室「土器を作ろう！」開催準備
23日(木)：「ペリーについて調べよう ー学芸員と一緒に夏休みの自由研究をー」開催補助
24日(金)：民俗展示のキャプション更新補助、古銭磨き

b　職場訪問的なもの(博物館の業務・学芸員の仕事についての概要説明を行い、施設見学を実施。2～3時間程度)

○ 5月29日(火) 横須賀市立浦賀中学校　2年 24名
○ 6月12日(火) 平塚市立中原中学校　1年 12名
○ 7月19日(木) 県立大磯高校　1年 17名
○ 11月25日(金) 藤沢市立湘南台中学校　2年 40名

(キ)　『歴史博物館の展示(常設)目録 ー学習指導要領・教科書との対照表ー』の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『歴史博物館の展示(常設)目録 ー学習指導要領・教科書との対照表ー』(当館の常設展示資料と学習指導要領、教科書の主な単元項目が対照でき、さらに学芸員が適宜見学のポイントを記したもの)について、平成17年度で小・中・高等学校の3種類の校種別目録が揃った。また、平成23年度からの小学校を初めとして中学校、高等学校と順次行われてきた新学習指導要領の全面実施を受けて、随時改訂作業を進めている。さらに、平成24年度は、県立高等学校等で実施された日本史必修化の教科書である「郷土史かながわ」との対照表を作成し、全県立高等学校・特別支援学校へ配付した。なお、この資料を基に、学校独自のワークシート作りを行う学校が増えてきている。

(ク)　『常設展示品キャプション』の更新

学校連携検討会議等での検討を受けて作成した『常設展示品キャプション』について、展示替えなどによる情報の更新を適宜行った。

(ケ)　ワークシートの作成と更新

学校の見学学習の参考として活用するためにに作成した『ワークシート』について、実際の活用場面の調査をするとともに、広く現場の教員からも意見を聞くなどして内容の改訂を行っている。

(コ)　教員向け研修会の実施

a　「教員のための博物館講座」の開催

日　時：8月3日(金) 9:50～17:00
受講者：36名
概　要：「教科書だけでは学べない神奈川の歴史」、「資料の読み取り方を学ぶ」について講義とワークショップ、常設展見学、グループ討議

(サ)　ホームページ上で「こどものページ」の公開

児童・保護者や学校関係者に親しみを感じてもらうことで館の利用促進を図るため、ホームページ上に小学生・中学生向けの「こどものページ」を設け、当館で見学学習を行なった小・中学生から作文や絵画などを募り、公開している。

掲出期間	学校名	内容
24年5月1日～6月30日	国大附属鎌倉中学校 2年	作文 21名
24年6月30日～8月31日	平塚市立中原中学校 1年	作文 12名
24年7月 20日～10月31日	JICA日本語学校生徒研修第1陣	作文 13名
24年7月30日～9月30日	横須賀市立浦賀中学校 2年	作文 22名
24年10月5日～25年1月31日	神奈川県立大磯高等学校1年	作文　4名
24年10月25日～25年4月30日	公文国際学園中等部1・2年	作文　9名
24年11月30日～25年3月31日	藤沢市立長後中学校2年	作文　9名
25年3月1日～25年6月30日	JICA日本語学校生徒研修第2陣	作文35名
25年3月5日～25年11月12日	藤沢市立湘南台中学校2年	新聞14名

(6)　ミュージアムライブラリー

県民の学習活動を支援する場として、１階フリーゾーンにミュージアムライブラリーを設置している。図書、映像、情報システムなどがあり、展示を中心とした神奈川の歴史や文化について学ぶことが出来る。

職員が１名以上常駐し、質問等を受け付けるなど、生涯学習の場として広く利用されるように運営している(図書、映像、情報システムの内容についてはそれぞれの項目に記載)。平成24度の利用者総数は7,943名、フリーゾーンを含めた入館者に対する比率は5.8%である。

ア　閲覧用座席数：14席、映像ブース：3ヶ所7名分、来館者用情報システム端末：3台

イ　利用者数　　(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
小学生	20	64	29	23	44	193	46	45	56	17	46	27	610
中学生	15	115	153	54	50	0	34	11	19	16	3	7	477
高校生	23	19	2	19	20	4	1	2	20	0	1	19	130
大学生	7	30	10	3	22	12	6	4	2	0	4	2	102
一般成人	347	469	350	447	527	316	345	332	245	268	279	360	4,285
65歳以上	198	215	232	183	180	187	208	223	149	165	176	218	2,334
その他	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	5
合計	610	912	776	729	843	713	643	617	491	466	509	634	7,943
開館日数	26	27	25	27	27	27	25	26	24	23	25	27	309
1日平均	23.5	33.8	31.0	27.0	31.2	26.4	25.7	23.7	20.5	20.3	20.4	23.5	25.7

ウ　利用形態

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
映像利用		9	11	7	10	7	5	3	3	2	4	1	5	67
情報システム		29	69	66	50	71	73	15	23	31	21	35	23	506
図　書		198	275	316	334	368	289	331	288	254	233	278	319	3,483
コピー・サービス	(件数)	28	23	24	44	50	40	34	30	107	26	31	16	453
	(枚数)	209	133	351	380	329	501	865	437	168	172	313	156	4,014

(7)　普及印刷物

ア　図録

特別展図録「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー －二つの港町の戦後文化－」　平成 24 年 4 月 20 日発行
特別展図録「ペリーの顔・貌・カオ －「黒船」の使者の虚像と実像－」　平成 24 年 7 月 5 日発行
特別陳列図録「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」　平成 24 年 8 月 31 日発行
特別展図録「武家の古都・鎌倉」　平成 24 年 10 月発行
特別展図録「観光地鎌倉と鎌倉彫 －近代鎌倉のガイドブック－」　平成 25 年 2 月 15 日発行

イ　広報印刷物
「ヨコハマ・ヨコスカ　ストーリー －二つの港町の戦後文化－」　ポスター・チラシ
「ペリーの顔・貌・カオ －「黒船」の使者の虚像と実像－」　ポスター・チラシ
「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」　ポスター・チラシ
「武家の古都・鎌倉」　ポスター・チラシ
「眞葛焼及び浮世絵コレクション」　チラシ
「旧横浜正金銀行本店本館(神奈川県立歴史博物館) －エースのドーム－及び県庁本庁舎 －キングの塔－」　リーフレット
「博物館の誕生日」　チラシ
「これからの催しもの(2013 年 4 月～2014 年 3 月)」　リーフレット　平成 25 年 2 月発行

ウ　神奈川県立歴史博物館だより
『神奈川県立歴史博物館だより』　VOL.18　№1　通巻 190 号　平成 24 年 6 月 26 日(2,000 部)
『神奈川県立歴史博物館だより』　VOL.18　№2　通巻 191 号　平成 24 年 9 月 1 日(2,000 部)
『神奈川県立歴史博物館だより』　VOL.18　№3　通巻 192 号　平成 24 年 12 月 15 日(2,000 部)

(8)　ボランティアの活動

平成 9 年度から登録を行った博物館ボランティアは、平成 23 年度中の入門講座及び面接の結果、新たに 22 名の登録を行い、登録更新者 78 名を含めて 100 名となった。その内訳は、展示解説ボランティアが 90 名、情報処理ボランティアが 2 名(行事補助との兼任)、行事補助ボランティアが 10 名である。
また平成 14 年度から活動期間を 5 年間とし、平成 25 年 3 月 31 日での任期満了者は 10 名である。

ア　活動状況及び実績
展示解説ボランティアは、常設展展示解説のほか、特別展開催中には 1 日 2 回の定時解説(11 時、15 時)を行っている。
情報処理ボランティアは、所蔵資料のフィルムデータから電子データへの画像入力作業を行っている。
行事補助ボランティアは、子ども向け行事の指導補助をはじめ、受付や案内など、学習支援事業の補助を行なっている。
また、ボランティア会は、幹事会(各曜日ごとの班から 2 名選出)を組織し、月 1 回、館側の担当者と様々な調整や、情報の交換を行なっている。また、『ボランティアニュース』を年 3 回、編集・発行している。

(ｱ)　活動日数及び人数

月	活動日数(日)	活動人数(人)	累計(日)
4	26	252	252
5	27	261	513
6	25	303	816
7	27	320	1,136
8	27	324	1,460
9	27	322	1,782
10	25	296	2,078
11	26	313	2,391

12	24	239	2,630
1	23	242	2,872
2	25	291	3,163
3	27	302	3,465

(ｲ) 年代別・男女別人数等

年代	男	女	計
20	0	4	4
30	1	2	3
40	0	6	6
50	1	13	14
60	35	24	59
70	11	3	14
合計	48	52	100
平均年齢	61.5	51.5	56.3

(ｳ) 曜日別ボランティア数(展示解説ボランティアのみ)
火曜班：16名、水曜班：15名、木曜班：16名、金曜班：14名、土曜班：15名、日曜班：14名

(ｴ) 情報処理ボランティア
行事補助：2名(兼務)

(ｵ) 行事補助ボランティア
10名

(ｶ) 画像入力実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	66	73	89	94	108	90	116	112	67	815

イ 博物館入門講座（応募者106名・受講者第1日目61名、第2日目54名）（再掲）
普段見ることのできない、博物館の様々な活動や学芸員の仕事について紹介するとともに、当館の展示についても学ぶ。当講座の受講が当館ボランティア応募の条件となる。

・第1回 1月19日(土) 10:00～15:30
講義名：当館の概要・博物館活動と学芸員の仕事・館内見学
・第2回 1月27日(日) 10:00～15:30
講義名：「学芸員の目」(1)(2)・ワークショップ「学芸員の目を学ぶ」・「学芸員の技」

ウ 専門研修
展示解説に必要な当館の常設展示に関する知識や、資料の保存、教育普及活動について、その内容を知ってもらうために実施する。なお実地研修として、現役のボランティアとともに解説の演習を行なう。

日 時：平成24年4月8・15・22・29、5月13・20・27(日) 10:00～15:00

エ その他の研修
(ｱ) 特別展研修
特別展の展示解説に資する研修として、解説に必要な図録や資料を配布するとともに、展示された資料について、担当学芸員から解説の実地研修を行なった。

(ｲ)　フォローアップ研修

常設展示解説のフォローアップとして、個々のテーマで研修講座を実施した。

実施日	テ　ー　マ
5月20日(日)	「ペリーの顔・貌・カオ」に関する事前勉強会
6月9日(土)	印のある文書、花押のある文書 －後北条氏の印判状制度の理解のために－
9月1日(土)	特別陳列「夢窓疎石と鎌倉の禅宗文化」勉強会
12月15日(土)	かながわの遺跡展「勝坂縄文展」勉強会
12月18日(火)	
1月12日(土)	コレクション展「ＫＥＮ･ＰＡＫＵ（県博）発掘クロニクル」勉強会

(9)　博物館実習生の受け入れ

「神奈川県立歴史博物館　博物館実習生受け入れ要領」に基づき、見学実習と実務実習を受け入れた。

ア　見学実習

当館の概要(歴史・施設・組織・展示や事業概要など)について説明した後、展示室、バックヤード等の見学を行なう。

○受入数　9大学　161名

○受入校(来館日・大学名・人数)

来館日	大学名	人数
平成24年　6月　4日	防衛大学校	40名
平成24年　6月10日	神奈川大学	10名
平成24年　7月　8日	大正大学	12名
平成24年　9月　6日	宮城学院女子大学	6名
平成24年　9月12日	龍谷大学	53名
平成24年10月26日	京都造形大学	8名
平成24年11月17日	日本大学	15名
平成24年11月25日	学習院大学	11名
平成24年　2月　2日	鶴見大学	6名

イ　実務実習

前期3日間と後期4日間にわたって行なう。前期は企画情報部が担当し、受講者全体で博物館運営に関わる業務及び教育普及事業などについて学ぶ。後期は学芸部の各分野に分かれ、資料の取り扱いや整理の方法などについて学ぶ。

○受入数　19大学、25名

○受入校(大学名・受入人数)

大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
明治学院大学	1名	国士舘大学	1名	東海大学	2名
清泉女子大学	2名	昭和女子大学	2名	立教大学	1名
東洋大学	1名	関東学院大学	2名	二松学舎大学	1名
専修大学	1名	青山学院大学	1名	京都造形大学	1名

鶴見大学	2名	桜美林大学	2名	法政大学	1名
日本大学	1名	首都大学東京	1名		
大正大学	1名	学習院大学	1名		

(ｱ)　実務実習(前期実習)　　担当：企画情報部(全員参加、日程、内容)

a　1日目：5月30日(水) 10:00～17:00
- ・前期実習のガイダンス
- ・当館の概要について(施設の概要、当館の活動について)
- ・教育普及活動の実践①(全体説明)
- ・博物館情報システムについて(収蔵品管理システム、デジタル・ミュージアム、セキュリティ情報バリアフリー)
- ・博物館と写真資料について(博物館における写真とは、撮影対象について、撮影後のこと)
- ・写場、情報システム見学
- ・教育普及活動の概要(当館の教育普及事業、学校連携事業、子ども向け事業)

b　2日目：5月31日(木) 10:00～17:00
- ・博物館と図書資料について(収集方針、所蔵資料、書庫・ミュージアムライブラリー見学)
- ・館内見学(常設展示室)
- ・館内見学(バックヤード、収蔵庫周辺、設備・防災・防犯関係、屋上ドームなど)
- ・広報活動について(博物館における広報、広報担当の役割、広報活動の現状)
- ・当館のボランティア活動について(沿革、現在の活動)

c　3日目：6月1日(金) 10:00～17:00
- ・教育普及活動の実践②(博物館HP企画、作業)
- ・教育普及活動の実践③(発表、講評)

(ｲ)　実務実習(後期実習)〈実施日順〉　　担当：学芸部(実習分野・グループ別参加者数、日程、内容)

a　近現代 8名、7月31日(火)～8月3日(金) 10:00～17:00
- ・歴史博物館の資料保存について・その実践
- ・近代美術資料の取り扱い・その実践
- ・近現代歴史資料の取り扱い・その実践
- ・博物館資料の梱包について・その実践

b　近世 5名、9月11日(火)～14日(金) 10:00～17:00
- ・展示の基礎知識と技術(鎌倉絵図等、展示資料の調書の取り方、キャプション作成等)
- ・資料整理と保存処理の基礎知識と実務
- ・資料の特性と脱酸処理について
- ・地方文書の整理と目録作成、史料撮影
- ・近世美術資料の取り扱い(調書作成)

c　考古 3名、10月30日(火)～11月2日(金) 10:00～17:00
- ・資料の取り扱い(点検、調書の作成、梱包)
- ・特別展に係る普及事業支援
- ・展示準備(資料の確認、キャプションの作成)
- ・館内点検
- ・資料の保存・管理(展示室・収蔵庫内の温湿度点検)
- ・展示作業
- ・考古資料の整理(実測、拓本、資料カードの作成)

d　中世９名、11 月６日(火)～９日(金) 10:00～17:00
・歴史資料の取り扱いⅠ(中世古文書の形態と分類、中世古文書の保存及び取扱い〈掛幅・巻子〉)
・歴史資料の取り扱いⅡ(書跡・典籍作品の取り扱い、資料の点検と調書の作成、展示見学と巡回)
・美術資料の取り扱いⅠ(絵画作品〈掛幅・絵巻〉の鑑賞と取り扱い〈点検･梱包〉、絵画作品の展示と保管環境について)
・美術資料の取り扱いⅡ(工芸作品の鑑賞と取り扱い〈点検・梱包〉、梱包材の作成、彫刻作品の取り扱い〈点検･梱包〉)

(10)　海外技術研修員の受け入れ

神奈川県県民局くらし文化部国際課長と当館館長との間で締結した「平成 23 年度神奈川県海外技術研修員研修業務に関する覚書」に基づき、海外技術研修員として外国籍の学芸員を受け入れ、研修業務を行った。

ア　研修期間
平成 25 年１月９日(水)～1 月 27 日(日)

イ　海外技術研修員
⑴　氏名：チャリヤ・マウ
⑵　国籍：カンボジア

ウ　研修内容

日　時	研修内容	担当部署
1 月 9 日(水)	施設紹介（施設案内と常設展解説）	学芸部
1 月 10 日(木)	①収蔵環境の保持について（収蔵庫等温湿度検査） ②中世工芸資料について(博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 11 日(金)	近現代歴史資料について（博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 12 日(土)	近現代歴史資料について（博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 13 日(日)	近現代歴史資料について（博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 16 日(水)	①神奈川県立歴史博物館について(県立館としての役割等) ②教育普及事業の実例Ⅰ(講演会など一般向け事業の紹介など) ③教育普及事業の実例Ⅱ(子ども向け行事の実践事例Ⅰ)	企画普及課
1 月 17 日(木)	①博物館と写真資料について（写真資料の役割とその活用法等) ②博物館とレファレンスについて ③教育普及事業の実例Ⅲ(ボランティア活動と教育普及事業)	情報資料課 情報資料課 企画普及課
1 月 18 日(金)	①広報活動について(広報活動の意義と当館の取り組み) ②教育普及事業の実例Ⅳ(博物館と学校連携の意義と当館の取り組み) ③博物館情報システムについて（コンピューターによる資料、情報管理の意義と当館の取り組み)	企画普及課 企画普及課 情報資料課
1 月 19 日(土)	博物館入門講座（準備、受付、参加、撤収作業など)	企画普及課
1 月 20 日(日)	①教育普及事業の実例Ⅴ(子ども向け行事の実践事例Ⅱ) ②県博講座（準備、受付、参加、撤収作業など)	企画普及課
1 月 23 日(水)	中世歴史資料について(博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 24 日(木)	①収蔵環境の保持について（収蔵庫等温湿度検査) ②近代美術資料について(博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部
1 月 25 日(金)	民俗資料について(博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部

1月26日(土)	①近世歴史資料について（博物館所蔵資料の解説と整理実務） ②近世絵画資料について（博物館所蔵資料の解説と整理実務）	学芸部
1月27日(日)	考古資料について(博物館所蔵資料の解説と整理実務)	学芸部

６　資料

(1)　条例・規則

ア　神奈川県立の博物館条例

昭和41年10月7日
条例第43号

最終改正 平成21年3月27日条例第25号

(趣旨)

第1条　この条例は、神奈川県立の博物館の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条　博物館法(昭和26年法律第 285号)に基づき、次のとおり神奈川県立の博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

名　　称	位　　置	目　　的
神奈川県立歴史博物館	横浜市中区南仲通5丁目60番地	神奈川の文化及び歴史に関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。
神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原市入生田499 番地	地球及び生命の営みに関する資料の収集、保管及び展示並びにこれに関する調査研究、情報提供等を行い、県民の学習活動を支援すること。

(職員)

第3条　博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料の納付)

第4条　博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納めなければならない。ただし、公開の施設に展示している博物館資料の観覧については、この限りでない。

2　前項本文の規定にかかわらず、特別な企画の展覧会を開催する場合の観覧料は、神奈川県教育委員会(以下「教育委員会」という。)がその都度定めることができる。

3　前2項の観覧料は、前納とする。

(観覧料の減免)

第5条　前条第1項本文及び第2項の規定にかかわらず、教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、観覧料を減免することができる。

(1) 教育委員会が開催する行事に参加する者

(2) 教育課程に基づく教育活動として入館する高校生(学校教育法 (昭和22年法律第26号。別表備考において「法」という。) 第 1 条に規定する高等学校及び中等教育学校の後期課程並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者をいう。別表において同じ。)並びに児童及び生徒の引率者

(3) その他教育委員会が適当と認めた者

(観覧料の不還付)

第6条　既に納付された観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が災害その他特別の事情により還付するのを適当と認めたときは、この限りでない。

(資料の特別利用)

第7条　博物館資料を学術上の研究のため特に利用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

(利用の制限)

第8条　教育委員会は、博物館の利用者が次の各号のいずれかに該当する場合には、その利用を制限することができる。

(1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 他の利用者に著しく迷惑をかけるおそれがあると認めるとき。

(3) 施設、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めるとき。

(4) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(委任)

第9条　この条例に定めるもののほか、博物館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

この条例は、公布の日から起算して 6 月をこえない範囲内で教育委員会規則で定める日から施行する。(昭和41年11月18日教育委員会規則第8号で、同41年11月21日から施行。ただし、第4条から第9条までの規定

の施行期日にあつては昭和42年3月22日とし、第10条の規定の施行期日にあつては昭和42年4月1日とする。)
(略)

附　則(平成21年3月27日条例第25号)

この条例は、平成21年7月1日から施行する。

別表(第4条関係)(抄)

区分		個人	20人以上の団体
神奈川県立歴史博物館	20歳以上65歳未満の者(学生及び高校生を除く。)	1人につき　300円	1人につき　250円
	20歳未満の者(高校生を除く。)	同　200円	同　150円
	学生(65歳以上の者を除く。)		
	65歳以上の者	同　100円	同　100円
	高校生		

備考　1　学生とは、法第1条に規定する大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校並びに法第134条第1項に規定する各種学校に在学する者をいう。

2　学齢に達しない者、並びに法第1条に規定する小学校、中学校、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校並びにこれらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

イ　神奈川県立の博物館組織規則

(昭和41年11月18日教育委員会規則第10号)

最終改正　平成18年3月31日教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条　この規則は、神奈川県立の博物館の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(部等の設置)

第2条　神奈川県立の博物館に、次の部及び課を置く。

管理課

企画情報部

企画普及課

情報資料課

学芸部

(管理課の事務)

第3条　管理課においては、次の事務を分掌する。

(1) 公印に関すること。

(2) 文書の収受、発送、保存、閲覧等に関すること。

(3) 個人情報の開示、訂正、利用停止等に関すること。

(4) 人事に関すること。

(5) 財産の管理及び館内の秩序の維持に関すること。

(6) 予算の経理に関すること。

(7) 観覧料の徴収に関すること。

(8) 物品の調達及び処分に関すること。

(9) 寄贈品の受納並びに寄託品の受納及び返納に関すること。

(10)その他他部課の主管に属しないこと。

第4条　削除

(企画普及課の事務)

第5条　企画普及課においては、次の事務を分掌する。

(1) 博物館活動の企画及び調整に関すること。

(2) 博物館活動の普及及び広報に関すること。

(3) 博物館活動に関する講演会、講習会、研究会等の開催に関すること。

(4) 他の博物館その他教育、学術又は文化に関する施設、団体等との連絡、協力及び情報の交換に関すること。

(情報資料課の事務)
第6条　神奈川県立歴史博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。
(1) 人文科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
(2) 博物館情報システムの運用に関すること。
2　神奈川県立生命の星・地球博物館の情報資料課においては、次の事務を分掌する。
(1) 自然科学等に関する図書等の収集、整理、保管及び閲覧に関すること。
(2) 博物館情報システムの総合的企画及び調整並びに運用に関すること。
(学芸部の事務)
第7条　学芸部においては、次の事務を分掌する。
(1) 博物館資料の収集、製作、整理、保管、展示、解説及び指導に関すること。
(2) 博物館資料の専門的及び技術的な調査研究に関すること。
(委任)
第8条　この規則の施行に関し必要な事項は、神奈川県教育委員会教育長が定める。
附　則
この規則は、昭和41年11月21日から施行する。
(略)
附　則(平成18年3月31日教育委員会規則第13号)
この規則は、平成18年4月1日から施行する。

ウ　神奈川県立の博物館の利用等に関する規則

昭和41年11月18日
教育委員会規則第9号

最終改正 平成12年12月15日教育委員会規則第25号

(趣旨)
第1条　この規則は、神奈川県立の博物館の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。
(権限の委任)
第2条　次に掲げる神奈川県教育委員会の権限は、神奈川県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に委任する。
(1) 神奈川県立の博物館条例(昭和41年神奈川県条例第43号。以下「条例」という。)第4条第2項の規定により観覧料を定めること。
(2) 条例第5条の規定により観覧料を減免すること。
(3) 条例第6条ただし書の規定により観覧料の還付を認めること。
(4) 条例第7条の規定により利用を承認すること。
(5) 条例第8条の規定により利用を制限すること。
(休館日等)
第3条　神奈川県立歴史博物館及び神奈川県立生命の星・地球博物館(以下「博物館」という。)の休館日は、次のとおりとする。
(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「国民の祝日等」という。)に当たるときを除く。)
(2) 国民の祝日等の翌日(土曜日、日曜日又は国民の祝日等に当たるときを除く。)
(3) 12月28日から翌年の1月4日まで
(4) その他教育長が定める日
2　前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、臨時に博物館を開館することができる。
(開館時間等)
第4条　開館時間は、次のとおりとする。

名　　称	開　　館　　時　　間
神奈川県立歴史博物館	午前9時30分から午後5時まで。ただし、午後4時30分以降は、入館することができない。
神奈川県立生命の星・地球博物館	午前9時から午後4時30分まで。ただし、午後4時以降は、入館することができない。

2　前項の規定にかかわらず、教育長は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。
(観覧券の交付)
第5条　教育長は、博物館に展示している博物館資料を観覧するため、条例第4条の規定により観覧料を納めた者に観覧券を交付するものとする。
(観覧料の減免申請)
第6条　観覧料の減免を受けようとする者は、あらかじめ、観覧料減免申請書を教育長に提出し、観覧料減免承認書の交付を受けなければならない。
(観覧料の還付申請)
第7条　観覧料の還付を受けようとする者は、観覧料還付申請書に観覧券を添えて教育長に提出し、観覧料還付承認書の交付を受けなければならない。
(資料の特別利用)
第8条　条例第7条の規定により博物館資料の特別利用の承認を受けようとする者は、特別利用承認申請書を教育長に提出し、特別利用承認書の交付を受けなければならない。
(利用の方法)
第9条　博物館を利用する者は、博物館の管理上必要な事項を守り、職員の指示に従わなければならない。
(資料の館外貸出し)
第10条　次に掲げるものは、教育長の承認を受けて博物館資料の館外貸出しを受けることができる。
(1)　国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第 285 号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
(2)　社会教育法(昭和24年法律第 207 号)第21条に規定する公民館
(3)　国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第 118 号)第2条第1項に規定する図書館
(4)　学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
(5)　その他教育長が適当と認めるもの
2　前項の規定による承認を受けようとするものは、館外貸出承認申請書を教育長に提出し、館外貸出承認書の交付を受けなければならない。
(館外貸出しの期間)
第11条　博物館資料の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、教育長は、特に必要があると認めるときは、これを延長することができる。
2　前項の館外貸出しの期間は、博物館が当該博物館資料を引き渡した日から起算してその返還を受ける日までの日数により算定するものとする。
3　教育長は、館務の都合により必要があるときは、博物館資料の館外貸出しの期間中であつても、当該博物館資料の返還を求めることができる。
(館外貸出しをした資料の利用方法)
第12条　博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を、承認を受けた利用の目的又は場所以外の目的又は場所で、利用してはならない。
(資料滅失等の届出)
第13条　博物館資料の館外貸出しを受けたものは、当該博物館資料を滅失し、又は損傷したときは、直ちに資料滅失(損傷)届出書を教育長に提出しなければならない。
(寄託を受けた資料の利用の制限)
第14条　寄託を受けた博物館資料の館外展示及び館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行なうことができない。
(委任)
第15条　この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附　則

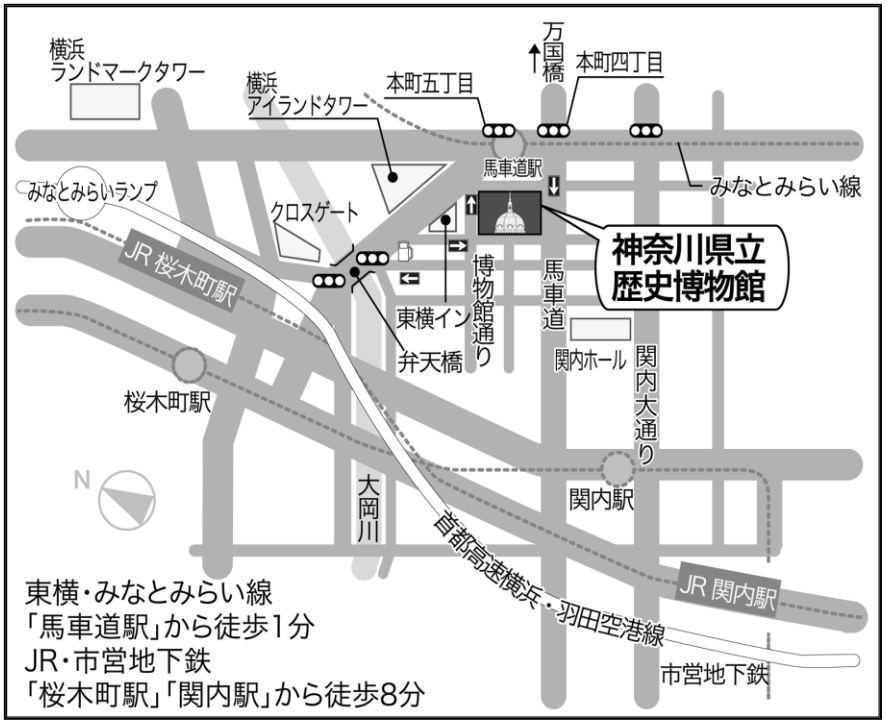
この規則は、昭和41年11月21日から施行する。ただし、第2条から第9条までの規定は、昭和42年3月22日から施行する。
(略)

附　則(平成12年12月15日教育委員会規則第25号)

この規則は、平成13年1月6日から施行する。

(2) 利用案内

1 名　　称 ： 神奈川県立歴史博物館 (Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History)
2 所 在 地 ： 横浜市中区南仲通5-60　〒231-0006
3 電　　話 ： 045-201-0926(代表)
4 ＦＡＸ ： 045-201-7364
5 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ ： http://ch.kanagawa-museum.jp/
6 交　　通 ： 東横・みなとみらい線「馬車道」駅5番出口より徒歩1分、
JR京浜東北・根岸線、横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅または「関内」駅より徒歩8分
7 休 館 日 ： 月曜日(ただし、祝日の場合は開館)、資料整理休館日、年末年始
8 観 覧 料 ： ○常設展
・20歳以上(学生を除く)：300円(250円)　(　)内は20名以上の団体
・20歳未満及び学生：200円(150円)
・高校生及び65歳以上：100円(100円)
・中学生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料
○特別展
・常設展とは別料金となり、金額は展示ごとに別途定める。
○コレクション展
・無料
9 団体見学 ： 事前にご連絡ください。
10 地　　図



神奈川県立歴史博物館年報　平成 24 年度

2014 年 3 月 28 日

編集・発行　〒231-0006
横浜市中区南仲通 5-60
神奈川県立歴史博物館

本書の無断転載を禁ず